

平成 27 年度
名古屋市立大学大学院薬学研究科
自己点検・評価報告書

2015

目 次

1. 平成 27 年度博士（薬学）学位取得者
2. 平成 27 年度薬学修士学位取得者
3. 平成 27 年度薬学部でなされた講演会、研究会、シンポジウム
4. 研究業績目録（2015 年 1 月から 2015 年 12 月）
5. 科学研究費等補助金
6. 学外との共同研究等
7. 新聞報道等
8. 進路および就職状況
9. 薬学部在籍者名簿

1. 平成27年度博士（薬学）学位取得者

学位（博士）授与報告書

名古屋市立大学大学院

報告番号	博士の学位を授与された者			博士課程の修了等の状況		主論文名	授与年月日	主査	副査 (指導教員)	副査	副査	副査
	博士の専攻分野の名称	(ふりがな)氏名	性別	大学院名	研究科(専攻)名							
甲第309号	博士(薬科学)	みやじま ちはる 宮嶋 ちはる	女	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	医療細胞がん化と免疫反応におけるスキヤフォールドタンパク質 TRB1 の生理機能の解析	H 27.4.27	平嶋	林	服部	長田	井上
甲第311号	博士(薬科学)	かとう だいき 加藤 大輝	男	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	がん細胞の浸潤・転移における脂肪細胞分化関連因子 fad104 の機能解析	H 28.3.25	星野	今川	松永	井上	—
甲第312号	博士(ナノディン科学)	おおつか まさふみ 大塚 正史	男	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	エホニジピン塩酸エタノール付加物の物性並びにその溶解性改善に関する研究	H 28.3.23	松永	尾関	山中	田中 (名工大)	—
甲第313号	博士(ナノディン科学)	にしやま てつや 西山 哲矢	男	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	機能性微粒子を含む口腔内崩壊錠の設計に関する研究	H 28.3.23	山中	尾瀬	奥園	山下 (名工大)	—
甲第314号	博士(ナノディン科学)	むらかど あい 村門 愛	女	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	コロイド系の温度誘起結晶化とゲル固定結晶のイオン透過性の研究	H 28.3.23	尾関	山中	林	松本 (名工大)	—
甲第315号	博士(薬学)	とみた ゆうき 富田 友紀 (旧姓併記 中村)	女	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	荷電コロイド粒子の二次元拡散と会合体形成の研究	H 28.3.25	中川	山中	平嶋	佐藤	—
甲第316号	博士(薬学)	おちあい なつき 落合 なつき	女	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	脂肪細胞分化促進因子 fad24 が初期胚発生および筋再生において担う機能の解析	H 28.3.25	服部	今川	肥田	田中	—
甲第317号	博士(薬学)	てるきな たかゆき 照喜名 孝之	男	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	歯周組織再生治療に有用な Simvastatin 含有 PLGA 粒子の Simvastatin 放出特性が骨再生誘導能に与える影響	H 28.3.25	湯浅	尾関	山中	田中	—
甲第319号	博士(薬学)	すがお ゆきひろ 菅生 行紘	男	名古屋市立大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	コロイド結晶からの不純物排除と固定化結晶の分光素子応用に関する研究	H 28.3.31	平嶋	山中	尾関	田中	—

2 平成27年度薬学修士学位取得者

学位番号	分野名	氏名		論文題	日付	主査	副査	副査	副査
2015	薬化学	河中 宏樹	男	青色光制御型 NO ドナーにおける NO 放出部位の置換基の影響	2016. 3. 25	中川	木村	池田	—
2016	薬化学	韓 湘	女	ENPP1 活性検出蛍光プローブの開発および阻害剤の探索	2016. 3. 25	中川	平嶋	梅澤	—
2017	薬化学	曾根 佑登	男	アントラニル酸を母核とした新規 Pin1 阻害剤の開発	2016. 3. 25	中川	樋口	井上	—
2018	薬化学	山内 啓雅	男	フェニルグリオキサールの反応性に基づいたシトルリン検出プローブの開発	2016. 3. 25	中川	中村	長田	—
2019	薬品合成化学	澤山 侑季	女	鎮痙物質マルリブアセタールの全合成	2016. 3. 25	中村	中川	池田	—
2020	生体超分子システム解析学	大嶽 修一	男	新規抗がん細胞治療を目指した改変好塩基球の構築	2016. 3. 25	平嶋	青山	肥田	—
2021	生体超分子システム解析学	奥田 梨花	女	巨大リポソームの集合体における分子間相互作用と接着形態の研究	2016. 3. 25	平嶋	山中	尾関	—
2022	生体超分子システム解析学	高辻 良文	男	RNA 結合タンパク質 HuD による翻訳活性化機構の解析	2016. 3. 25	平嶋	服部	星野	—
2023	生体超分子システム解析学	八木 孝樹	男	腸管グリア細胞における calcineurin の機能解明	2016. 3. 25	平嶋	糸	山村	田中
2024	コロイド・高分子物性学	大橋 良章	男	荷電コロイド結晶の電位分布と電場応答の研究	2016. 3. 25	山中	平嶋	佐藤	奥菌
2025	コロイド・高分子物性学	岡地 真奈美	女	反対電荷をもつ荷電コロイド粒子の会合体形成	2016. 3. 25	山中	中川	田中	奥菌
2026	生命分子構造学	年森 隆泰	男	小胞体グルコシダーゼ II の糖鎖プロセッシング機構の構造基盤	2016. 3. 25	加藤	今川	林	—
2027	分子生物薬学	金森 涼太	男	脂肪細胞分化促進因子 FAD24 が CMV プロモーター活性に与える影響	2016. 3. 25	今川	林	佐藤	—
2028	分子生物薬学	和木 雅宏	男	脂肪細胞分化促進因子 FAD104 と細胞内シグナル伝達因子 Smad1 の相互作用領域の検討	2016. 3. 25	今川	肥田	井上	—
2029	薬物送達学	安藤 裕太	男	肺炎症患者治療を目指した温熱・酵素応答型経肺リポソーム製剤の開発	2016. 3. 25	尾関	湯浅	松永	—
2030	薬物送達学	高 琦琦	女	Preparation of novel curcumin-loaded iron oxide nanocomposite particles for inhalation against lung cancer	2016. 3. 25	尾関	牧野	湯浅	—
2031	薬物送達学	瀧 萌子	女	2 液混合型スプレードライノズルによるナノコンポジット粒子化技術を活用した経肺クルクミン製剤および苦味マスキングキニーネ製剤の開発	2016. 3. 25	尾関	松永	山中	—
2032	薬物送達学	前田 了	男	結核治療に向けた肺胞マクロファージ標的粉末吸入剤の開発	2016. 3. 25	尾関	山中	瀧井	—

2033	マイクロ RNA ゲル創薬学	吉川 優	男	コンピューティングによるマイクロ RNA 遺伝子の量子性の解析およびデータベースを用いた疾病との関連性の検索	2016. 3. 25	藤井	青山	条	—
2034	生薬学	足立 拓海	男	オキサリプラチンによる神経様細胞障害に対するブシアルカロイドの保護作用	2016. 3. 25	牧野	中川	大澤	—
2035	生薬学	大北 剛司	男	甘草誘発偽アルドステロン症の予防に関する研究	2016. 3. 25	牧野	木村	樋口	—
2036	生薬学	北林 大侑	男	ゴシユユの腸管における尿酸排泄トランスポーターABCG2 に対する作用	2016. 3. 25	牧野	岩尾	梅澤	—
2037	遺伝情報学	奥村 眞由	女	RNA 結合蛋白質 LARP1 は、5' TOP mRNA のポリ A 鎖伸長により遺伝子発現を正に制御する	2016. 3. 25	星野	林	長田	—
2038	遺伝情報学	西浦 久達	男	mRNA サーベイランスを介した抗ウイルス防御機構の解明	2016. 3. 25	星野	今川	瀧井	—
2039	細胞分子薬 効解析学	佐伯 尚紀	男	血管平滑筋細胞の Ca ²⁺ マイクロドメインにおけるジャンクトフィリン 2 の機能解明	2016. 3. 25	今泉	肥田	大澤	—
2040	細胞分子薬 効解析学	野田 さゆり	女	気管平滑筋における大コンダクタンス Ca ²⁺ 活性化 K ⁺ チャネル修飾サブユニット γ 1 の機能 発現解析	2016. 3. 25	今泉	青山	長田	—
2041	細胞分子薬 効解析学	山田 茜	女	多層カーボンナノチューブ吸入暴露の気道クリアランスと肺胞マクロファージへの影響	2016. 3. 25	今泉	頭金	瀧井	山村
2042	病態生化学	奥村 恭子	女	リーリンの機能増強に向けた N-t site 切断の生理的意義の解析	2016. 3. 25	服部	肥田	大澤	—
2043	薬物動態 制御学	庄司 大介	男	PCFT に対するフラボノイド類の阻害効果の解析 : phloretin と morin との比較	2016. 3. 25	湯浅	牧野	大澤	—
2044	薬物動態 制御学	鈴木 祐稀	男	蛍光物質を利用した prostaglandin transporter の迅速機能評価	2016. 3. 25	湯浅	尾関	岩尾	—
2045	薬物動態 制御学	水野 加奈子	女	核酸塩基類似薬物の腸管吸収機構 : ヒトとラットとの比較	2016. 3. 25	湯浅	頭金	井上	—
2046	神経薬理学	山田 彬博	男	<i>In vivo</i> 細胞外記録法およびパッチクランプ法を用いた前帯状回皮質感覚応答の解析	2016. 3. 25	条	服部	田中	大澤
2047	レギュトリー サイエンス	柴田 郁弥	男	毒性試験データベースを用いた化学物質誘発性肝肥大と薬物代謝酵素誘導との関連性に関する研究	2016. 3. 25	頭金	林	岩尾	—
2048	レギュトリー サイエンス	榊原 俊	男	次世代シーケンサーを用いた超高解像度 HLA タイピング法の開発とその臨床応用	2016. 3. 25	頭金	星野	肥田	—
2049	腫瘍制御学	青木 啓将	男	脱ユビキチン化酵素 USP8 による一次繊毛形成の制御	2016. 3. 25	青木	林	長田	—

3 平成27年度薬学部でなされた
講演会，研究会，シンポジウム

「薬学研究科でなされた講演会」

平成 27 年度 年報

1. 講演会、研究会、シンポジウム

開催日：平成 27 年 1 月 13 日

講演会名：生命分子ダイナミクスの探求を目指す次世代 NMR 研究会

場所：岡崎統合バイオサイエンスセンター山手 3 号館 2 階共通セミナー室

世話人：加藤 晃一、神田 大輔

開催日：平成 27 年 1 月 15 日

講演会名：Meiji Seika ファルマ 製剤研究所講演会

講師名：尾関 哲也

所属：薬物送達学分野

演題：吸入剤の開発と製剤設計

開催日：平成 27 年 1 月 23 日

講演会名：31st Annual Meeting and International Research Conference in
Pharmaceutical Sciences “Advanced Science and Technology in
Pharmaceutical Research”

講師名：尾関 哲也

所属：薬物送達学分野

演題：Anti-Inflammatory Effect of a Biomimetic HDL-Like Gold
Nanoparticles Formulation on Vascular Endothelial Cells and Mice

開催日：平成 27 年 2 月 15 日

講演会名：第 1 回医・薬・工連携フォーラム

講師名：中村 精一 教授

所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科

演題：糖鎖含有天然物の化学合成

開催日：平成 27 年 2 月 25 日

講演会名：科学技術交流財団「コロイドマテリアル応用化研究会」平成 27 年度第 4 回
講演会

講師名：不動寺 浩

所属：物質・材料研究機構

演題：高品質オパール薄膜と機能性構造色-バイオミメティックや社会インフラ分
野への応用- (招待講演)

講師名：豊玉 彰子

所属：名古屋市立大学

演題：コロイド結晶の構造制御と新規波長選択光学材料の創製

世話人：山中 淳平

開催日：平成 27 年 3 月 7 日
講演会名：文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「創剤・創薬・創材支援を企画した医用ナノパーティキュレートシステム基盤研究拠点の形成」
2014 年度研究成果発表会
講師名：尾関 哲也
所属：薬物送達学分野

開催日：平成 27 年 3 月 12 日
場所：三菱東京 UFJ 銀行 健康センター（伏見）
講演会名：三菱東京 UFJ 銀行 健康センター勉強会
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：ED と排尿障害に関する最近の話題
世話人：名古屋市立大学薬学部

会期：平成 27 年 3 月 18 日～20 日
年会名：第 88 回日本薬理学会年会
テーマ：医薬科学立国への革新：For the Next Innovation in Medical Science
and Technology
会場：名古屋国際会議場
年会長：今泉 祐治
年会事務局：名古屋市立大学大学院薬学研究科細胞分子薬効解析学分野

開催日：平成 27 年 3 月 21 日
会場：名古屋市 中区役所ホール
講演会名：市民公開講座
テーマ：「時と睡眠と薬」
講演：「からだの時計と薬」
九州大学大学院薬学研究院 大戸 茂弘 教授
「からだの時計と食・運動」
早稲田大学先進理工学部 柴田 重信 教授
「脳の眠りと体の眠り」
名古屋市立大学大学院医学研究科 早野 順一郎 教授
運営：名古屋市立大学大学院薬学研究科細胞分子薬効解析学分野

開催日：平成 27 年 4 月 1 日
場所：名古屋市立大学病院
講演会名：平成 27 年度 新規採用者研修
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：医薬品の安全管理について
世話人：名古屋市立大学病院

開催日：平成27年4月6日
講演会名：日本薬学会 東海支部 特別講演会
講師名：菱田 友昭 博士
所属：Salk Institute for Biological Studies Gene Expression Laboratory
演題：Tumor initiation from Sox2+ cells
世話分野：分子生物薬学分野

開催日：平成27年5月15日
講演会名：富士カプセル講演会
講師名：尾関 哲也
所属：薬物送達学分野
演題：最新の「薬物送達学・DDS研究」

開催日：平成27年5月15日
講演会名：富士カプセル講演会
講師名：田上 辰秋
所属：薬物送達学分野
演題：ナノリピッドカプセルであるリポソームを用いた刺激応答性の薬物放出制御に関する研究

開催日：平成27年5月27日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：駒田 雅之 教授
所属：東京工業大学大学院 生命理工学研究科
演題：脱ユビキチン化酵素 USP8 による細胞増殖の制御とその遺伝子変異が引き起こす腫瘍性疾患
世話分野：細胞情報学分野

開催日：平成27年5月31日
講演会名：平成27年訪問薬剤管理指導事業 フィジカルアセスメント研修会
講師名：青山 峰芳
所属：名古屋市立大学薬学部病態解析学分野
演題：フィジカルアセスメントで本当に大切なもの
主催：一般社団法人 愛知県薬剤師会
世話分野：病態解析学分野

開催日：平成 27 年 6 月 4 日
場 所：名古屋市立大学病院
講演会名：第 7 回糖尿病イブニングセミナー
講 師 名：山本 卓也
所 属：彦根市立病院栄養科
演 題：E-ガイドで解決！もう迷わない糖尿病栄養指導
講 師 名：阿部 康二
所 属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学
演 題：糖尿病と脳卒中・認知症のトピックス
世 話 人：菊池 千草、他

開催日：平成 27 年 6 月 19 日
場 所：名古屋市立大学病院地下患者ライブラリー室
講演会名：患者ライブラリー 平成 27 年 6 月講演会
講 師 名：木村 和哲 教授
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演 題：上手な薬とのつきあい方 ～日常治療薬の正しい知識と使い方～
世 話 人：名古屋市立大学

開催日：平成 27 年 6 月 22 日
講演会名：第 153 回薬学談話会
講 師 名：家田 直弥 先生
所 属：名古屋市立大学院薬研究科
演 題：アレルギー親和性が担う多様なアレルギー反応の制御メカニズム
世 話 人：堀田 祐志

開催日：平成 27 年 6 月 24 日
講演会名：科学技術交流財団「コロイドマテリアル応用化研究会」平成 27 年度第 5 回
講演会
講 師 名：竹内 哲也
所 属：名城大学
演 題：青色 LED の基盤技術と次世代発光素子の将来展望（招待講演）
講 師 名：三浦 均
所 属：名古屋市立大学
演 題：結晶成長におけるステップ・ダイナミクスの数値計算法とその応用
講 師 名：今井 宏起
所 属：富士化学株式会社
演 題：真球状シリカ粒子ハウトフォーム Silbol とその応用事例の紹介
世 話 人：山中 淳平

開催日：平成 27 年 6 月 28 日
講演会名：第 18 回日本医薬品情報学会（岡山）招待講演
講 師 名：鈴木 匡
演 題：コアカリ改訂と医薬品情報活用

開催日：平成27年7月2日
講演会名：生命分子構造学特論
講師名：Kiattawee Choowongkomon, PhD
所属：Department of Biochemistry, Faculty of Science, Kasetsart
University, Thailand
演題：Computer-aided drug design: a Case Study from EGFR-tyrosine kinase
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科 講義室2
世話人：佐藤 匡史

開催日：平成27年7月5日
講演会名：第23回クリニカルファーマシーシンポジウム 医療薬学フォーラム2015
シンポジウム17
講師名：尾関 哲也
所属：薬物送達学分野
演題：吸入剤の基礎から臨床、「多剤耐性結核菌に有効な経肺投与型ナノコンポ
ジット粒子の設計」

開催日：平成27年7月26日
場所：ファイザー株式会社 名古屋工場
講演会名：新任薬剤師研修会
講師名：木村 和哲 教授
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演題：薬剤師として求められる基本的な資質
世話人：愛知県病院薬剤師会

開催日：平成27年7月27日
講演会名：部門公開セミナー
講師名：山田 和彦 博士
所属：高知大学総合科学系複合領域化学部門
演題：全原子を測定対象とする次世代型NMR装置の開発
場所：分子科学研究所 山手3号館9階東セミナー室B
世話人：加藤 晃一

開催日：平成27年9月13日
場所：名古屋市立大学薬学部
講演会名：第31回名古屋市立大学卒後教育講座
講師名：小松 弘和
所属：名古屋市立大学病院化学療法部
演題：がんの外來治療の現状と未来—薬物療法のトータルサポートチームとチ
ーム医療—
講師名：小椋 祐一郎
所属：名古屋市立大学大学院医学研究科視覚科学分野
演題：糖尿病網膜症って、どんな病気？
世話人：鈴木 匡、岩尾 岳洋、菊池 千草、他

開催日：平成 27 年 9 月 16 日
講演会名：第 155 回薬学談話会
講師名：石内 勘一郎 先生
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科
演題：新規天然有機化合物の探索研究と生合成研究
世話人：家田 直弥、伊藤 由香、岩尾 岳洋、川口 充康、河野 孝夫、鈴木
良明、富田 淳、堀田 祐志、矢木 宏和、保嶋 智也、山越 博幸、寺坂
和祥

開催日：平成 27 年 10 月 4 日
場所：名古屋市立大学薬学部
講演会名：第 31 回名古屋市立大学卒後教育講座
講師名：青山 峰芳
所属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病態解析学分野
演題：ジクロフェナクによるインフルエンザ脳症悪化のメカニズム
講師名：野村 純宏
所属：田辺三菱製薬株式会社研究本部創薬化学第二研究所
演題：逆転の発想から生まれた、2 型糖尿病治療薬カナグリフロジン～尿糖排泄を
促す SGLT2 阻害薬
世話人：鈴木 匡、岩尾 岳洋、菊池 千草、他

開催日：平成 27 年 10 月 19 日～20 日
講演会名：第 13 回 糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム
場所：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」
世話人：加藤 晃一、池中 一裕、門松 健治

開催日：平成 27 年 10 月 28 日
講演会名：科学技術交流財団「コロイドマテリアル応用化研究会」平成 27 年度第 6 回
講演会
講師名：古海 誓一
所属：東京理科大学
演題：コロイドフォトリック結晶のレーザーへの応用展開（招待講演）
講師名：山中 淳平
所属：名古屋市立大学
演題：コロイド結晶固定材料の応用
世話人：山中 淳平

開催日：平成 27 年 11 月 1 日
場所：金城学院大学
講演会名：日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2015
所属：名古屋市立大学病院大学院薬学研究科病院薬剤学
世話人：木村 和哲

開催日：平成 27 年 10 月 31 日
講演会名：日本薬学会中国四国支部学術大会（高知） 招待講演
講師名：鈴木 匡
演題：改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム 「薬局実習で何をすれば良いか」

開催日：平成 27 年 11 月 5 日
場所：名古屋市立大学医学部
講演会名：第 8 回糖尿病イブニングセミナー
講師名：井上 岳
所属：北里大学薬学部薬物治療学 III 教室
演題：糖尿病腎症進展予防のための薬局での患者指導
講師名：梅垣 宏行
所属：名古屋大学大学院医学研究科地域在宅医療学・老年科学
演題：高齢者糖尿病診療におけるサルコペニア・フレイルの意義
世話人：菊池 千草、他

開催日：平成 27 年 11 月 11 日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：小林 淳一 教授
所属：北海道大学大学院薬学研究院
演題：生物活性天然分子のケミカルバイオロジー
世話分野：薬品合成化学分野

開催日：平成 27 年 11 月 12 日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：Dr. Alexander Wlodawer
所属：National Cancer Institute-Frederick/NIH, Macromolecular
Crystallography Laboratory, USA.
演題：Protease inhibitors and lectins with medically important
properties: structural studies of several members of the β -trefoil
family
場所：名古屋市立大学大学院薬学研究科 研究棟 2 階会議室
世話人：佐藤 匡史

開催日：平成 27 年 11 月 14 日
講演会名：あいち健康プラザ 健康公開講座
講師名：鈴木 匡

開催日：平成 27 年 11 月 15 日
場 所：名古屋市緑区鳴子団地
講演会名：鳴子区政講座
講師名：木村 和哲 教授
所 属：名古屋市立大学大学院薬学研究科病院薬剤学
演 題：お薬の飲み合わせについて
世 話 人：名古屋市立大学 なごやかモデル

開催日：平成 27 年 11 月 15 日
場 所：名古屋市立大学薬学部
講演会名：第 31 回名古屋市立大学卒業後教育講座
講師名：河村 雄一
所 属：ファミリーメンタルクリニック
演 題：発達障害のある若者への理解と対応
講師名：宮崎 高志
所 属：ごきそ腎クリニック
演 題：血液透析と高齢化社会
世 話 人：鈴木 匡、岩尾 岳洋、菊池 千草、他

開催日：平成 27 年 11 月 18 日
講演会名：第 157 回薬学談話会
講師名：坂井 健男 助教
所 属：名城大学薬学部
演 題：オキシラニルアニオン法を用いた Gymnocin-A の全合成
世 話 人：家田 直弥、石内 勘一郎、伊藤 友香、岩尾 岳洋、川口 充康、河野
孝夫、鈴木 良明、寺坂 和祥、富田 淳、堀田 祐志、矢木 宏和、保嶋
智也、山越 博幸

開催日：平成 27 年 11 月 18 日
講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会
講師名：津本 浩平 教授
所 属：東京大学大学院工学系研究科
演 題：蛋白質相互作用の熱力学と創薬
場 所：名古屋市立大学大学院薬学研究科 研究棟 2 階会議室
世 話 人：加藤 晃一

開催日：平成 27 年 12 月 9-10 日
講演会名：Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2015
場 所：岡崎統合バイオサイエンスセンター
世 話 人：加藤 晃一

開催日：平成27年12月10日

講演会名：日本薬学会東海支部特別講演会

講師名：藤間 達哉 博士

所属：名古屋大学大学院創薬科学研究科

演題：脂溶性神経毒と電位依存性ナトリウムチャネルの相互作用解析

世話分野：薬化学分野

4 研究業績目録

(2015 年 1 月から 2015 年 12 月)

【薬化学分野】

(原報)

Hidehiko Nakagawa, Suguru Seike, Masatoshi Sugimoto, Naoya Ieda, Mitsuyasu Kawaguchi, Takayoshi Suzuki, Naoki Miyata.

Peptidyl prolyl isomerase Pin1-inhibitory activity of D-glutamic and D aspartic acid derivatives bearing a cyclic aliphatic amine moiety

Bioorg. Med. Chem. Lett., **25**, 5619-5624 (2015).

Miriam M. Cortese-Krott, Gunter G. C. Kuhnle, Alex Dyson, Bernadette O. Fernandez, Marian Grman, Jenna F. DuMond, Mark P. Barrow, George McLeod, Hidehiko Nakagawa, Karol Ondrias, Peter Nagy, S. Bruce King, Joseph E. Saavedra, Larry K. Keefer, Mervyn Singer, Malte Kelm, Anthony R. Butler, and Martin Feelisch.

Key bioactive reaction products of the NO/H₂S interaction are S/N-hybrid species, polysulfides, and nitroxyl

Proc. Natl. Acad. Sci. USA, **112**, E4651-E4660 (2015).

Naoya Ieda, Kazuhiro Hishikawa, Kei Eto, Kai Kitamura, Mitsuyasu Kawaguchi, Takayoshi Suzuki, Kiyoshi Fukuhara, Naoki Miyata, Toshiaki Furuta, Jun-ichi Nabekura, and Hidehiko Nakagawa.

A double bond-conjugated dimethylnitrobenzene-type photolabile nitric oxide donor with improved two-photon cross section

Bioorg. Med. Chem. Lett., **25**, 3172-3175, (2015).

Ivana Milic, Eva Griesser, Venukumar Vemula, Naoya Ieda, Hidehiko Nakagawa, Naoki Miyata, Jean-Marie Galano, Camille Oger, Thierry Durand, and Maria Fedorova.

Profiling and relative quantification of multiply nitrated and oxidized fatty acids

Anal. Bioanal. Chem., **407**, 5587-5602, (2015).

Naoki Fukushima, Naoya Ieda, Mitsuyasu Kawaguchi, Kiyoshi Sasakura, Tetsuo Nagano, Kenjiro Hanaoka, Naoki Miyata, and Hidehiko Nakagawa.

Development of Photo-controllable Hydrogen Sulfide Donor Applicable in Live Cells

Bioorg. Med. Chem. Lett., **25**, 175-178, (2015).

Mohammed Naseer Ahmed Khan, Hiroki Tsumoto, Yukihiro Itoh, Yosuke Ota, Miki Suzuki, Daisuke Ogasawara, Hidehiko Nakagawa, Tamio Mizukami, Naoki Miyata, and Takayoshi Suzuki.

Design, synthesis, and biological activity of N-alkylated analogue of NCL1, a selective inhibitor of lysine-specific demethylase 1

Med. Chem. Commun., **6**, 407-412, (2015).

(総説・著書・総合論文など)

中川 秀彦

可視光で制御可能な一酸化窒素放出化合物開発と生物への応用

光化学, **46**, 95-98, (2015).

家田 直弥、中川 秀彦

青色光制御型一酸化窒素発生剤とその生体応用

化学工業, **66**, 516-520, (2015).

中川 秀彦

SB01, スタンダード薬学シリーズ II, 第3巻 化学系薬学 I (市川厚総監修, 赤池昭紀
ほか編, 東京化学同人, 2015, 東京) pp29-40, pp370-383.

齋藤 勝裕, 林 一彦, 中川 秀彦, 梅澤 直樹 (共著)

薬学系のための基礎化学 (裳華房, 2015, 東京) .

(学会発表)

Hidehiko Nakagawa [invited]

Caged compounds for gaseous mediators, nitric oxide and hydrogen sulfide, and
their biological applications

3rd Bioscience and Biotechnology International Symposium, January 14, 2015,
Yokohama.

河中 宏樹、家田 直弥、川口 充康、中川 秀彦

N-Nitrosoaniline 型光制御 NO ドナーにおける置換基の影響

日本酸化ストレス学会東海支部 第3回学術集会, 2015年2月7日, 名古屋, 0-5.

中川 秀彦【招待講演】

一酸化窒素の光制御投与化合物

名古屋市立大学第1回医薬工連携フォーラム, 2015年2月15日, 名古屋.

中川 秀彦【招待講演】

活性イオウ含有分子研究に資する機能性ドナーの開発

第88回日本薬理学会年会, 2015年3月18-20日, 名古屋, S3C-35-4.

山田 創太、家田 直弥、川口 充康、宮田 直樹、中川 秀彦

クマリン構造を有する光で活性制御可能な HDAC 阻害剤の開発

日本薬学会第135年会, 2015年3月25-28日, 神戸, 26R-pm06.

喜多村 佳委、菱川 和宏、家田 直弥、川口 充康、鈴木 孝禎、宮田 直樹、中川
秀彦

可視光作動型ミトコンドリア局在性 NO ドナーによる細胞機能の制御

日本薬学会第135年会, 2015年3月25-28日, 神戸, 26R-pm07.

荒井 卓也、大野 彰子、栗原 正明、宮田 直樹、中川 秀彦、福原 潔

A β 1-42 の C 末端モチーフを有するカフェ酸およびジヒドロカフェ酸誘導体の合成と
A β 凝集阻害活性の解析

日本薬学会第135年会, 2015年3月25-28日, 神戸, 27PB-pm265S.

中川 秀彦

ガス状シグナル分子のケージド化合物と細胞機能制御

日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月 25-28 日, 神戸, S27-5.

喜多村 佳委、川口 充康、家田 直弥、菱川 和宏、鈴木 孝禎、宮田 直樹、中川 秀彦

可視光制御型ミトコンドリア局在性 NO ドナーによるミトコンドリア断片化制御

日本ケミカルバイオロジー学会第 10 年会, 2015 年 6 月 10-12 日, 仙台, P-048 【ポスター賞】.

犬飼 雄哉、家田 直弥、川口 充康、中川 秀彦

ニトロニルニトロキシドの反応性を利用した新規蛍光性 NO 検出剤の開発

第 68 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2015 年 6 月 11-12 日, 鹿児島, P32.

荒井 卓也、大野 彰子、須賀 真理奈、栗原 正明、小沢 俊彦、宮田 直樹、中川 秀彦、福原 潔

新規アルツハイマー病治療薬の開発を目指した A β 1-42 の C 末端モチーフ含有ジヒドロカフェ酸誘導体の合成

第 68 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2015 年 6 月 11-12 日, 鹿児島, P53.

中川 秀彦

光で制御する一酸化窒素・活性酸素投与方法の開発と応用

第 68 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2015 年 6 月 11-12 日, 鹿児島, 【学術賞受賞講演】.

曾根 佑登、家田 直弥、川口 充康、中川 秀彦

ビフェニル骨格を持つ新規 Pin1 阻害剤の開発

第 61 回日本薬学会東海支部 総会・大会, 2015 年 7 月 4 日, 名古屋, A6.

犬飼 雄哉、家田 直弥、川口 充康、中川 秀彦

新規の蛍光性 NO 検出剤を目指した ニトロニルニトロキシド結合ジエチルアミノクマリン誘導体の開発とその機能評価

第 61 回日本薬学会東海支部 総会・大会, 2015 年 7 月 4 日, 名古屋, A7 【優秀発表賞】.

Naoya Ieda, Yuji Hotta, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa

Development of Blue-Light-Controllable Nitric Oxide Releaser and its Biological Application.

SFRBM2015, November, 18-21, 2015, Boston, 164.

脇田 弘臣、家田 直弥、川口 充康、中川 秀彦

ピラズロン骨格を基軸とした CARM1 阻害剤の創製

第 33 回メディシナルケミストリーシンポジウム, 2015 年 11 月 25-27 日, 千葉, 1P-35.

Hidehiko Nakagawa

Two-photon uncaging of photo-NO releasers and vasodilation in living mouse brain.

Pacificchem2015, Dec. 15-20, 2015, Honolulu.

【精密有機反応学分野】

(原報)

Naoki Umezawa, Yuhei Horai, Yuki Imamura, Makoto Kawakubo, Mariko Nakahira, Nobuki Kato, Akira Muramatsu, Yuko Yoshikawa, Kenichi Yoshikawa, Tsunehiko Higuchi
Structurally Diverse Polyamines: Solid-Phase Synthesis and Interaction with DNA
ChemBioChem, **16(12)**, 1811-1819 (2015).
10.1002/cbic.201500121

Nobuki Kato, Yu Hamaguchi, Naoki Umezawa and Tsunehiko Higuchi
Efficient oxidation of ethers with pyridine N-oxide catalyzed by ruthenium porphyrins
J. Porphyrins Phthalocyanines, **19(1-3)**, 411-416 (2015).
10.1142/S1088424615500297

(総説・著書・総合論文など)

梅澤 直樹、樋口 恒彦
環状化を用いたペプチド機能の光制御
生体の科学 (医学書院), **66(2)**, 102-107 (2015).

(学会発表)

樋口 恒彦
ヘム酵素モデル研究の新たな展開を求めて
分子研研究会「生物無機化学の最先端と今後の展望：金属と生体分子の作用機序解明とモデル化および応用への展開」
2015年1月6-7日(岡崎).

奥園 希美子, 鈴木 潤, 土幸 隆司, 梅澤 直樹, 加藤 信樹, 樋口 恒彦
アルキルヒドロペルオキシドを酸化剤とするチオレート配位鉄ポルフィリン触媒反応の機構解析
日本薬学会第135年会. 2015年3月26日(神戸); 26I-pm13.

寶来 侑平, 梅澤 直樹, 今村 優希, 村松 晃, 吉川 研一, 吉川 裕子, 加藤 信樹, 樋口恒彦
新規ポリアミンの固相合成とポリアミン骨格構造がDNA構造に及ぼす影響
日本薬学会第135年会. 2015年3月26日(神戸); 26R-am09S.

天野 祐一, 加藤 信樹, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦
LSD1阻害ペプチド活性の光制御
日本薬学会第135年会. 2015年3月27日(神戸); 27PB-am277.

Tsunehiko Higuchi 【依頼講演】
Substrate-Dependent Oxidation with Alkyl Hydroperoxide Mediated By Iron Porphyrin Coordinated By Thiolate

The 227th Meeting of The Electrochemical Society (ECS).
2015年5月26日 (Chicago, U.S.A.) ; B08-0989.

坂田 陽輔, 藪名香 宏介, 小林 由布子, 大宮 広久, 矢木 宏和, 佐藤 匡, 加藤 信樹, 梅澤 直樹, 加藤 晃一, 樋口 恒彦

Potent Antimalarial Activity of Molecules Having Two Planar Moieties Designed Based on Heme Targeting

第25回金属の関与する生体関連反応シンポジウム. 2015年5月30日 (長崎) ; 0-07.

樋口 恒彦

反応補助基を備えたマンガンサレンによる酵素類似活性酸素消去

第68回日本酸化ストレス学会学術集会. 2015年6月11日 (鹿児島) ; 0-10.

Tsunehiko Higuchi

Stable Heme Thiolate Complexes as Sophisticated Model of Cytochrome P450

Metals in Biology in Wako. 2015年6月16日 (和光) ; P-35.

辻 佳寿美, 寶来 侑平, 梅澤 直樹, 加藤 信樹, 樋口 恒彦

多様な骨格構造をもつポリアミンの固相合成と DNA 二重鎖に及ぼす影響

第61回日本薬学会東海支部総会・大会. 2015年7月4日 (名古屋) ; A14.

白川 慶典, 丹羽 雄紀, 梅澤 直樹, 加藤 信樹, 樋口 恒彦

シトクロム P450 モデル錯体の軸配位子・中心金属元素置換体の合成と機能

第61回日本薬学会東海支部総会・大会. 2015年7月4日 (名古屋) ; A15.

樋口 恒彦

C-H 結合活性化を活用する独創的リード化合物高度化

第3回(平成27年度)創薬等支援技術基盤プラットフォーム公開シンポジウム
~知って、使って、進む あなたの研究~. 2015年10月8日 (東京) ; .

丹羽 雄紀, 鈴木 潤, 加藤 信樹, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦

合成ヘム-チオラート錯体の触媒するアルキルヒドロペルオキシドによる基質酸化

第48回酸化反応討論会. 2015年10月23日 (京都) ; P-44.

國枝 一輝

o-キノジメタンの 8π 電子環状反応を利用した Benzocyclooctadiene 合成法の開発

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術集会 2015.
2015年11月1日 (名古屋) .

天野 太成

高度に立体的に遮蔽された金属ポルフィリンの合成と選択的アルカン酸化

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術集会 2015.
2015年11月1日 (名古屋)

【薬品合成化学分野】

(原報)

Yoshihiko Uehara, Masahiro Inoue, Koji Fukuda, Hiroyuki Yamakoshi, Yoshio Hosoi, Hiroaki Kanda, Masanobu Oshima, Yoshiharu Iwabuchi, and Hiroyuki Shibata
Inhibition of β -Catenin and STAT3 with a Curcumin Analog Suppresses Gastric Carcinogenesis In vivo.

Gastric Cancer, **18**, 774–783 (2015).

Hiroyuki Yamakoshi, Almar Palonpon, Kosuke Dodo, Jun Ando, Satoshi Kawata, Katsumasa Fujita, and Mikiko Sodeoka
A Sensitive and Specific Raman Probe Based on Bisarylbutadiyne for Live Cell Imaging of Mitochondria.

Bioorg. Med. Chem. Lett., **25**, 664–667 (2015).

Jun Ando, Masanao Kinoshita, Jin Cui, Hiroyuki Yamakoshi, Kosuke Dodo, Katsumasa Fujita, Michio Murata, and Mikiko Sodeoka
Sphingomyelin Distribution in Lipid Rafts of Artificial Monolayer Membranes Visualized by Raman Microscopy.

Proc. Natl. Acad. Sci. USA, **112**, 4558–4563 (2015).

Ryoichi Arihara, Kosuke Kakita, Noritoshi Suzuki, Seiichi Nakamura, and Shunichi Hashimoto
Glycosylation with 2-Acetamido-2-deoxyglycosyl Donors at a Low Temperature: Scope of the Non-Oxazoline Method.

J. Org. Chem., **80**, 4259–4277 (2015).

Ryoichi Arihara, Kosuke Kakita, Kazuhiro Yamada, Seiichi Nakamura, and Shunichi Hashimoto
Synthesis of the Tetrasaccharide Repeating Unit from *Acinetobacter baumannii* Serogroup O18 Capitalizing on Phosphorus-Containing Leaving Groups.

J. Org. Chem., **80**, 4278–4288 (2015).

Jin Cui, Shigeru Matsuoka, Masanao Kinoshita, Nobuaki Natsumori, Fuminori Sato, Michio Murata, Jun Ando, Hiroyuki Yamakoshi, Kosuke Dodo, and Mikiko Sodeoka
Novel Raman-Tagged Sphingomyelin that Closely Mimics Original Raft-Forming Behavior.

Bioorg. Med. Chem., **23**, 2989–2994 (2015).

Aki Kohyama, Hiroyuki Yamakoshi, Shoko Hongo, Naoki Kanoh, Hiroyuki Shibata, and Yoshiharu Iwabuchi
Structure-Activity Relationships of the Antitumor C5-Curcuminoid G0-Y030.

Molecules, **20**, 15374–15391 (2015).

Keisuke Suzuki, Hiroyuki Yamakoshi, and Seiichi Nakamura
Construction of Bridged Polycyclic Systems by Polyene Cyclization.

Chem. Eur. J., **21**, 17605–17609 (2015).

(総説・著書・総合論文など)

山越 博幸

アルキンタグラマンイメージングを利用した低分子化合物の生細胞観察

日本化学会生体機能関連科学部会ニュースレター, **30**, 10-13 (2015).

(学会発表)

中村 精一

古いものを新しく見せる ~多環式天然物の全合成に向けて~

創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業 第2回合成領域勉強会. 2015年3月6日
(東京).

近藤 秀明, 山越 博幸, 中村 精一

ジアゾ化合物の酸化的環化反応によるジヒドロフラン構築法の開発

日本薬学会第135年会. 2015年3月27日(神戸) ; 27PB-pm034S.

戸井田 明憲, 竹田 圭介, 山越 博幸, 橋本 俊一, 中村 精一

アセチルコリン受容体拮抗剤スピロリドDの合成研究(1)-渡環型ジスピロケタール化によるBCD環部の構築-

日本薬学会第135年会. 2015年3月28日(神戸) ; 28H-pm06.

竹田 圭介, 戸井田 明憲, 山越 博幸, 中村 精一

アセチルコリン受容体拮抗剤スピロリドDの合成研究(2)-分子内ヘテロ Michael 反応によるBCD環構築-

日本薬学会第135年会. 2015年3月28日(神戸) ; 28H-pm07S.

鈴木 恵介, 山越 博幸, 中村 精一【優秀発表賞】

ポリエン環化反応を機軸とする新規架橋多環式骨格構築法の開発

日本薬学会第135年会. 2015年3月28日(神戸) ; 28I-pm15S.

澤山 侑季, 山越 博幸, 赤堀 禎紘, 中村 精一

鎮痙物質マルリブアセタールの合成研究

日本薬学会第135年会. 2015年3月28日(神戸) ; 28H-pm15.

山越 博幸【優秀講演賞(学術)】

アルキンタグラマンイメージングを利用した低分子化合物の生細胞観察

日本化学会第95春季年会. 2015年3月28日(東京) ; 3J7-15.

澤山 侑季, 山越 博幸, 赤堀 禎紘, 中村 精一

Ireland-Claisen 転位による二連続第四級不斉中心の一段階構築を鍵とするマルリブアセタールの合成研究

第61回日本薬学会東海支部総会・大会. 2015年7月4日(名古屋) ; C9.

近藤 秀明, 山越 博幸, 中村 精一

ジアゾ化合物の酸化的環化反応による含酸素複素環構築法の開発

第61回日本薬学会東海支部総会・大会. 2015年7月4日(名古屋) ; C10.

山越 博幸, 澤山 侑季, 赤堀 禎紘, 中村 精一

マルリブアセタールの合成研究

第57回天然有機化合物討論会. 2015年9月11日(横浜) ; 41.

澤山 侑季, 山越 博幸, 赤堀 禎紘, 中村 精一

鎮痙作用を示す五環性ジテルペン・マルリブアセタールの合成研究

第 32 回有機合成化学セミナー. 2015 年 9 月 15 日 (熱海) ; P-24.

鈴木 恵介, 山越 博幸, 中村 精一

ポリエーテル環化反応を基盤とする架橋多環式骨格構築法の開発

第 5 回 CSJ 化学フェスタ 2015. 2015 年 10 月 14 日 (東京) ; P5-023.

戸井田 明憲, 竹田 圭介, 山越 博幸, 橋本 俊一, 中村 精一

双極子モーメント制御に基づくスピロリド類ジスピロケタール環部の立体選択的合成

第 41 回反応と合成の進歩シンポジウム. 2015 年 10 月 27 日 (東大阪) ; 2P-12.

鈴木 恵介, 山越 博幸, 中村 精一

架橋多環式骨格の一段階構築を基盤とするパークレーオン類の合成研究

第 108 回有機合成シンポジウム. 2015 年 11 月 5 日 (東京) ; 0-36.

澤山 侑季, 山越 博幸, 赤堀 禎紘, 中村 精一

鎮痙作用を持つラブダンジテルペノイド・マルリブアセタールの全合成

第 46 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会. 2015 年 11 月 7 日 (津) ; 2P04.

山越 博幸, 戸井田 明憲, 竹田 圭介, 橋本 俊一, 中村 精一

双極子モーメント制御に基づくスピロリド D の [6, 5, 5]-ジスピロケタール環部の立体選択的合成

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2015.

2015 年 11 月 8 日 (名古屋) ; C-1.

澤山 侑季, 山越 博幸, 赤堀 禎紘, 中村 精一

鎮痙作用を示すニガハッカ成分マルリブアセタールの全合成

第 33 回メディシナルケミストリーシンポジウム. 2015 年 11 月 26 日 (千葉) ; 2P-23.

Keisuke Suzuki, Hiroyuki Yamakoshi, and Seiichi Nakamura.

Stereoselective Construction of Bridged Polycyclic Systems via a Polyene Cyclization Reaction.

The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem2015)

2015 年 12 月 16 日 (Honolulu) ; ORGN 532.

Akinori Toita, Keisuke Takeda, Hiroyuki Yamakoshi, and Seiichi Nakamura.

Studies on the Synthesis of Spirolide D.

The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem2015)

2015 年 12 月 16 日 (Honolulu) ; ORGN 555.

Hiroyuki Yamakoshi, Yoshihiro Akahori, Yuki Sawayama, Shunichi Hashimoto, and Seiichi Nakamura.

Studies toward the Synthesis of Oxygenated Terpenoids Utilizing an Ireland-Claisen Rearrangement of Tetrahydrofuran-2-carboxylate Derivatives.

The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem2015)

2015 年 12 月 16 日 (Honolulu) ; ORGN 556.

【機能分子構造学分野】

(学会発表)

池田 慎一, 森田 有香, 白井 直洋,
ニッケル／亜鉛系触媒による β -酸素脱離を伴うヘック型ドミノ反応の計算化学的研究
第 135 年会 日本薬学会 2015 年 3 月 27 日 (神戸)

坂崎 美香, 白井 直洋, 池田 慎一
ニッケル触媒によるエノン、アルキン、ビニルシクロプロパンのドミノカップリング反
応の開発
日本病院薬剤師会東海ブロック 日本薬学会東海支部 合同学術会議 2015
2015 年 11 月 1 日 (名古屋)

【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Kiyoshi Hirahara, Atsushi Onodera, Alejandro V. Villarino, Michael Bonelli, Giuseppe Sciumèl, Arian Laurence, Hong-Wei Sun, Stephen R. Brooks, Golnaz Vahedi, Han-Yu Shih, Gustavo Gutierrez-Cruz, Shigeru Iwata, Ryo Suzuki, Yohei Mikami, Yoshitaka Okamoto, Toshinori Nakayama, Steven M. Holland, Christopher A. Hunter, Yuka Kanno, John J. O' Shea

Asymmetry of STAT action in driving IL-27 and IL-6 transcriptional outputs and cytokine specificity.

Immunity, **42**, 877-889 (2015).

Satoshi Tadokoro, Yoshikazu Inoh, Mamoru Nakanishi, Naohide Hirashima
Effects of PIP2 on membrane fusion between mast cell SNARE liposomes mediated by synaptotagmin 2.

Biochem. Biophys. Acta (Biomembrane), **1848**, 2290-2294 (2015)

(総説・著書・総合論文など)

Masahiko Tanaka

The dendritic differentiation of cerebellar Purkinje neurons: Unsolved mystery in formation of unique dendrites.

Cerebellum, **14**, 227-230 (2015).

Ryo Suzuki, Jorg Scheffel, Juan Rivera

New Insights on the Signaling and Function of the High Affinity Receptor for IgE.

Curr. Top. Microbiol. Immunol., **388**, 63-90 (2015) .

鈴木 亮

アレルゲン親和性によるマスト細胞活性化機構

臨床免疫・アレルギー科, **64**, 423-428 (2015)

鈴木 亮

IgEの高親和性受容体による分子レベルでの細胞応答制御

Science Booklet, p27. (2015)

(特許申請)

なし

(学会発表)

Ryo Suzuki 【招待講演】

Affinity Matters: FcεRI Mediated Cellular Responses

American Academy of Allergy, Asthma & Immunology 2015, Feb. 24, 2015 (Texas USA)

平嶋 尚英【招待講演】

アレルギー担当細胞のシグナル伝達とドラッグデリバリーへの応用

コロイドマテリアル応用化研究会 2015年2月29日(名古屋)

横川 慧, 小栗 良介, 伊納 義和, 鈴木 亮, 古野 忠秀, 平嶋 尚英

アルギニン刺激に伴う膵島 α 細胞内顆粒動態の追究

日本薬学会第135年会 2015年3月27日(神戸); 27PA-pm020.

伊納 義和, 田所 哲, 平嶋 尚英, 古野 忠秀, 中西 守

正電荷リポソームの物性がマスト細胞の活性化に及ぼす影響

日本薬学会第135年会 2015年3月27日(神戸); 27PA-pm040.

田所 哲, 柴田 哲大, 天野 稔朗, 伊納 義和, 中西 守, 平嶋 尚英, 楯 直子

マスト細胞の脱顆粒における syntaxin3 のリン酸化の役割

日本薬学会第135年会 2015年3月27日(神戸); 27PA-pm043.

鈴木 亮, Sarah Leach, Wenhua Liu, Evelyn Ralston, Jorg Scheffel, Weiguo Zhang, Clifford Lowell, 平嶋 尚英, Juan Rivera

アレルギー親和性による IgE 受容体の機能制御

日本薬学会第135年会 2015年3月27日(神戸); 27W-pm06.

望月 雄司, 池谷 実穂, 山之上 潔, 小西 尋文, 田所 哲, 田中 正彦, 鈴木 亮, 平嶋 尚英

分泌顆粒に局在する Ca チャネル Orai-2 によるマスト細胞の機能制御

日本薬学会第135年会 2015年3月27日(神戸); 27PB-am092.

藤田 真弥, 八木 孝樹, 大倉 宇海, 田中 順一, 平嶋 尚英, 田中 正彦

腸管グリア細胞におけるカルシニューリン欠損がもたらす小腸異常

日本薬学会第135年会 2015年3月28日(神戸); 28PB-pm123.

古野 忠秀, 篠原 惇宏, 横川 慧, 伊納 義和, 鈴木 亮, 平嶋 尚英, 中西 守

細胞接着を介した神経による膵島 α 細胞の機能調節機構の研究

日本薬学会第135年会 2015年3月28日(神戸); 27PA-pm019.

猪飼 千晴, 田所 哲, 平嶋 尚英

Chediak-Higashi 症候群原因タンパク質 LYST のマスト細胞における機能解析

日本薬学会第135年会 2015年3月28日(神戸); 28PB-am096.

大嶽 修一, 宮地 克真, 児玉 卓也, 田所 哲, 鈴木 亮, 田中 正彦, 平嶋 尚英

改変好塩基球を用いた腫瘍特異的 DDS への展開

日本薬学会第135年会 2015年3月29日(神戸); 28PB-pm101S.

千田 知美, 平嶋 尚英, 鈴木 亮

マスト細胞における顆粒内炎症性メディエータと分泌機能蛋白質の局在解析

日本薬学会第135年会 2015年3月29日(神戸); 28PB-pm111.

鈴木 亮, Sarah Leach, Wenhua Liu, Evelyn Ralston, Jorg Scheffel, Weiguo Zhang, Clifford Lowell, 平嶋 尚英, Juan Rivera

アレルギー親和性が制御するマスト細胞活性化機構の解明

第64回日本アレルギー学会学術大会 2015年5月28日(東京); MS34-2.

鈴木 亮, 平嶋 尚英, Juan Rivera
アレルギー親和性が制御する IgE 受容体クラスター形成と細胞活性化機構
日本薬学会東海支部大会 2015 年 7 月 4 日 (名古屋) ; G12.

田中 正彦, 千田 知美, 平嶋 尚英
グルタミン酸受容体サブユニット GluR2 の発現が小脳プルキンエ細胞樹状突起の正常な形成に必要である
第 38 回日本神経科学大会 2015 年 7 月 28 日 (神戸) ; 1P029.

横川 慧, 小栗 良介, 伊納 義和, 鈴木 亮, 古野 忠秀, 平嶋 尚英
接着分子 CADM1 による膵島 α 細胞グルカゴン分泌調節機構の解明
日本生物物理学会第 53 回年会 2015 年 9 月 15 日 (金沢) ; 3Pos138.

鈴木 亮, 望月 雄司, 平嶋 尚英
分泌顆粒局在 Ca^{2+} チャンネル Orai-2 の機能とアレルギー制御
第 37 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム 2015 年 11 月 19 日 (熊本) ; P25.

大嶽 修一, 宮地 克真, 児玉 卓也, 田所 哲, 田中 正彦, 鈴木 亮, 平嶋 尚英
改変好塩基球を用いた新規抗がん細胞療法
第 38 回日本分子生物学会年会 / 第 88 回日本生化学会大会
2015 年 12 月 1 日 (神戸) ; 1P0857.

伊納 義和, 谷口 奈央, 田所 哲, 中西 守, 平嶋 尚英, 古野 忠秀
正電荷リポソームの物性がマスト細胞の脱顆粒反応抑制経路に及ぼす影響
第 38 回日本分子生物学会年会 / 第 88 回日本生化学会大会
2015 年 12 月 2 日 (神戸) ; 2P0340.

田所 哲, 柴田 哲大, 天野 稔朗, 伊納 義和, 中西 守, 平嶋 尚英, 楯 直子
マスト細胞における syntaxin-3 のリン酸化による開口放出制御機構
第 38 回日本分子生物学会年会 / 第 88 回日本生化学会大会
2015 年 12 月 3 日 (神戸) ; 3P0038.

八木 孝樹, 藤田 真弥, 田中 順一, 平嶋 尚英, 田中 正彦
Gfap-cre calcineurin B $\alpha^{fl/fl}$ mice を用いた小腸グリア細胞の機能解明
第 38 回日本分子生物学会年会 2015 年 12 月 3, 4 日 (神戸) ; 3P1248, 4T 特 p-15.

Satoru Yokawa, Yoshikazu, Inoh, Ryo Suzuki, Tadashi Suzuki, Mamoru Nakanishi,
Tadahide Furuno, Naohide Hirashima
Cell adhesion molecule 1 (CADM1) influences granule movement and glucagon
secretion in pancreatic α cells.
American Society of Cell Biology 2015 Annual Meeting,
Dec. 12, 2015 (San Diego, CA, USA)

【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

T. Okuzono, T. Seki, A. Toyotama, and J. Yamanaka

Dynamics of Polyelectrolyte Solutions Under a Constant Gradient of Base Concentration

Phys. Rev. E, **92**, 022606 (2015).

Y. Nakamura, M. Okachi, A. Toyotama, T. Okuzono, and J. Yamanaka

Controlled Clustering in Binary Charged Colloids by Adsorption of

Langmuir, **31**, 13303 (2015).

C. Kakihara, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka, K. Ito, T. Shinohara, M. Tanigawa and I. Sogami

Structural Characterizations of Charged Colloidal Crystals

Int. J. Microgravity Sci. Appl., **32**, 320205 (2015).

谷川 正幸

Kikuchi-Kossel 法によるコロイド結晶の構造解析—微小重力下精密測定に向けて

Int. J. Microgravity Sci. Appl., 320204-1-320204-9 (2015).

曾我見 郁夫

コロイド分散系の標準理論を再考する

Int. J. Microgravity Sci. Appl., **32**, 320202 (2015).

(総説・著書・総合論文など)

山中 淳平、深谷 奈央、川中 智司、今井 宏起

人工オパール「コロイド結晶」の作製とその応用

フレグランスジャーナル, **vol. 43 (3)**, p. 42-47 (2015).

(特許申請)

名称: Acrylic resin composition, method of manufacturing the same, and architectural material, fashion accessory, and optical material formed using the same

発明者: J. Yamanaka, A. Toyotama, F. Uchida, S. Kawanaka

権利者: 名古屋市立大学

種類: PCT 出願 (PCT/JP2010/064019 の国際特許出願)

番号: WO 2011024709 A1

出願年月日: 2015 年 12 月 2 日

(学会発表)

増田 竜大, 小田井 香奈, 奥菌 透, 豊玉 彰子, 山中 淳平

反対電荷をもったコロイド粒子のクラスター形成

第4回ソフトマター研究会. 2015年1月6日 (名古屋)

中村 友紀, 岡地 真奈美, 豊玉 彰子, 奥菌 透, 山中 淳平
荷電コロイド粒子のクラスター形成

第4回ソフトマター研究会, 2015年1月7日 (名古屋)

山中 淳平, 柿原 千穂, 奥菌 透, 豊玉 彰子, 篠原 忠臣, 谷川 正幸, 曾我見 郁夫, 石川 正道

荷電コロイドの電荷誘起結晶化と構造相転移に対する重力の影響

第15回宇宙科学シンポジウム, 2015年1月7日 (神奈川)

山中 淳平, 柿原 千穂, 豊玉 彰子, 奥菌 透, 篠原 忠臣, 谷川 正幸, 曾我見 郁夫, 石川 正道

荷電コロイドの電荷誘起結晶化および構造相転移に対する重力の影響

第29回宇宙環境利用シンポジウム, 2015年1月24日 (神奈川)

山中 淳平, 柿原 千穂, 豊玉 彰子, 奥菌 透, 篠原 忠臣, 谷川 正幸, 曾我見 郁夫, 塚本 勝男

荷電コロイドの構造相転移の解明のための微小重力実験

第29回宇宙環境利用シンポジウム, 2015年1月24日 (神奈川)

T. Okuzono, K. Odai, T. Masuda, A. Toyotama, J. Yamanaka

Numerical study of cluster formation in binary charged colloids

Physics of Structural and Dynamical Hierarchy in Soft Matter.

2015年3月16日 (東京)

J. Yamanaka, Y. Nakamura, A. Toyotama, T. Okuzono

Controlled crystallization and clustering of colloidal particles due to adsorption of ionic surfactants

Physics of Structural and Dynamical Hierarchy in Soft Matter.

2015年3月16日 (東京)

山中 淳平

荷電コロイドの制御された結晶成長

コロイド結晶とその応用に関するシンポジウム

「コロイド結晶研究の過去、現在、未来」, 2015年3月18日 (つくば) 【招待】

豊玉 彰子

構造制御されたコロイド結晶の構築

コロイド結晶とその応用に関するシンポジウム

「コロイド結晶研究の過去、現在、未来」, 2015年3月18日 (つくば) 【招待】

奥菌 透, 関 友崇, 豊玉 彰子, 山中 淳平

塩基濃度勾配による高分子電解質の輸送

日本物理学会第70回年次大会, 2015年3月23日 (東京)

山中 淳平, 奥菌 透, 豊玉 彰子

荷電コロイド粒子を固定した高分子ゲル中の物質拡散

日本薬学会第135年会, 2015年3月26日 (兵庫)

J. Yamanaka, Y. Nakamura, M. Okachi, A. Toyotama, T. Okuzono

Controlled crystallization and clustering of colloidal particles due to tuning of surface charge by adsorption of ionic surfactant

第 15 回コロイド・界面国際会議. 2015 年 5 月 26 日 (ドイツ・マインツ)

T. Okuzono, T. Masuda, K. Odai, A. Toyotama, J. Yamanaka
Numerical study of cluster formation with oppositely charged colloidal particles

第 15 回コロイド・界面国際会議. 2015 年 5 月 26 日 (ドイツ・マインツ)

A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka
Eutectic structures in Binary and Ternary Charged Colloids in the Coexistence of Ionic Polymers

第 15 回コロイド・界面国際会議. 2015 年 5 月 26 日 (ドイツ・マインツ)

奥菌 透、関 友崇、豊玉 彰子、山中 淳平
塩基濃度勾配下における高分子電解質のダイナミクス
九大物性理論研究室・統計物理学研究室合同セミナー. 2015 年 6 月 27 日 (福岡)

小田井 香奈、奥菌 透、豊玉 彰子、山中 淳平
反対電荷を持ったコロイド粒子によるクラスター形成メカニズムの解析
第 61 回 日本薬学会東海支部 総会・大会 2015. 2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

関 友崇、奥菌 透、山中 淳平、豊玉 彰子
塩基濃度勾配下における荷電コロイド粒子のダイナミクス
第 61 回 日本薬学会東海支部 総会・大会 2015. 2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

佐藤 直子、山中 淳平、豊玉 彰子、奥菌 透
高分子ヒドロゲルおよび高分子修飾基板への荷電コロイド粒子の吸着挙動
第 61 回 日本薬学会東海支部 総会・大会 2015. 2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

西川 卓、山中 淳平、豊玉 彰子、奥菌 透
荷電コロイド結晶固定ゲルのひずみセンシングへの応用
第 61 回 日本薬学会東海支部 総会・大会 2015. 2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

深谷 奈央、山中 淳平、豊玉 彰子、奥菌 透
荷電シリカコロイドの分散安定性に対する溶媒の効果
第 61 回 日本薬学会東海支部 総会・大会 2015. 2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

山中 淳平、豊玉 彰子、中村 友紀、奥菌 透
イオン性界面活性剤を用いた荷電コロイドの温度誘起結晶化
第 66 回コロイドおよび界面化学討論会. 2015 年 9 月 12 日 (鹿児島)

豊玉 彰子、松野 宏美、奥菌 透、山中 淳平
枯渇引力によるコロイド共晶構造の自発的形成
第 66 回コロイドおよび界面化学討論会. 2015 年 9 月 12 日 (鹿児島)

関 友崇、奥菌 透、豊玉 彰子、山中 淳平
不均一な塩基濃度場における荷電コロイドダイナミクス
第 66 回コロイドおよび界面化学討論会. 2015 年 9 月 12 日 (鹿児島)

深谷 奈央、豊玉 彰子、奥菌 透、山中 淳平
低誘電率媒体中での荷電コロイドの分散安定性
第 66 回コロイドおよび界面化学討論会. 2015 年 9 月 12 日 (鹿児島)

岡地 真奈美、中村 友紀、豊玉 彰子、奥菌 透、山中 淳平

荷電コロイド粒子のクラスター形成と構造制御

第 66 回コロイドおよび界面化学討論会. 2015 年 9 月 12 日 (鹿児島)

佐藤 直子、豊玉 彰子、奥菌 透、山中 淳平

高分子ヒドロゲルおよび高分子修飾基板への荷電コロイド粒子の吸着挙動

第 64 回高分子討論会. 2015 年 9 月 16 日 (仙台)

Junpei Yamanaka, Chiho Kakihara, Misato Suko, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono

Crystallization and Structural Phase Transition of Dispersions

宇宙環境利用国際会議 2015. 2015 年 9 月 16 日 (京都)

Junpei Yamanaka, Chiho Kakihara, Misato Suko, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono

BCC to FCC Phase Transition in Charged Colloids

宇宙環境利用国際会議 2015. 2015 年 9 月 16 日 (京都)

山中 淳平

多成分コロイド系の結晶化

第 39 回結晶成長討論会. 2015 年 9 月 25 日 (滋賀)

山中 淳平、中村 友紀、豊玉 彰子、奥菌 透

イオン性界面活性剤を用いた荷電コロイドの温度誘起結晶化

第 45 回結晶成長国内会議. 2015 年 10 月 19 日 (札幌)

豊玉 彰子、松野 宏美、奥菌 透、山中 淳平

枯渇引力によるコロイド共晶構造の自発的形成

第 45 回結晶成長国内会議. 2015 年 10 月 19 日 (札幌)

菅生 行紘、豊玉 彰子、奥菌 透、野澤 純、藤原 航三、宇田 聡、山中 淳平

荷電コロイド結晶中の不純物粒子の拡散と欠陥

第 45 回結晶成長国内会議. 2015 年 10 月 20 日 (札幌)

西川 卓、豊玉 彰子、奥菌 透、山中 淳平

荷電コロイド結晶固定ゲルのひずみセンシングへの応用

第 45 回結晶成長国内会議. 2015 年 10 月 20 日 (札幌)

Y. Tomita, M. Okachi, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka

Controlled Clustering in Binary Charged Colloids Using Adsorption of Ionic Surfactants

The Western Pacific Colloids Meeting 2015.

2015 年 11 月 16 日 (Siem Reap・カンボジア)

Naoko Sato, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Junpei Yamanaka

Adsorption behaviour of the charged colloidal particles onto the surfaces of polymer hydrogels and polymer modified substrates

The Western Pacific Colloids Meeting 2015.

2015 年 11 月 16 日 (Siem Reap・カンボジア)

山中 淳平

荷電コロイド結晶における不純物粒子のホッピング

東北大セミナー. 2015 年 11 月 17 日 (仙台) 【招待】

【生命分子構造学分野】

(原報)

- Koya Inagaki, Tadashi Satoh, Satoru G. Itoh, Hisashi Okumura, and Koichi Kato
Redox-dependent conformational transition of catalytic domain of protein
disulfide isomerase indicated by crystal structure-based molecular dynamics
simulation
Chem. Phys. Lett. **618**, 203–207 (2015).
- Mitsutaka Ogawa, Shogo Sawaguchi, Takami Kawai, Daita Nadano, Tsukasa Matsuda,
Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Koichi Furukawa, and Tetsuya Okajima
Impaired O-linked N-acetylglucosaminylation in the endoplasmic reticulum by
mutated EGF domain-specific O-linked N-acetylglucosamine transferase found in
Adams-Oliver syndrome
J. Biol. Chem. **290**, 2137–2149 (2015).
- Sota Sato, Ryosuke Takeuchi, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Yoshiaki
Yamaguchi, Koichi Kato, and Makoto Fujita
A self-assembled, π -stacked complex as a finely-tunable magnetic aligner for
biomolecular NMR applications
Chem. Commun. **51**, 2540–2543 (2015).
- Yu Kitago, Masamichi Nagae, Zenzaburo Nakata, Maho Yagi-Utsumi, Shizuka Takagi-
Niidome, Emiko Mihara, Terukazu Nogi, Koichi Kato, and Junichi Takagi
Structural basis for amyloidogenic peptide recognition by sorLA
Nature Struct. Mol. Biol. **22**, 199–206 (2015).
- Hirokazu Yagi, Noriho Fukuzawa, Yasushi Tasaka, Kouki Matsuo, Ying Zhang,
Takumi Yamaguchi, Sachiko Kondo, Shiori Nakazawa, Noritaka Hashii, Nana
Kawasaki, Takeshi Matsumura, and Koichi Kato
NMR-based structural validation of therapeutic antibody produced in *Nicotiana
benthamiana*
Plant Cell Rep. **34**, 959–968 (2015).
- Hirokazu Yagi, Masatoshi Nakamura, Jun Yokoyama, Ying Zhang, Takumi Yamaguchi,
Sachiko Kondo, Jun Kobayashi, Tatsuya Kato, Enoch Y. Park, Shiori Nakazawa,
Noritaka Hashii, Nana Kawasaki, and Koichi Kato
Stable isotope labeling of glycoprotein expressed in silkworms using
immunoglobulin G as a test molecule
J. Biomol. NMR **62**, 157–167 (2015).
- Seung Hoon Kang, Hahn Sun Jung, Song Jae Lee, Cheon Ik Park, Sang Min Lim,
Heajin Park, Byung Sun Kim, Kwang Heum Na, Gyeong JinHan, Jae Woo Bae, Hyun Joo
Park, Keuk Chan Bang, Byung Tae Park, Hye Sdong Hwang, In-Soo Jung, Jae Il Kim,
Doo Byung Oh, Dong Il Kim, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Dae Kyong Kim, and Ha
Hyung Kim
Glycan structure and serum half-life of recombinant CTLA4Ig, an
immunosuppressive agent, expressed in suspension-cultured rice cells with
coexpression of human α 1,4-galactosyltransferase and human CTLA4Ig
Glycoconjugate J. **32**, 161–172 (2015).

Naoki Nakagawaa, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Hiromu Takematsu, and Shogo Oka
Ectopic clustering of Cajal-Retzius and subplate cells is an initial
pathological feature in *Pomgnt2*-knockout mice, a model of dystroglycanopathy
Sci. Rep. **5**, Article number: 11163 (2015).

Sota Sato, Yutaka Yoshimasa, Daishi Fujita, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi,
Koichi Kato, and Makoto Fujita
A self-assembled spherical complex displaying a gangliosidic glycan cluster
capable of interacting with amyloidogenic proteins
Angew. Chem. Int. Ed. **127**, 8555-8559 (2015).

Maho Yagi-Utsumi and Christopher M. Dobson
Conformational effects of the A21G Flemish mutation on the aggregation of
amyloid β peptide
Biol. Pharm. Bull. **38**, 1668-1672 (2015).

Maho Yagi-Utsumi, Tadashi Satoh, and Koichi Kato
Structural basis of redox-dependent substrate binding of protein disulfide
isomerase
Sci. Rep. **5**, 13909 (2015).

Hirokazu Yagi, Ying Zhang, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Shigeru Iida,
Yoshiki Yamaguchi, and Koichi Kato
Backbone ^1H , ^{13}C , and ^{15}N resonance assignments of the Fc fragment of human
immunoglobulin G glycoprotein
Biomol. NMR Assign. **9**, 257-260 (2015).

Koya Inagaki, Tadashi Satoh, Maho Yagi-Utsumi, Anne-Charlotte Le Gulluche,
Takahiro Anzai, Yoshinori Uekusa, Yukiko Kamiya, and Koichi Kato
Redox-coupled structural changes of the catalytic a' domain of protein
disulfide isomerase
FEBS Lett. **589**, 2690-2694 (2015).

Yuya Isoda, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Mami Shibata-Koyama, Kazuhiro
Masuda, Mitsuo Satoh, Koichi Kato, and Shigeru Iida
Importance of the side chain at position 296 of antibody Fc in interactions
with Fc γ RIIIa and other Fc γ receptors
PLoS ONE **10**, e140120 (2015).

Kentaro Ishii, Hiroki Enda, Masanori Noda, Megumi Kajino, Akemi Kim, Eiji
Kurimoto, Ken Sato, Akihiko Nakano, Yuji Kobayashi, Hirokazu Yagi, Susumu
Uchiyama, and Koichi Kato
pH-dependent assembly and segregation of the coiled-coil segments of yeast
putative cargo receptors Emp46p and Emp47p
PLoS ONE **10**, e140287 (2015).

Ratsupa Thammaphorn, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Pornthip Boonsri,
Patchreenart Saparpakorn, Kiattawee Choowongkorn, Supanna Techasakul, Koichi
Kato, and Supa Hannongbua
NMR characterization of HIV-1 reverse transcriptase binding to various non-
nucleoside reverse transcriptase inhibitors with different activities
Sci. Rep. **5**, 15806 (2015).

Satoshi Ninagawa, Tetsuya Okada, Yoshiki Sumitomo, Satoshi Horimoto, Takehiro Sugimoto, Tokiro Ishikawa, Shunichi Takeda, Takashi Yamamoto, Tadashi Suzuki, Yukiko Kamiya, Koichi Kato, and Kazutoshi Mori
Forcible destruction of severely misfolded mammalian glycoproteins by the non-glycoprotein ERAD pathway

J. Cell Biol. **211**, 775–784 (2015).

Francisco N. Newby, Alfonso De Simone, Maho Yagi-Utsumi, Xavier Salvatella, Christopher M. Dobson, and Michele Vendruscolo
Structure-free validation of residual dipolar coupling and paramagnetic relaxation enhancement measurements of disordered proteins

Biochemistry **54**, 6876–6886 (2015).

Tong Zhu, Takumi Yamaguchi, Tadashi Satoh, and Koichi Kato
A hybrid strategy for the preparation of ^{13}C -labeled high-mannose-type oligosaccharides with terminal glucosylation for NMR study

Chem. Lett. **44**, 1744–1746 (2015).

Yosuke Kanematsu, Yukiko Kamiya, Koichi Matsuo, Kunihiko Gekko, Koichi Kato, and Masanori Tachikawa
Isotope effect on the circular dichroism spectrum of methyl α -D-glucopyranoside in aqueous solution

Sci. Rep. **5**, 17900 (2015).

Kentaro Ishii, Masanori Noda, Hirokazu Yagi, Ratsupa Thammaphorn, Supaporn Seetaha, Tadashi Satoh, Koichi Kato, and Susumu Uchiyama
Disassembly of the self-assembled, double-ring structure of proteasome $\alpha 7$ homo-tetradecamer by $\alpha 6$

Sci. Rep. **5**, 18167 (2015).

(総説・著書・総合論文など)

Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Tadashi Satoh, Maho Yagi-Utsumi, Yukiko Kamiya, Yoshitake Sakae, Yuko Okamoto, and Koichi Kato
Conformational dynamics of oligosaccharides characterized by paramagnetism-assisted NMR spectroscopy in conjunction with molecular dynamics simulation
Advances in Experimental Medicine and Biology (A. Chakrabarti and A. Surolia ed.), Springer (Switzerland), **842**, 217–230 (2015).

Goutam Mandal, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, and Bishnu Pada Chatterjee
Structural heterogeneity of glycoform of alpha-1 acid glycoprotein in alcoholic cirrhosis patients
Advances in Experimental Medicine and Biology (A. Chakrabarti and A. Surolia ed.), Springer (Switzerland), **842**, 389–401 (2015).

加藤 晃一
糖鎖構造学研究の新展開

BIOT0V0, **23**, 2–3 (2015).

Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato
Emerging structural insights into glycoprotein quality control coupled with *N*-glycan processing in the endoplasmic reticulum

Molecules **20**, 2475-2491 (2015).

加藤 晃一

アルツハイマー病の原因物質を「掃除」するタンパク質
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 19, 2 (2015)

山口 拓実, 加藤 晃一
糖鎖の立体構造を描き出す

生物物理, **55**, 81-83 (2015).

Maho Yagi-Utsumi and Koichi Kato
Structural and dynamic views of GM1 ganglioside

Glycoconjugate J. **32**, 105-112 (2015).

加藤 晃一, 稲垣 直之
離合集散が織りなす生命分子機能の研究フロンティア

実験医学, **33**, 1316-1320 (2015).

加藤 晃一, 佐藤 匡史
生命分子の自己組織化のダイナミクス

化学工業, **66**, 32-37 (2015).

山口 拓実, 矢木 真穂, 加藤 晃一
糖鎖の生命分子科学の新展開

機器センターたより, **7**, 75-79 (2015).

蜷川 暁, 加藤 晃一, 森 和俊
糖鎖依存的構造異常タンパク質分解に必要な糖鎖刈り込み機構を解明
～革新的ゲノム編集技術によって従来のモデルを一新～

化学と生物, **53**, 571-573 (2015).

佐藤 匡史, 加藤 晃一
糖タンパク質の細胞内輸送

糖鎖の新機能開発・応用ハンドブック～創薬・医療から食品開発まで～ (秋吉一成, 津本浩平, 加藤晃一, 鷹羽武史, 深瀬浩一, 古川鋼一編), エヌ・ティー・エス, pp. 144-149 (2015).

矢木 宏和, 加藤 晃一
HPLC マッピング法による糖鎖プロファイリング

糖鎖の新機能開発・応用ハンドブック～創薬・医療から食品開発まで～ (秋吉一成, 津本浩平, 加藤晃一, 鷹羽武史, 深瀬浩一, 古川鋼一編), エヌ・ティー・エス, pp. 243-249 (2015).

山口拓 実, 加藤 晃一
NMR

糖鎖の新機能開発・応用ハンドブック～創薬・医療から食品開発まで～ (秋吉一成, 津本浩平, 加藤晃一, 鷹羽武史, 深瀬浩一, 古川鋼一編), エヌ・ティー・エス, pp. 265-271 (2015).

矢木 真穂, 佐藤 匡史, 加藤 晃一
PDI の酸化還元状態に依存した基質認識メカニズムの構造基盤

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 26, 5 (2015)

佐藤宗太, 加藤晃一, 藤田 誠
生命現象の解明に挑むサイボーグ超分子—機能を維持したまま生体分子クラスターを人工分子に移植
化学, **70**, 31-36 (2015).

Koichi Kato and Takumi Yamaguchi
Paramagnetic NMR probes for characterization of the dynamic conformations and interactions of oligosaccharides
Glycoconjugate J., **32**, 505-513 (2015).

佐藤 匡史, 加藤 晃一
業績紹介: 小胞体フォールディングセンサー酵素UGGTによる基質認識メカニズムの構造的知見
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 17, 3 (2015).

佐藤 宗太, 加藤 晃一
業績紹介: 二段階の秩序化により構築した π -スタック錯体の一次元集積体を生体分子のNMR解析に応用
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 18, 1 (2015).

加藤 晃一, 奥村 久士
業績紹介: 理論と実験の連携によるプロテインジスルフィドイソメラーゼの触媒ドメインの酸化還元依存した構造転移の解析
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 18, 3 (2015).

加藤 晃一
「生命分子ダイナミクスの探求を目指す次世代NMR研究会」報告
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 18, 23 (2015).

加藤 晃一
台湾訪問記
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 18, 25 (2015).

加藤 晃一
アルツハイマー病の原因物質を「掃除」するタンパク質
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 19, 2 (2015).

神谷 由紀子, 岡本 祐幸, 加藤 晃一
分子シミュレーションとNMR法による糖鎖の動的構造へのアプローチ (図書)
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 19, 2 (2015).

加藤 晃一
アウトリーチ活動報告および受賞報告
「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 19, 6 (2015).

加藤 晃一
アジア連携分子研研究会 日韓生体分子科学セミナー: 実験とシミュレーション
分子研レターズ, **71**, 12-13 (2015).

Zhu Tong
受賞者の声: 第87回日本生化学会大会若手優秀発表賞
分子研レターズ, **71**, 56-57 (2015).

矢木 真穂, 加藤 晃一

The 5th Yosei-IMS Joint Workshop: “Multilateral approaches for investigating biomolecular structures and functions” 報告

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 20, 10 (2015).

立川 仁典, 神谷 由紀子, 加藤 晃一

アウトリーチ活動報告および受賞報告

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 20, 11 (2015).

内山 進, 加藤 晃一

内山グループの石井健太郎さんが平成 26 年度生物物理学会中部支部講演会にて優秀発表賞を受賞

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 20, 12 (2015).

佐藤 宗太, 加藤 晃一

業績紹介: サイボーグ超分子を使って病因として知られる凝集性タンパク質認識の観測に成功

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 22, 1 (2015).

加藤 晃一

糖タンパク質の安定同位体標識

Stable Isotopes for Biomolecular NMR, 大陽日酸株式会社, pp.25-26 (2015).

加藤 晃一

中間評価を迎えるにあたって

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 23, 1 (2015).

加藤 晃一

NMR を利用した抗体の高次構造解析

大阪医薬品協会 会報, 第 799 号, 62-80 (2015).

加藤 晃一

糖鎖研究のその後の展開

山田科学振興財団財団ニュース, 第 74 号, 8 (2015).

加藤 晃一, 内山 進, 佐藤 健

酵母カーゴ受容体様タンパク質 Emp46p-Emp47p の pH 依存的な離合集散機構

「動的秩序と機能」ニュースレター, No. 27, 1 (2015).

矢木 宏和

神経系における糖鎖の構造から生理機能発現までの統合的な理解を目指して

「神経糖鎖生物学」ニューズレター, 第 4 号, 10 (2015).

石井 健太郎, 加藤 晃一, 内山 進

新装置紹介 超分子質量分析装置

分子研レターズ, **72**, 49 (2015).

Arunima Sikdar

受賞者の声: 総研大アジア冬の学校 優秀ポスター賞/第 25 回大幸財団留学育英奨学生

分子研レターズ, **72**, 57 (2015).

(学会発表)

Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato 【ポスター賞受賞】

NMR approaches for characterizing interaction of molecular chaperons with intrinsically disordered proteins

The 3rd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions 2015年1月11日(志摩) ; P030

Takumi Yamaguchi, Yoshitake Sakae, Maho Yagi-Utsumi, Ying Zhang, Sayoko Yamamoto, Yuko Okamoto, and Koichi Kato 【招待講演】

Elucidation of the molecular basis of oligosaccharide functions by NMR spectroscopy and molecular dynamics simulation

The 3rd International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems for Creation of Integrated Functions 2015年1月11日(志摩) ; L-13

Koichi Kato 【招待講演】

Dynamic orchestration of proteasomes, Intracellular protein degradation machines

The Winter School of Sokendai/Asian CORE Program 2015年1月16日(岡崎)

加藤 晃一 【招待講演】

NMR を利用した抗体の高次構造解析

平成 26 年度先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業成果発表会
—彩都産学官連携フォーラム 2015— 2015年1月21日(大阪)

Koichi Kato 【招待講演】

Structural views of glycans in physiological and pathological contexts

CU-IMS workshop 2015年1月24日(Bangkok)

Tadashi Satoh, Takayasu Toshimori, Tong Zhu, Genwei Yan, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Structural basis for sugar trimming reactions by glucosidase II involved glycoprotein quality control system

The 5th Yonsei-IMS Joint Workshop: “Multilateral approaches for investigating biomolecular structures and functions” 2015年1月31日(箱根) ; Session2-1.

Tong Zhu, Tadashi Satoh, Hironari Kamikubo, and Koichi Kato

Structural aspects of glycoprotein folding sensor enzyme (UGGT): A combined X-ray crystallography and small angle X-ray scattering study

The 5th Yonsei-IMS Joint Workshop: “Multilateral approaches for investigating biomolecular structures and functions” 2015年1月31日(箱根) ; Session2-3.

Takumi Yamaguchi, Ying Zhang, and Koichi Kato

Elucidation of conformational dynamics of oligosaccharides by NMR spectroscopy and molecular dynamics simulation

The 5th Yonsei-IMS Joint Workshop: “Multilateral approaches for investigating biomolecular structures and functions” 2015年1月31日(箱根) ; Session3-2.

山口拓実 【依頼講演】

第3の生命分子鎖：揺らめく糖鎖のかたちとはたらき

愛知県立岡崎高等学校スーパーサイエンス進路オリエンテーション
2015年2月2日(岡崎)

Koichi Kato 【招待講演】

Conformational dynamics and interactions of oligosaccharides and glycoconjugate
The 4th International Symposium on Drug Discovery and Design by NMR
2015年2月4日（横浜）

加藤 晃一 【招待講演】

複合糖質の構造生物学と創薬

第4回岐阜構造生物学・医学・論理的創薬研究会シンポジウム 2015年3月5日（岐阜）

石井 健太郎、矢木 宏和、加藤 晃一、内山 進 【優秀発表賞受賞】

プロテアソーム $\alpha 7$ サブユニットの多量体ダイナミクスの超分子質量解析

2014年度生物物理学会中部支部講演会 2015年3月10日（岡崎）；T13.

加藤 晃一 【招待講演】

生命分子の自己組織化のダイナミクス

日本化学会 第95春季年会 特別企画「生命および人工分子システムにおける動的秩序形成：分子論的理解」 2015年3月26日（船橋）；1S6-02.

山口 拓実・榮 慶丈・岡本 祐幸・加藤 晃一

NMR解析に基づく分子シミュレーションによる高マンノース型糖鎖の動的立体構造の解明

日本化学会 第95春季年会 2015年3月28日（船橋）；3J5-30.

Gengwei Yan, Takumi, Yamaguchi, Ying Zhang, Katsuyuki Nishimura, Koichi Kato
NMR analyses of glycolipid clustering in membrane systems

日本化学会 第95春季年会 2015年3月28日（船橋）；3J5-31.

矢木 真穂、加藤 晃一

NMR法を用いたアミロイド β ペプチドと小胞体シャペロンとの相互作用解析

日本薬学会第135年会 2015年3月28日（神戸）；28V-am05.

加子 夏未、加藤 竜也、近藤 幸子、矢木 宏和、加藤 晃一、朴 龍洙

カイコN型糖鎖付加経路改変に向けたカイコ内のヒト由来糖転移酵素発現に関する研究

日本農芸化学会 2015年度大会 2015年3月27~29日（岡山）

加藤 晃一 【招待講演】

糖鎖を見る

第4回バイオイメージング研究会 2015年5月8日（東京）

若本 拓朗、北沢 創一郎、矢木-内海 真穂、加藤 晃一、Nicola J. Baxter,
Christian Roumestand, Mike P. Williamson, 北原 亮

高圧力NMR法によるユビキチンの局所変性状態の立体構造解析

第62回日本生化学会 近畿支部例会 2015年5月16日（草津）

矢木 宏和

HPLCおよび質量分析による糖鎖の構造解析

技術情報協会セミナー「バイオ/抗体医薬品における糖鎖・タンパク質解析の基礎とバリデーション」 2015年5月19日（東京）

矢木 真穂、佐藤 匡史、加藤 晃一

プロテインジスルフィドイソメラーゼの基質認識の構造基盤の解明

第79回日本生化学会中部支部例会 2015年5月23日（松本）；P-13.

Mitsutaka Ogawa, Shogo Sawaguchi, Pawel Bieniasz-Krzywiec, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Jiro Usukura, Koichi Furukawa, and Tetsuya Okajima
Biological roles of extracellular O-GlcNAc in Notch signaling, vascular development, and blood retinal barrier maintenance

第 79 回日本生化学会中部支部例会 2015 年 5 月 23 日 (松本) ; P-44.

Shogo Sawaguchi, Mitsutaka Ogawa, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Jiro Usukura, Koichi Furukawa, and Tetsuya Okajima 【中部支部奨励賞】
細胞外 O-GlcNAc の修飾に関わる EOGT 変異マウスの表現型解析

第 79 回日本生化学会中部支部例会 2015 年 5 月 23 日 (松本) ; P-45.

Hirokazu Yagi, Noriho Fukuzawa, Yasushi Tasaka, Kouki Matsuo, Ying Zhang, Takumi Yamaguchi, Sachiko Kondo, Shiori Nakazawa, Noritaka Hashii, Nana Kawasaki, Takeshi Matsumura, and Koichi Kato
NMR-based structural validation and SPR-based functional analysis of therapeutic human antibody produced in transgenic *Nicotiana benthamiana* cultivated by hydroponics in closed plant factory

Plant-Based Vaccines, Antibodies & Biologics
2015 年 6 月 8-10 日 (Lausanne) ; poster133.

Takumi Yamaguchi and Koichi Kato 【招待講演】

Paramagnetic Lanthanide-tagging for NMR Characterization of The Conformational Dynamics of Oligosaccharides

IMS Asian International Symposium "Supramolecular Dynamics at the Interface of Chemistry and Biology" 2015 年 6 月 12 日 (岡崎)

佐藤 匡史

小胞体糖タンパク質フォールディング装置作動メカニズムの解明

ライフサイエンスの革命を目指した構造生命科学と先端的基盤技術研究領域
第 5 回領域班会議 2015 年 6 月 16 日 (淡路)

石井 健太郎, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 内山 進

Native MS によるプロテアソーム $\alpha 7$ サブユニットの自己会合状態の解析

第 63 回質量分析総合討論会 2015 年 6 月 17 日 (つくば) ; 1P-36.

Ratsupa Thammaphorn, Patchreenart Saparpakorn, Witcha Treesuwan, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Koichi Kato, and Supa Hannongbua
Binding Free Energies of Non-nucleoside Inhibitor Binding to HIV-1 Reverse Transcriptase

The 19th International Annual Symposium on Computational Science and Engineering (ANSCSE19)
2015 年 6 月 17-19 日 (Thailand)

加藤 晃一 【招待講演】

糖鎖の 3 次元構造ダイナミクスと分子間相互作用

第 2 回蛋白質工学研究会ワークショップ 2015 年 6 月 23 日 (徳島)

矢木 宏和

ジストログリカン糖鎖を合成する酵素複合体の同定と機能解析

平成 27 年度神経糖鎖生物学 夏の班会議 2015 年 6 月 25 日 (鳥取) ; T-08.

矢木-内海 真穂, 加藤 晃一 【招待講演】

ガングリオシドクラスターを舞台とする神経変性疾患関連タンパク質の構造転移
第 15 回 日本蛋白質科学会年会 2015 年 6 月 26 日 (徳島) ; 3WC-6.

服部 良一, 山口 拓実, Ying Zhang, 亀田 倫史, 加藤 晃一, 藤原 敏道, 児嶋
長次郎

硬直な構造をもつ新規ランタニドキレート剤のタンパク質への導入およびその常磁性
NMR 研究

第 15 回 日本蛋白質科学会年会 2015 年 6 月 26 日 (徳島) ; 3P-047.

石井 健太郎, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 内山 進
ESI-MS によるプロテアソームサブユニット複合体の化学量論の解析

第 42 回 BMS コンファレンス 2015 年 7 月 7 日 (岐阜) ; 2

加藤 晃一【招待講演】

生命分子システムの動的秩序形成の探査・創生・展開

第 1 回秩序化分子システム仙台ワークショップ 2015 年 7 月 11 日 (仙台)

矢木 宏和【奨励賞受賞講演】

神経系における糖鎖の機能解明のための糖鎖プロファイリング技術の開発とその応
用

第 34 回日本糖質学会年会 2015 年 8 月 1 日 (東京)

吉村 武, 林 明子, 内村 健治, 門松 健治, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 馬場 広
子, 池中 一裕

GlcNAc6ST-1 は N 結合型糖鎖の硫酸化を介して末梢神経系の髄鞘形成を制御す
る

第 34 回日本糖質学会年会 2015 年 8 月 2 日 (東京) ; B3-07

Hirokazu Yagi【招待講演】

Application of N-glycosylation profiling by using HPLC mapping

糖鎖科学中部拠点/日本ウォーターズ共催セミナー 2015 年 8 月 3 日 (名古屋)

加藤 晃一, 山口 拓実, 矢木 真穂, 栗原 顕輔, 佐藤 匡史【招待講演】

生命分子システムにおける動的秩序形成と高次機能発現

生命分子の動的秩序形成におけるミクロ-マクロ相関の探査と設計原理の探求

新学術領域「動的秩序と機能」平成 27 年度全体班会議 2015 年 8 月 5 日 (淡路)

Koichi Kato【招待講演】

NMR Views of Fate Determination and Functional Regulation of Proteins Mediated
by Sugar Chains

The 19th International Society of Magnetic Resonance (ISMAR 2015)

2015 年 8 月 20 日 (Shanghai)

Koichi Kato, Maho Yagi-Utsumi, Takumi Yamaguchi, Hirokazu Yagi, and Tadashi
Satoh【招待講演】

Structural Views of Glycan Functions in Physiological and Pathological Contexts

9th International Conference on Proteoglycans and 10th Pan-Pacific Connective

Tissue Societies Symposium (IPC&PPCTSS 2015) 2015 年 8 月 24 日 (Seoul)

谷中 冴子【招待講演】

NMR を用いた動的構造解析から、ヒト主要組織適合複合体における、ゆらぎの役割を考
える

第 3 回生体分子サイエンスセミナー 2015 年 8 月 31 日 (神奈川)

山口 拓実, Yan Gengwei, 矢木 宏和, 加藤 晃一
ネオ糖脂質による神経幹細胞に対するアポトーシス誘導
第9回バイオ関連化学シンポジウム 2015年9月10日(熊本); 1P-078.

Kentaro Ishii, Hiroki Enda, Masanori Noda, Megumi Kajino, Akemi Kim, Eiji Kurimoto, Ken Sato, Akihiko Nakano, Yuji Kobayashi, Hirokazu Yagi, Susumu Uchiyama, and Koichi Kato
pH-dependent assembly and segregation of the coiled-coil segments of yeast putative cargo receptors Emp46p and Emp47p
第53回日本生物物理学会年会 2015年9月15日(金沢); 3Pos023.

石井 健太郎, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 内山 進
ESI-MS analysis for the stoichiometry of proteasome subunit complex
第2回「動的秩序と機能」若手研究会 2015年10月6日(蒲郡); P8.

與語 理那, 矢木 宏和, 谷中 冴子, 矢木 真穂, 加藤 晃一
Fc受容体との相互作用における抗体の構造変化から抗体の足場としての機能を考える
第2回「動的秩序と機能」若手研究会 2015年10月7日(蒲郡)

矢木 宏和【招待講演】
ネオ糖脂質による神経幹細胞への特異的な細胞死の誘導
中部公立3大学 新技術説明会 2015年10月8日(東京)

加藤 晃一【招待講演】
生命分子システムの動的秩序の探査・創生・展開
第13回糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム 2015年10月19日(名古屋)

加藤 晃一【招待講演】
糖鎖の構造生命科学
名古屋大学 IGER セミナー 2015年10月26日(名古屋)

加子 夏未, 加藤 竜也, 近藤 幸子, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 朴 龍洙
IE2プロモーターを用いたヒト由来糖転移酵素の発現によるカイコン型糖鎖の改変
Modification of N-glycan of silkworms by expression of humanglycosyltransferases using IE2 promoter
第67回日本生物工学会大会 2015年10月26-28日(鹿児島)

加藤 恭崇, 矢木 宏和, 加藤 晃一
フコース転移酵素によるキャリアタンパク質特異的な LewisX 糖鎖修飾機構の解析
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2015
2015年11月1日(名古屋); K-11.

與語 理那, 矢木 宏和, 谷中 冴子, 矢木 真穂, 加藤 晃一【ベストプレゼン受賞】
Fc γ III受容体との相互作用における抗体のダイナミックな構造変化
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2015
2015年11月1日(名古屋); K-17.

谷口 雄基, 矢木 宏和, Kiattawee Choowongkamon, 佐藤 匡史, 加藤 晃一
X線結晶構造解析によるマウス IgG2b-Fc と proteinA との相互作用解析
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2015
2015年11月1日(名古屋); K-18.

Koichi Kato 【招待講演】

NMR views of physiological and pathological roles of glycans

The 47th Annual Meeting of Korean Magnetic Resonance Society 2015年11月5日
(Buyeo)

服部 良一, 山口 拓実, Ying Zhang, 亀田 倫史, 加藤 晃一, 藤原 敏道, 児嶋
長次郎

新規ランタニドキレート剤を用いた蛋白質の NMR 構造解析法の開発

A novel lanthanide-chelator developed for protein structure determination using
Paramagnetic NMR

第54回 NMR 討論会 2015年11月6日 (習志野) ; L1-1.

若本 拓朗, 北沢 創一郎, 矢木-内海 真穂, 加藤 晃一, Roumestand

Christian, Baxter Nicola J, Williamson Mike P, 北原 亮

高圧力 NMR 法によるユビキチンの局所変性状態の立体構造解析

Structure and dynamics of the locally unfolded state of ubiquitin studied by
high-pressure NMR spectroscopy

第54回 NMR 討論会 2015年11月6日 (習志野) ; P32.

山口 拓実, Tong Zhu, 佐藤 匡史, 加藤 晃一

分岐鎖糖鎖の配座空間探査における常磁性効果の活用

Application of paramagnetic effects for exploring conformational spaces of
branched oligosaccharides

第54回 NMR 討論会 2015年11月8日 (習志野) ; L3-2.

鵜澤 洵, 加藤 雅樹, 山口 芳樹, 榊 飛雄真

NMR と分子力場計算を併用した糖鎖の立体構造とダイナミクスの研究

Study on 3D structure and dynamics of sialo-glycans using NMR and MD

第54回 NMR 討論会 2015年11月8日 (習志野) ; L3-3.

Hari Prasad Dulal, Masamichi Nagae, Akemi Ikeda, Kana Matsumoto, Yoshiyuki

Adachi, Naohito Ohno, and Yoshiki Yamaguchi

Solubility enhancement of recombinant Dectin-1 and binding analysis with β -
glucans

The 7th Asian Community of Glycoscience and Glycotechnology (ACGG) Conference
2015年11月13日 (松島) ; T18.

Gengwei Yan, Takumi Yamaguchi, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Creation of a neoglycolipid inducing cell type-specific apoptosis

The 7th Asian Community of Glycoscience and Glycotechnology (ACGG) Conference
2015年11月13日 (松島) ; T23.

Tong Zhu, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato 【ポスター賞】

Structural insights into intracellular quality control of glycoproteins
mediated by their glucosylation

The 4th International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems
for Creation of Integrated Functions
2015年11月22日 (福岡) ; P001.

Kentaro Ishii, Masanori Noda, Hirokazu Yagi, Ratsupa Thammaphorn, Supaporn

Seetaha, Tadashi Satoh, Koichi Kato, and Susumu Uchiyama

Disassembly of the self-assembled, double-ring structure of proteasome α 7 homo-

tetradecamer by $\alpha 6$

The 4th International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems
for Creation of Integrated Functions
2015年11月22日(福岡) ; P023.

Koichi Kato, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Maho Yagi-Utsumi
Exploration of micro-macro relationships in dynamic ordering of biomolecular
systems and their underlying design principles

The 4th International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems
for Creation of Integrated Functions
2015年11月23日(福岡) ; P002.

Arunima Sikdar, Tadashi Satoh, Kentaro Kumoi, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi,
and Koichi Kato
Crystallographic snapshots of pentameric structure of PbaA, an archaeal homolog
of proteasome assembly chaperone

The 4th International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems
for Creation of Integrated Functions
2015年11月23日(福岡) ; P010.

Yoshitake Sakae, Takumi Yamaguchi, Tadashi Sato, Saeko Yanaka, Koichi Kato, and
Yuko Okamoto
Replica-exchange molecular dynamics simulation of N-glycans in Fc complexed
with Fc γ R1IIa

The 4th International Symposium on Dynamical Ordering of Biomolecular Systems
for Creation of Integrated Functions
2015年11月23日(福岡) ; P056.

加藤 晃一【招待講演】

神経変性疾患関連するアミロイド形成タンパク質の多様な分子間相互作用

大阪大学蛋白質研究所セミナー 包括脳ネットワーク研究会
第6回神経科学と構造生物学の融合研究会 2015年11月26日(岡崎)

Tong Zhu, 山口 拓実, 佐藤 匡史, 加藤 晃一【奨励賞】

Structural basis of the molecular mechanisms underlying intracellular quality
control of glycoproteins mediated by the ER folding sensor enzyme UGGT

糖鎖科学中部拠点第12回「若手の力」フォーラム
2015年11月28日(名古屋) ; 0-9 (A).

吉村 武, 半田(鳴海) 麻衣, 林 明子, 矢木 宏和, 内村 健治, 門松 健治, 加藤
晃一, Bruce D. Trapp, 馬場 広子, 池中 一裕
硫酸化糖鎖は末梢神経系髄鞘の形成を制御する

糖鎖科学中部拠点第12回「若手の力」フォーラム
2015年11月28日(名古屋) ; 0-8 (A).

Shogo Sawaguchi, Mitsutaka Ogawa, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Jiro Usukura,
Koichi Furukawa, and Tetsuya Okajima

細胞外 O-GlcNAc の修飾に関わる EOGT 変異マウスの表現形解析

糖鎖科学中部拠点第12回「若手の力」フォーラム
2015年11月28日(名古屋) ; 0-3 (B).

Hirokazu Yagi and Koichi Kato【招待講演】

Functional analysis of enzymes involved in the formation of laminin-binding

glycans displayed on α -dystroglycan

α -ジストログライカン上のラミニン結合性糖鎖の形成を担う酵素の機能解析

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会 (BMB2015)
2015 年 12 月 1 日 (神戸) ; 1S2-2.

矢木-内海 真穂, 佐藤 匡史, 山口 拓実, 加藤 晃一【招待講演】

神経変性疾患関連タンパク質と分子シャペロンとの相互作用の構造基盤

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会 (BMB2015)
2015 年 12 月 1 日 (神戸) ; 1W8-6.

蜷川 暁, 岡田 徹也, 住友 嘉樹, 堀本 賢, 杉本 岳大, 石川 時郎, 武田 俊一,
山本 卓, 神谷 由紀子, 加藤 晃一, 森 和俊

糖鎖非依存小胞体関連分解経路によるシビアな構造異常糖タンパク質の強制分解

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会 (BMB2015)
2015 年 12 月 2 日 (神戸) ; 2P0296.

小川 光貴, 澤口 翔伍, Bieniasz-Krzywiec Pawel, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 臼倉
治郎, 古川 鋼一, 岡島 徹也

Extracellular O-GlcNAc modification regulates Notch signaling and blood-retina
barrier maintenance

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会 (BMB2015)
2015 年 12 月 3 日 (神戸) ; 3P0266.

澤口 翔伍, 小川 光貴, 矢木 宏和, 加藤 晃一, 臼倉 治郎, 古川 鋼一, 岡島
徹也

細胞外 O-GlcNAc の修飾に関わる EOGT 変異マウスの表現型解析

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会 (BMB2015)
2015 年 12 月 3 日 (神戸) ; 3P0278.
2015 年 12 月 4 日 (神戸) ; 4T13L-07.

Arunima Sikdar, Tadashi Satoh, Kentaro Kumoi, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi,
and Koichi Kato

Structural insights into working mechanism of PbaA, an archaeal homolog of
proteasome assembly chaperone

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2015
2015 年 12 月 9 日 (岡崎) ; P-4.

Kentaro Ishii, Masanori Noda, Hirokazu Yagi, Ratsupa Thammaphorn, Supaporn
Seetaha, Tadashi Satoh, Koichi Kato, and Susumu Uchiyama

Disassembly of the self-assembled, double-ring structure of proteasome α 7 homo-
tetradecamer by α 6

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2015
2015 年 12 月 9 日 (岡崎) ; P-14.

Yan Gengwei, Takumi Yamaguchi, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Apoptosis induction of neural stem cells by a synthetic Lewis X-carrying
neoglycolipid

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2015
2015 年 12 月 9 日 (岡崎) ; P-24.

Koichi Kato, Maho Yagi-Utsumi, Hirokazu Yagi, Saeko Yanaka, Takumi Yamaguchi,
and Tadashi Satoh【招待講演】

Structural insights into protein-fate determination in cells

Okazaki Institute for Integrative Bioscience Retreat 2015
2015年12月10日(岡崎) ; 0-11.

Maho Yagi-Utsumi, Katsuyuki Nishimura, and Koichi Kato
NMR characterization of conformational transition of amyloid- β peptide
promoted on ganglioside clusters

The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
(PACIFICHEM 2015)

2015年12月15日(Honolulu) ; BIOL 15

Koichi Kato 【招待講演】

NMR characterization of dynamic conformational ensembles and interactions of
carbohydrate chains

The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
(PACIFICHEM 2015)

2015年12月17日(Honolulu)

Takumi Yamaguchi, Tadashi Satoh, Tong Zhu, and Koichi Kato
Conformational dynamics of high-mannose-type oligosaccharides as studied by NMR
spectroscopy combined with molecular dynamics simulation

The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
(PACIFICHEM 2015)

2015年12月17日(Honolulu)

Saeko Yanaka, Takamasa Ueno, Kouhei Tsumoto, and Kenji Sugase
Dynamic stabilisation mechanism of human leukocyte antigen B*35:01

The 2015 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies
(PACIFICHEM 2015)

2015年12月20日(Honolulu)

(特許申請)

申請日：平成27年5月19日

出願番号：特願2015-102175

名称：未分化細胞のアポトーシス誘導剤

発明者：加藤 晃一，矢木 宏和，山口 拓実，ヤン ゲンエイ

出願人：公立大学法人名古屋市立大学，大学共同利用機関法人自然科学研究機構

【分子生物薬学分野】

(原報)

Daiki Katoh, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa.
Fad104, a positive regulator of adipocyte differentiation, suppresses invasion and metastasis of melanoma cells by inhibition of STAT3 activity.
PLoS One., **10**, e0117197 (2015).

(総説・著書・総合論文など)

今川 正良

レーニンジャーの新生化学 [下] 第6版訳 (中山和久編)

Chap. 23: 1325-1390. 哺乳類の代謝のホルモンによる調節と統合、廣川書店
2015年3月20日

(学会発表)

今川 正良【招待講演】

脂肪細胞分化制御因子の有する多彩な生理機能

第12回 RCGM フロンティア国際シンポジウム サテライトミーティング

埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 2015年2月13日 (埼玉県日高市)

今川 正良【受賞講演】

脂肪細胞分化初期の分子機構および新規分化制御因子の有する多彩な生理機能に関する研究

第135年会 日本薬学会 2015年3月26日 (神戸) ; AL05

長田 茂宏【シンポジウム】

肝前がん病変において発現上昇するクロマチン関連因子の解析

第135年会 日本薬学会 2015年3月26日 (神戸) ; S14-6

西塚 誠, 堀之内 渉, 山田 絵里, 長田 茂宏, 今川 正良

成熟脂肪細胞における Ca²⁺活性化カリウムチャネル KCNMA1 の役割

第135年会 日本薬学会 2015年3月26日 (神戸) ; 26V-pm06

落合 なつき, 西塚 誠, 長田 茂宏, 今川 正良

脂肪細胞分化促進因子 fad24 の筋再生における機能解析

第135年会 日本薬学会 2015年3月26日 (神戸) ; 26V-pm20S

金森 涼太, 西塚 誠, 落合 なつき, 長田 茂宏, 今川 正良

新規脂肪細胞分化関連因子 FAD24 が NF- κ B を介するプロモーター活性に与える影響

第 135 年会 日本薬学会 2015 年 3 月 27 日 (神戸) ; 27V-pm07S

今川 正良【依頼講演】

肥満と痩せ、中年男性と若い女性の違い ～間違えやすい脂肪の秘密～

ウェルフェア健康大学 2015 年 5 月 23 日 (名古屋)

今川 正良【特別講演】

脂肪細胞分化初期を制御する新規因子の有する多彩な生理機能

第 61 回 日本薬学会東海支部大会 2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

後藤 元晴, 加藤 大輝, 長田 茂宏, 西塚 誠, 今川 正良

TGF- β による上皮間葉転換に fad104 が与える影響

第 61 回 日本薬学会東海支部大会 2015 年 7 月 4 日 (名古屋) ; F7

Daiki Katoh, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa

Fad104, a positive regulator of adipogenesis, inhibits invasion and metastasis of cancer cells through the suppression of STAT3 activity.

40th FEBS Congress, The Biochemical Basis of Life

2015 年 7 月 7 日 (Berlin, Germany) ; P18-015

Makoto Nishizuka, Wataru Horinouchi, Eri Yamada, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa

The role of KCNMA1 in mature adipocytes

40th FEBS Congress, The Biochemical Basis of Life

2015 年 7 月 8 日 (Berlin, Germany) ; P18-018

Natsuki Ochiai, Makoto Nishizuka, Shigehiro Osada, Masayoshi Imagawa

The role of fad24, a positive regulator for adipogenesis, in early embryonic development and muscle cell activation.

40th FEBS Congress, The Biochemical Basis of Life

2015 年 7 月 8 日 (Berlin, Germany) ; P18-021

長田 茂宏, 芝田 裕一, 加藤 苑果, 今川 正良

オートファジー誘導過程におけるエピジェネティクス関連因子の発現

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会合同大会

2015 年 12 月 2 日 (神戸) ; 2P0666

落合 なつき, 西塚 誠, 長田 茂宏, 今川 正良

脂肪細胞分化促進因子 fad24 は筋芽細胞の増殖再開を正に制御する

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会合同大会

2015 年 12 月 3 日 (神戸) ; 3P0949

加藤 大輝, 西塚 誠, 長田 茂宏, 今川 正良

脂肪細胞分化関連因子 fad104 による STAT3 シグナルの制御機構の解析

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会合同大会

2015年12月3, 4日(神戸) ; 3P1068/ FJ2826

【薬物送達学分野】

(原報)

Tagami T, Yanai H, Terada Y, Ozeki T.

Evaluation of phosphatidylserine-specific peptide-conjugated liposomes using a model system of malaria-infected erythrocytes.

Biol. Pharm. Bull. (2015) **38(10)**:1649-51.

Tagami T, Taki M, Ozeki T.

Nanoparticulate drug delivery systems to overcome the blood-brain barrier.

Nanomaterials in Pharmacology. Springer. Invited review (2016)
Chapter 17: 333-348.

Tagami T, Kubota M, Ozeki T.

Effective Remote Loading of Doxorubicin into DPPC/Poloxamer 188 Hybrid Liposome to Retain Thermosensitive Property and the Assessment of Carrier-Based Acute Cytotoxicity for Pulmonary Administration.

J Pharm Sci. (2015) **104(11)**:3824-32.

Mizusako H, Tagami T, Hattori K, Ozeki T.

Active Drug Targeting of a Folate-Based Cyclodextrin-Doxorubicin Conjugate and the Cytotoxic Effect on Drug-Resistant Mammary Tumor Cells In Vitro.

J Pharm Sci. (2015) **104(9)**:2934-40.

Uehara K, Tagami T, Miyazaki I, Murata N, Takahashi Y, Ohkubo H, Ozeki T.

Effect of X-ray exposure on the pharmaceutical quality of drug tablets using X-ray inspection equipment.

Drug Dev Ind Pharm. (2015) **41(6)**:953-8.

Otsuka M, Maeno Y, Fukami T, Inoue M, Tagami T, Ozeki T.

Developmental considerations for ethanolates with regard to stability and physicochemical characterization of efonidipine hydrochloride ethanolate.

CrystEngComm. (2015) **17**, 7430-7436.

(総説・著書・総合論文など)

田上 辰秋, 尾関 哲也.

「生体適合性ナノスフェア」

シーエムシー出版. DDS キャリア作製プロトコル集 (分筆) p85-88 (2015年8月発刊)

【生薬学分野】

(原報)

Baiyang Zhao, Yutaka Tomoda, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino
9-Oxo-(10E,12E)-octadecadienoic acid, a cytotoxic fatty acid ketodiene isolated from eggplant calyx, induces apoptosis in human ovarian cancer (HRA) cells
J. Nat. Med. **69**(3): 296-302 (2015)

Tsukasa Fueki, Toshiaki Makino, Takanori Matsuoka, Masashi Beppu, Takao Sunaga, Koichiro Tanaka, Koichi Nagamine, Takao Namiki
Quick and easy preparation method for decoctions of Kampo formula inspired by the method of boiling powdered crude drugs in the Song period of China
Kampo Traditional. Med. **2**(2): 67-73 (2015)

Toshiaki Suzuki, Ayano Yamamoto, Masahiro Ohsawa, Yoshiharu Motoo, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino
Ninjin' yoeito and ginseng extract prevent oxaliplatin-induced neurodegeneration in PC12 cells
J. Nat. Med. **69**(4): 531-537 (2015)

Yoshihiro Hirade, Naoyuki Kotoku, Kazuyoshi Terasaka, Yumiko Saijo-Hamano, Akemi Fukumoto, Hajime Mizukami
Identification and functional analysis of 2-hydroxyflavanone C-glucosyltransferase in soybean (*Glycine max*).
FEBS Lett. **589**(15):1778-1786 (2015)

Masaaki Minami, Tohru Konishi, Zhixia Jiang, Tetsuya Arai, Toshiaki Makino
Effect of shin'iseihaito on lung colonization of pneumococcus in murine model
African J. Trad. Comp. Alternat. Med. **12**(6): 131-139 (2015)

Nobukazu Shitan, Kazuyoshi Terasaka, Hirobumi Yamamoto, Fumihiko Sato, Kazufumi Yazaki
Two B-type ATP-binding cassette (ABC) transporters localize to the plasma membrane in *Thalictrum minus*.
Plant Biotech. **32**(3): 243-247 (2015)

Kan' ichiro Ishiuchi, Yasuhiro Kosuge, Hazuki Hamagami, Mayu Ozaki, Kumiko Ishige, Yoshihisa Ito, Susumu Kitanaka
Chemical constituents isolated from *Juncus effusus* induce cytotoxicity in HT22 cells
J. Nat. Med. **69** (3): 421-426 (2015)

Wen-Jun Jiang, Kan' ichiro Ishiuchi, Megumi Furukawa, Tomoko Takamiya, Susumu Kitanaka, Hiroshi Iijima
Stereospecific inhibition of nitric oxide production in macrophage cells by flavanonols: Synthesis and the structure-activity relationship
Bioorg. Med. Chem. Lett. **23**: 6922-6929 (2015)

藤川 和美, 石内 勘一郎, 大久保 智史, 鈴木 三男, 田代 武男, 能城 修一, 橋本 光政, 馬場 由実子, Tin Mya Soe, Tin Tin Mu, Nwe Nwe Win
平成 26 年度海外事情調査報告「ミャンマー連邦共和国」

日本植物園協会誌 50: 110-116 (2015)

松岡 尚則、別府 正志、田中 耕一郎、牧野 利明、並木 隆雄
アイヌにおける附子の調剤と瞑眩

醫譚 118: 7538-7552, (2015)

(総説・著書・総合論文など)

牧野 利明
『今さら聞けない生薬・漢方薬』

医薬経済社 (東京)、2015年、全 195 ページ

牧野 利明
生薬の薬能と薬理
『漢方薬・生薬薬剤師講座テキスト IV 第4版』(共著、日本薬剤師研修センター監修)
in p. 194-205、(財)日本薬剤師研修センター、2015、全 205 ページ

牧野 利明
今さら聞けない生薬・漢方薬の話 2

漢方の臨床 62(1), 76-77 (2015)

牧野 利明
漢方薬を使用するうえでの留意点

成人病と生活習慣病 45(2), 167-172 (2015)

牧野 利明
漢方薬理・最前線～五苓散

phil 漢方 52, 9-11 (2015)

牧野 利明
漢方薬理・最前線～加味逍遙散

phil 漢方 53, 12-15 (2015)

牧野 利明
漢方薬理・最前線～当帰芍薬散①

phil 漢方 55, 9-11 (2015)

牧野 利明
漢方薬理・最前線～当帰芍薬散②

phil 漢方 57, 9-11 (2015)

牧野 利明
漢方薬理・最前線～当帰芍薬散③

phil 漢方 58, 9-11, (2015)

牧野 利明
今さら聞けない生薬・漢方薬 第30回～漢方薬の教育と研究

医薬経済 1月15日号, 46-47 (2015)

牧野 利明
なぜ生薬学者が薬物動態学に興味を持ったのか

薬物動態学会誌 *News Letter*, **30**(2), 17-19 (2015)

笛木 司、田中 耕一郎、並木 隆雄、松岡 尚則、牧野 利明
ハンゲの刺激 (イガイガ) 原因物質

漢方の臨床 **62**(6), 977-982 (2015)

牧野 利明
漢方薬の薬理作用～酸棗仁湯

脳 **21** **18**(4), 49-52 (2015)

水上 元
植物糖転移酵素を用いた機能性化合物の糖鎖構築

薬学雑誌 **135**(7), 867-882 (2015)

牧野 利明
漢方エキス製剤の特徴と問題点

日本小児東洋医学会誌 **28**, 33-37 (2015)

北中 進、寺林 進、高野 昭人、石内 勘一郎 他
『第4版 カラーグラフィック薬用植物』 (共著)

in p. 38、117-151、廣川書店、2015年、全178ページ

(学会発表)

牧野 利明
漢方の科学

日本漢方協会、2015年2月15日 (東京)

牧野 利明
臨床生薬学入門～生薬学の知識を漢方の臨床に活かす～

日本東洋医学会北海道支部函館部会、2015年3月1日 (函館)

Toshiaki Makino
Introduction of "clinical pharmacognosy" - Integration between pharmacognosy
and clinical pharmacy

天津中医薬大学特別セミナー、2015年3月23日 (天津、中国)

牧野 利明
漢方の国際化時代における漢方教育のあり方【シンポジスト講演】

日本薬学会第135年会、2015年3月29日 (神戸) ; S56-3

渥美 さやか、牧野 利明、伊藤 美千穂、能勢 充彦、鄭 美和、三上 正利、柴原
直利、花輪 壽彦、一般用漢方製剤委員会、袴塚 高志、合田 幸広
一般用漢方製剤の安全性確保に関する研究 (4) : 「安全に使うための一般用漢方処方
の鑑別シート」の作成

日本薬学会第135年会、2015年3月28日 (神戸) ; 26PB-pm092

小西徹、牧野利明、南正明
肺炎球菌に対する辛夷清肺湯およびその構成生薬の抗菌活性

日本薬学会第135年会、2015年3月28日 (神戸) ; 28PB-am231

北林 大侑、牧野 利明、高沢 克子、高田 龍平、鈴木 洋史、松尾 洋孝、四ノ宮

成祥

ゴシユコ含有成分 evodiamine の尿酸排出トランスポーターABCG2 への作用

日本薬学会第135年会、2015,年3月28日(神戸) ; 28PB-pm173

石田 智滉、牧野 利明、岸田 友紀、萩原 圭祐

サルコペニアに対する牛車腎気丸の緩和作用とその有効成分の探索

日本薬学会第135年会、2015,年3月28日(神戸) ; 28PB-am232

石内 勘一郎、森田 智子、高橋 依子、Jue Wang、北中 進

小美石斛の成分研究

日本薬学会第135年会、2015,年3月27日(神戸) ; 27PB-pm212

牧野 利明

5年後の漢方治療・鍼灸治療(薬学編)

日本東洋医学会関西支部奈良県部会、2015年4月5日(奈良)

南 正明、小西 徹、牧野 利明

漢方薬・辛夷清肺湯による肺炎球菌のバイオフィーム抑制効果の検討

第89階日本感染症学会学術講演会、2015年4月16日(京都) ; P1-098

Toshiaki Makino

Herbal medicine nomenclature - Importance of terminological works -

ISO/TC 249/WG5 6th plenary meeting, 2015, 6, 2, Beijing, China

牧野 利明

生薬・漢方薬の医薬品情報に関する国際化への対応

第66回日本東洋医学会学術総会、2015年6月13日(富山) ; S2-2

牧野 利明、安井 廣迪

ISOにおける情報の標準化(WG5)について

第66回日本東洋医学会学術総会、2015年6月14日(富山) ; S10-3

牧野 利明

漢方エキス製剤の特徴と問題点

堺市医師会内科医会学術講演会、2015年7月28日(堺)

牧野 利明

臨床生薬学

2015年度医学生のための漢方医学セミナー、2015年8月6日(大津)

篠田 祐布香、關 光、村中 俊哉、水上 元、牧野 利明、寺坂 和祥

スペインカンゾウ由来有機アニオントランスポーターホモログの glycyrrhizinic acid 輸送活性

第33回日本植物細胞分子生物学会大会、2015年8月10-12日(東京)

山田 亜紀、牧野 利明、水上 元、寺坂 和祥

イチゴ含有配糖体の生合成に関わる配糖化酵素の探索

第33回日本植物細胞分子生物学会大会、2015年8月10-12日(東京)

土反 伸和、寺坂 和祥、山本 浩文、佐藤 文彦、矢崎 一史

アキカラマツ ABC タンパク質 TmABC1, TmABC2 の発現解析

第33回日本植物細胞分子生物学会大会、2015年8月10-12日(東京)

南 正明、小西 徹、蔭 志侠、荒井 哲也、牧野 利明

肺炎球菌下気道感染マウスモデルにおける辛夷清肺湯の抗感染症効果

第32回和漢医薬学会大会、2015年8月22-23日（富山）

Secil Sarikaya Aydin, Fan Bai, Toshiaki Makino, Iclal Saracoglu, Sebnem Harput
Bioactivity guided isolation studies on *Hypericum microcalycinum* Boiss. & Heldr.
The 63rd International Congress and Annual Meeting of the Society for Medicinal
Plant and Natural Product Research (GA). 2015, 8, 24, Budapest, Hungary

牧野 利明

生薬の薬能と薬理

日本薬剤師研修センター平成27年度漢方薬・生薬研修会、2015年8月30日（東京）

牧野 利明

今さら聞けない生薬・漢方薬

第25回北海道東洋医学シンポジウム、2015年9月6日（千歳）；3

鈴木 俊章、山本 彩乃、大澤 匡弘、元雄 良治、水上 元、牧野 利明

Oxaliplatinによる末梢神経障害性疼痛に対する人参養栄湯の作用の検討

日本生薬学会第62回年会、2015年9月11日（岐阜）；1B-04

石内 勘一郎、廣瀬 大、高橋 依子、宮川 龍、北中 進

コメツガ落葉より分離した糸状菌 *Penicillium* sp. R0369 由来新規 azaphilone 化合物の
構造

日本生薬学会第62回年会、2015年9月11日（岐阜）；1P-22

石田 智滉、岸田 友紀、萩原 圭祐、安倍 知紀、二川 健、牧野 利明

サルコペニアに対する牛車腎気丸の緩和作用とその有効成分の探索

日本生薬学会第62回年会、2015年9月12日（岐阜）；2P-42

牧野 利明

今さら聞けない生薬・漢方薬

九州漢方研究会、2015年9月13日（福岡）

牧野 利明

薬用植物利用の基礎知識／初秋の薬用植物園を歩く

東洋医学に関する市民公開講演会、2015年9月26日（名古屋）

牧野 利明

知って得する漢方医学と漢方薬の知識

名古屋市立大学公開講座、2015年10月4日（名古屋）

Masaaki Minami, Toshiaki Makino

Antibacterial activity of Yin Qiao San (銀翹散) against *Streptococcus pneumoniae*

2nd International Conference of Traditional and Complementary Medicine on
Health 2015, 10, 24-27, Taipei, Taiwan

Toshiaki Makino

Counteractive constituent of *Paeonia lactiflora* root against the anti-allergic
effect of Xiaoqinglongtang

The 2nd Annual Conference of Specialty Committee of TCM Pharmacognosy of
the World Federation of Chinese Medicine Societies, 2015, 10, 25, Wuhan, China

牧野 利明

生薬・漢方薬の薬能に対する科学的アプローチ

日本東洋医学会第72回関東甲信越支部学術総会、2015年11月22日（千葉）

牧野 利明

風邪に対する漢方薬の選択と使用上の注意について

第5回志摩漢方研究会、2015年11月20日（志摩）

牧野 利明

漢方処方の中での石膏の役割

第44回生薬分析シンポジウム、2015年11月27日（大阪）

【衛生化学分野】

(原報)

Keiichi Taniguchi, Yuuji Miyatake, Daisuke Hayashi, Atsuro Takami, Saotomo Itoh, Saburo Yamamoto, Shigeaki Hida, Kikuo Onozaki, Takemasa Takii
Early-shared Mycobacterium bovis bacillus Calmette-Guérin sub-strains induce Th1 cytokine production in vivo
Microbiology and Immunology, **59(11)**, 684-689, 2015

(総説)

Takemasa Takii T.
SENSORS IN MYCOBACTERIA FOR THE DETECTION OF REDOX STRESS
Kekkaku. **90(7)**:579-91. Japanese. 2015

(学会発表)

池田 大輔
脊髄性筋萎縮症原因タンパク質 SMA と神経特異的 RNA 結合タンパクとの相互作用の解析
第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日(長野)

友廣 拓生
翻訳開始因子 eIF4H による翻訳活性化機構の解析
第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日(長野)

濱野 友香
microRNA による翻訳抑制機構の解析
第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日(長野)

岩井 紀貴
神経輸送因子 KIF3 と神経特異的 RNA 結合タンパク質 HuD との相互作用
第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日(長野)

武知 美和
polyA 結合タンパク質 Paip1 を介した翻訳調節機構の解析
第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日(長野)

深尾 亜喜良
microRNA ゲノム取締役
第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日(長野)

貞廣 暁利

ポリオウイルスの翻訳開始機構の解析

第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日（長野）

川島 直己, 齋藤 彩子

真菌の cap 構造合成を標的とした抗真菌 RNA アプタマーの創製

第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日（長野）

伊藤 佐生智

黄色ブドウ球菌毒素を認識する RNA アプタマーの創製

第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日（長野）

青山 智彦

Paip1 は翻訳抑制因子である

第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日（長野）

大塚 衆志

Paip2 による翻訳抑制と HuD による翻訳活性化との拮抗関係の解析

第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日（長野）

藤原 俊伸

翻訳を生化学する

第9回「長野ミーティング：生物資源の有効利用を目指して」
2015年1月25-27日（長野）

瀧井 猛将

新たな抗結核薬の探索

第90回結核病学会 2015年3月27-28日（長崎）

瀧井 猛将、吉田 志緒美、有川 健太郎、藤山 理世、岩本 朋忠

BCG 副反応事例株における遺伝子変異と宿主細胞に対する作用の解析

第90回結核病学会 2015年3月27-28日（長崎）

高見 篤郎、林 大介、山本 三郎、瀧井 猛将

BCG Tokyo172 type I、type II 間でのマクロファージからのサイトカイン誘導能の検討

第85回実験結核研究会 2015年3月26日（長崎）

栗坂 知里、奥 輝明、伊藤 佐生智、辻 勉

Staphylococcal superantigen-like protein 5 と Matrix metalloproteinase 9 の結合

第16回 Pharmaco-Hematology シンポジウム 2015年6月13日（東京）（口頭）

瀧井 猛将

トリ型結核菌の酸性環境下での生存能の獲得の解析～アルギニンデイミナーゼ経路の関与～

東（東南）アジア地域の生物多様性・環境医科学シンポジウム2015」.
2015年7月13日（名古屋） シンポジウム 口頭発表

富田 陽香、小川 翔大、花村 菜月、宮田 江里香、伊藤 佐生智、肥田 重明、小野寄 菊夫、瀧井 猛将

酸性環境下での *Mycobacterium avium* のアミノ酸代謝とアンモニア産生との関係

第 27 回微生物シンポジウム 2015 年 9 月 4, 5 日 (岡山) (口頭)

徳田 美季、長谷川 倫宏、寺本 真由美、伊藤 佐生智、肥田 重明、小野寄 菊夫、瀧井 猛将

抗結核作用を有するジチオカルバメート糖誘導体 (OCT313) の作用機序の解析

第 27 回微生物シンポジウム 2015 年 9 月 4, 5 日岡山 (口頭)

伊藤 佐生智、村瀬 千鶴子、瀧井 猛将、小野寄 菊夫、肥田 重明

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL10 の血液凝固抑制メカニズムの解析

第 27 回微生物シンポジウム 2015 年 9 月 4, 5 日岡山 (口頭)

富田 陽香、小川 翔大、山本 龍二、花村 菜月、宮田 江里香、堀田 康弘、伊藤 佐生智、肥田 重明、瀧井 猛将

トリ型結核菌 *Mycobacterium avium* における酸耐性機構の解析

日本薬学会東海支部会合同学術集会 2015 年 11 月 1 日名古屋 (口頭)

【遺伝情報学分野】

(原報)

Hashimoto, Y., Inagaki H., Hoshino, S.

Calpain mediates processing of the translation termination factor eRF3 into IAP-binding isoform p-eRF3.

FEBS Letters **589**, 2241-2247. (2015). doi: 10.1016/j.febslet.2015.06.041

(学会発表)

星野 真一

ストレス時の mRNA ポリ A 鎖安定化とストレス顆粒形成のメカニズム

BMB2015 第 38 回日本分子生物学会・第 88 回日本生化学会合同大会 シンポジウム
『RNA 顆粒のバイオロジーとダイナミクス～細胞運命決定機構と疾患研究の最前線』

2015 年 12 月 3 日 (神戸) 【招待講演】

Nogimori, T., Nishiura, K., Kawashima, S., Hosoda, N., Hoshino, S.

Dom34-GTPBP2-RNaseL mediates exogenous mRNA decay

Cold Spring Harbor Laboratory Meeting 'Eukaryotic mRNA processing',
2015 年 8 月 18-22 日 (アメリカ、ニューヨーク)

野木森 拓人、西浦 久達、川島 生、細田 直、星野 真一

外来性 mRNA は品質管理類似の分子機構により除去される

第 17 回日本 RNA 学会年会、2015 年 7 月 16 日 (札幌)

【ベストプレゼンテーション賞優秀賞受賞】

川島 生、野木森 拓人、西浦 久達、堀田 昂志、細田 直、今高 寛晃、星野 真一

mRNA 品質管理因子 Dom34 による抗ウイルス防御

第 17 回日本 RNA 学会年会、2015 年 7 月 15 日 (札幌)

川島 生、野木森 拓人、西浦 久達、堀田 昂志、細田 直、星野 真一

mRNA 分解因子による抗ウイルス防御

第 61 回日本薬学会東海支部大会、2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

【優秀発表賞受賞】

田中 杏里、細田 直、星野 真一

酵母 Ataxin-2 オーソログ Pbp1 は mRNA 分解において機能する

第 61 回日本薬学会東海支部大会、2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

星野 真一

細胞内における人工合成 mRNA の分解機構

第 135 回日本薬学会年会、2015 年 3 月 26 日 (神戸) オーガナイザー兼シンポジス

星野 真一

mRNA ポリ A 鎖調節および品質管理を介した高次生命機能の制御

第 3 回 CCR4-NOT 研究会、2015 年 3 月 14 日 (仙台)

【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Kito H, Yamamura H, Suzuki Y, Yamamura H, Ohya S, Asai K, Imaizumi Y.
Regulation of store-operated Ca^{2+} entry activity by cell cycle dependent up-regulation of Orai2 in brain capillary endothelial cells.
Biochem Biophys Res Commun. **459(3)**: 457-62 (2015).

Inayama M, Suzuki Y, Yamada S, Kurita T, Yamamura H, Ohya S, Giles WR, Imaizumi Y.
Orai1-Orai2 complex is involved in store-operated calcium entry in chondrocyte cell lines.
Cell Calcium. **57(5-6)**: 337-47 (2015).

Kurita T, Yamamura H, Suzuki Y, Giles WR, Imaizumi Y.
The ClC-7 chloride channel is downregulated by hypoosmotic stress in human chondrocytes.
Mol Pharmacol. **88(1)**: 113-20 (2015).

(総説・著書・総合論文)

Yamamura H, Suzuki Y, Imaizumi Y.
New light on ion channel imaging by total internal reflection fluorescence (TIRF) microscopy.
J Pharmacol Sci. **128(1)**: 1-7 (2015).

山村 寿男, 栗田 卓, 鈴木 良明, 今泉 祐治
低浸透圧環境下で発現低下する軟骨細胞 ClC-7 クロライドチャネル
臨床薬理の進歩, 36, 21-31 (2015).

今泉 祐治
第1章 薬の作用 (SB01-3)
スタンダード薬学シリーズII-6 医療薬学 I, 4-19

今泉 祐治
8章 腎・泌尿器系の薬理
みてわかる薬学 図解薬理学, 556-591

(学会発表)

Yoshiaki Suzuki, Munenori Inayama, Satoshi Yamada, Takashi Kurita, Hisao Yamamura, Susumu Ohya, Wayne R. Giles, Yuji Imaizumi
Orai1-Orai2 complex is involved in store-operated calcium entry in chondrocyte cell lines
新学術領域研究「多階層生体機能学」最終報告会、2015年3月4~6日(大阪) ; P-31.

Takanori Saeki, Takashi Murayama, Junya Ohshiro, Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura, Yuji Imaizumi

Calcium clock in smooth muscle tissues and reconstituted model of interstitial cells of cajal
新学術領域研究「多階層生体機能学」最終報告会、2015年3月4~6日（大阪）；P-32.

西村 歌織、山村 寿男、鈴木 良明、今泉 祐治
ラット松果体細胞において TMEM16A と TMEM16B は Ca^{2+} 活性化 Cl^- チャネル分子として機能する
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月18日（名古屋）；01G-1-2.

栗田 卓、鈴木 良明、山村 寿男、Wayne R. Giles、今泉 祐治
ヒト軟骨細胞において、低浸透圧ストレスは ClC-7 のチャネル活性の低下を引き起こす
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月18日（名古屋）；01I-4-3.

安本 美貴、山村 寿男、鈴木 良明、今泉 祐治
ウシ脳血管内皮細胞における Ca^{2+} 活性化 Cl^- チャネル TMEM16A の機能発現
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月18日（名古屋）；P1-67.

山村 寿男、大城 隼也、鈴木 良明、今泉 祐治
マウス門脈の Ca^{2+} 活性化 Cl^- チャネル TMEM16A はアクチン骨格との相互作用で制御される
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月18日（名古屋）；P1-77.

鈴木 良明、伊奈山 宗典、山田 啓史、栗田 卓、大矢 進、山村 寿男、Wayne R. Giles、今泉 祐治
軟骨モデル細胞における、 Orai1 及び Orai2 のストア作動性カルシウム流入への関与
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月18日（名古屋）；P1-115.

山田 茜、大羽 輝弥、徐 結苟、鈴木 良明、津田 洋幸、山村 寿男、今泉 祐治
多層カーボンナノチューブ (MWCNT) の気道クリアランスへの影響
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月19日（名古屋）；02H-2-4.

宮本 達也、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
 K_2P チャネルの新たなヘテロ 2 量体形成の一分子可視化法による解明
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月19日（名古屋）；02H-3-5.

鬼頭 宏彰、山村 寿男、鈴木 良明、大矢 進、浅井 清文、今泉 祐治
脳血管内皮細胞におけるストア作動性 Ca^{2+} 流入と細胞周期制御に対する Orai2 チャネルの寄与の解明
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月19日（名古屋）；02I-3-1.

野田 さゆり、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
気管支平滑筋における $\text{BK}\gamma$ サブユニットによる BK_{Ca} チャネル機能制御機構の解明
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月19日（名古屋）；02I-5-1.

林 恵介、藤井 将人、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
一発の活動電位発生により細胞死を引き起こす改変遺伝子導入培養細胞系を用いたリガンド依存性イオンチャネル ($\text{nAChR}\alpha 7$ と 5-HT3A) 作用薬の新規スクリーニング法の開発
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月19日（名古屋）；P2-108.

鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
ここでしか聞けない！？イオンチャネル 1 分子蛍光イメージングのコツ
第 88 回日本薬理学会年会、2015年3月20日（名古屋）；WS3C-4.

川崎 桂輔、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
平滑筋カルシウムマイクロドメインにおける mitofusin の生理機能の解明
第 88 回日本薬理学会年会、2015 年 3 月 20 日 (名古屋) ; 03I-2-4.

松井 未来、仁熊 宏樹、柴岡 里奈、村岸 沙也加、村瀬 実希、藤井 正徳、奈邊
健、大矢 進、今泉 祐治
炎症性腸疾患モデル腸間膜リンパ節における NDPK-B 阻害による抗炎症効果
第 88 回日本薬理学会年会、2015 年 3 月 20 日 (名古屋) ; P3-112.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
血管平滑筋細胞における Junctophilin-2 と caveolin の相互作用の検討
第 88 回日本薬理学会年会、2015 年 3 月 20 日 (名古屋) ; 03H-5-4.

松木 克仁、加藤 大樹、竹本 将士、堀田 真吾、鈴木 良明、山村 寿男、大矢
進、竹島 浩、今泉 祐治
血管平滑筋における 3 型リアノジン受容体の機能
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 26 日 (神戸) ; GS01-4.

山村 寿男、大城 隼也、鈴木 良明、今泉 祐治
マウス門脈平滑筋細胞に発現する TMEM16A チャネルとアクチン骨格との相互作用
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 26 日 (神戸) ; 26T-pm05.

鈴木 良明、伊奈山 宗典、山田 啓史、栗田 卓、大矢 進、山村 寿男、Wayne R.
Giles、今泉 祐治
軟骨モデル細胞におけるカルシウム遊離活性化カルシウム (CRAC) チャネルの細胞内カル
シウム動態への関与
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 26 日 (神戸) ; 26T-pm06.

鬼頭 宏彰、山村 寿男、鈴木 良明、大矢 進、浅井 清文、今泉 祐治
脳血管内皮細胞の細胞周期進行に対する Orai2 チャネルの寄与の解明
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 26 日 (神戸) ; 26T-pm07.

山田 啓史、Regis Azizieh、梅田 俊太郎、村本 孝博、鈴木 良明、山村 寿男、今
泉 祐治
電位依存性 Kv1.3 チャネルに対するホスファチジルイノシトール 4,5 ニリン酸の特異
的作用の機構解析
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 28 日 (神戸) ; 28PB-pm171.

山村 英斗、山村 寿男、鈴木 良明、浅井 清文、今泉 祐治
脳血管内皮細胞における低酸素誘発性過分極に対する Kir2.1 の寄与
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 28 日 (神戸) ; 28PB-pm172.

佐伯 尚紀、村山 尚、鈴木 良明、山村 寿男、櫻井 隆、今泉 祐治
3 型リアノジン受容体と Ca^{2+} 活性化 Cl^{-} チャネル TMEM16A の共発現 HEK293 細胞における
 Ca^{2+} クロックの電気信号への変換
日本薬学会第 135 年会、2015 年 3 月 28 日 (神戸) ; 28PB-pm183S.

Satoshi Yamada, Munenori Inayama, Yoshiaki Suzuki, Takashi Kurita, Hisao
Yamamura, Susumu Ohya, Wayne R. Giles, Yuji Imaizumi
Orail-Orai2 complex is involved in store-operated calcium entry in chondrocyte
cell line
TRPs and SOCs -Unconventional Ca^{2+} Physiology-, June 4-5, 2015, Okazaki; P10.

川崎 桂輔、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
血管平滑筋における mitofusin の カルシウムマイクロドメイン形成への関与
第 127 回日本薬理学会近畿部会、2015 年 6 月 25 日（岐阜）；A-03.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
血管平滑筋細胞におけるジャンクトフィリン 2 によるシグナルドメイン形成への寄与
第 127 回日本薬理学会近畿部会、2015 年 6 月 25 日（岐阜）；A-09.

鈴木 良明、栗田 卓、山村 寿男、Wayne R. Giles、今泉 祐治
軟骨細胞モデルにおける Cl⁻チャネル (ClC-7) と変形性関節症の関連
第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム 2015
2015 年 7 月 5 日（名古屋）；P-136.

野田 さゆり、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
気管支平滑筋機能に対する新規 Ca²⁺活性化 K⁺チャネル修飾サブユニットの役割
第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム 2015
2015 年 7 月 5 日（名古屋）；P140.

山村 寿男、近藤 るびい、古川 奈美、鈴木 良明、今泉 祐治
門脈圧亢進症モデルマウスの門脈平滑筋細胞における TMEM16A の発現解析
第 57 回日本平滑筋学会総会、2015 年 8 月 26 日（宇部）；02-2.

野田 さゆり、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
気管支平滑筋における Ca²⁺活性化 K⁺チャネル新規修飾サブユニットの生理機能解明
第 57 回日本平滑筋学会総会、2015 年 8 月 26 日（宇部）；YA-9.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治
ジャンクトフィリン 2 の血管平滑筋 Ca²⁺マイクロドメイン形成への関与と大コンダクタ
ンス Ca²⁺活性化 K⁺チャネルに対する分子修飾の解明
生体機能と創薬シンポジウム 2015、2015 年 8 月 27 日（船橋）；P4-2-7.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治
低酸素刺激による脳血管内皮細胞の Ca²⁺動態変化に対する Kir2.1 の寄与
次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2015、2015 年 8 月 29 日（東京）；03-5.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治
血管平滑筋の筋張力制御因子とジャンクトフィリン 2 の分子間相互作用の解明
心血管膜輸送研究会 2015「心臓・血管系の包括的な機能統合研究」
2015 年 10 月 29-30 日（岡崎）；P1.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治
低酸素培養による脳血管内皮細胞の Ca²⁺動態変化に対する Kir2.1 の寄与
心血管膜輸送研究会 2015「心臓・血管系の包括的な機能統合研究」
2015 年 10 月 29-30 日（岡崎）；P2.

野田 さゆり、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治
気管支平滑筋における Ca²⁺活性化 K⁺チャネル新規修飾サブユニット機能の解明
第 128 回日本薬理学会近畿部会、2015 年 11 月 20 日（大阪）；A-16.

山村 英斗、鈴木 良明、山村 寿男、浅井 清文、今泉 祐治
Kir2.1 による低酸素培養下での脳血管内皮細胞の Ca²⁺動態制御

第 128 回日本薬理学会近畿部会、2015 年 11 月 20 日（大阪）；B-07.

川崎 桂輔、藤井 将人、鈴木 良明、山村 寿男、今泉 祐治

イオンチャネル標的創薬のための新規スクリーニング系実用化

第 6 回スクリーニング学研究会、2015 年 11 月 27 日（埼玉）.

佐伯 尚紀、鈴木 良明、山村 寿男、竹島 浩、今泉 祐治

血管平滑筋細胞のカベオラ・Ca²⁺マイクロドメインにおけるジャンクトフィリン 2 機能の
解明

第 25 回日本循環薬理学会、2015 年 12 月 4 日（奈良）；YIA-3.

【病態生化学分野】

(原報)

Kohno, T., Honda, T., Kubo, K., Nakano, Y., Tsuchiya, A., Murakami, T., Banno, H., Nakajima, K., and Hattori, M.

Importance of Reelin C-terminal region in the development and maintenance of the postnatal cerebral cortex and its regulation by specific proteolysis.

J. Neurosci. **35**, 4776-87 (2015)

【薬物動態制御学分野】

(原報)

Mai Furumiya, Takahiro Yamashiro, Katsuhisa Inoue, Chihiro Nishijima, Kinya Ohta, Yayoi Hayashi, Hiroaki Yuasa.
Sustained inhibition of proton-coupled folate transporter by myricetin.
Drug Metab. Pharmacokinet., **30**, 154-159 (2015).

Yoshihisa Mimura, Tomoya Yasujima, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa.
Functional identification of organic cation transporter 1 as an atenolol transporter sensitive to flavonoids.
Biochem. Biophys. Rep., **2**, 166-171 (2015).

Takahiro Yamashiro, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Mai Furumiya, Yayoi Hayashi, Hiroaki Yuasa.
Kinetic and time-dependent features of sustained inhibitory effect of myricetin on folate transport by proton-coupled folate transporter.
Drug Metab. Pharmacokinet., **30**, 341-346 (2015).

Junji Furukawa, Katsuhisa Inoue, Junya Maeda, Tomoya Yasujima, Kinya Ohta, Yoshikatsu Kanai, Tappei Takada, Hirotaka Matsuo, Hiroaki Yuasa.
Functional identification of SLC43A3 as an equilibrative nucleobase transporter involved in purine salvage in mammals.
Sci. Rep., **5**, 15057 (2015).

(総説・著書・総合論文など)

湯浅 博昭
水溶性ビタミン類の腸管吸収に関わるトランスポーター群.
ファルマシア, **51**, 201-205 (2015).

湯浅 博昭
名古屋市立大学薬学部：広がる薬剤学関連分野.
「薬剤学概史：私はこう見る 120 人による俯瞰図」
岡田 弘晃, 渡辺 善照監修, じほう, 東京, pp. 211-213 (2015).

(学会発表)

鈴木 祐稀, 太田 欣哉, 井上 勝央, 湯浅 博昭
蛍光基質を利用した OATP2A1 機能の迅速評価.
日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月 27 日 (神戸) ; 27S-pm10.

山田 知美, 井上 勝央, 太田 欣哉, 湯浅 博昭
HEK293 細胞で働く配糖体トランスポーターの機能特性：配糖体モデル分子としての 4-MU-glu 輸送の解析.
日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月 27 日 (神戸) ; 27S-pm15.

石山 高範, 太田 欣哉, 井上 勝央, 湯浅 博昭

ラット腎リソソームにおける新規 folate 輸送担体の機能解析.

日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月 27 日 (神戸) ; 27S-pm16.

山城 貴弘, 太田 欣哉, 井上 勝央, 林 弥生, 湯浅 博昭
RFVT3 に対する myricetin の効果.

日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月 26 日 (神戸) ; 26PA-pm012S.

水野 加奈子, 田島 健太郎, 太田 欣哉, 湯浅 博昭
Caco-2 細胞における 6-mercaptopurine 輸送の解析.

日本薬学会第 135 年会, 2015 年 3 月 26 日 (神戸) ; 26PA-pm026.

三村 佳久, 保嶋 智也, 太田 欣哉, 井上 勝央, 湯浅 博昭
atenolol の小腸吸収への PMAT (SLC29A4) の関与とリンゴジュース成分の影響.

日本薬剤学会第 30 年会, 2015 年 5 月 21 日 (長崎) ; 21E1-3.

関口 裕太郎, 太田 欣哉, 保嶋 智也, 井上 勝央, 湯浅 博昭
蛍光基質を用いた OATP2B1 迅速機能評価系での二相性輸送の評価.

日本薬剤学会第 30 年会, 2015 年 5 月 21 日 (長崎) ; P21-41.

中村 恭子, 太田 欣哉, 保嶋 智也, 湯浅 博昭
OATP2B1 に対するコーヒーの影響.

第 10 回トランスポーター研究会年会, 2015 年 6 月 21 日 (東京) ; P-21.

山城 貴弘, 保嶋 智也, 太田 欣哉, 井上 勝央, 林 弥生, 湯浅 博昭
PCFT に対するフラボノイド類の阻害効果の解析.

第 61 回日本薬学会東海支部大会, 2015 年 7 月 4 日 (名古屋) ; H1.

山城 貴弘, 保嶋 智也, 太田 欣哉, 井上 勝央, 林 弥生, 湯浅 博昭
PCFT を介した葉酸輸送に対するフラボノイド類の持続性阻害効果.

第 30 回日本薬物動態学会年会, 2015 年 11 月 13 日 (東京) ; 2-I-P-36.

古川 純士, 井上 勝央, 太田 欣哉, 保嶋 智也, 湯浅 博昭
HSV-TK/GCV 自殺遺伝子治療における新規核酸塩基トランスポーターの役割.

第 30 回日本薬物動態学会年会, 2015 年 11 月 13 日 (東京) ; 2-I-P-40.

関口 裕太郎, 太田 欣哉, 保嶋 智也, 井上 勝央, 湯浅 博昭
OATP2B1 による 5-carboxyfluorescein 輸送の評価及び迅速 OATP2B1 機能評価への利用.

第 30 回日本薬物動態学会年会, 2015 年 11 月 13 日 (東京) ; 2-I-P-41.

三村 佳久, 保嶋 智也, 太田 欣哉, 井上 勝央, 湯浅 博昭
atenolol トランスポーターとしての PMAT の機能解析およびリンゴジュース成分の影響.

第 30 回日本薬物動態学会年会, 2015 年 11 月 14 日 (東京) ; 08-4.

【病態解析学分野】

(原報)

Hamano S, Mori Y, Aoyama M, Kataoka H, Tanaka M, Ebi M, Kubota E, Mizoshita T, Tanida S, Johnston RN, Asai K, Joh T.

Oncolytic reovirus combined with trastuzumab enhances antitumor efficacy through TRAIL signaling in human HER2-positive gastric cancer cells.

Cancer Lett. 2015;**356**(2 Pt B):846-54.

Sugiura T, Dohi Y, Yamashita S, Iwaki S, Ito S, Sanagawa A, Ohte N, Fujii S. Circulating Level of MicroRNA-126 may be a Potential Biomarker for Recovery from Smoking-Related Vascular Damage in Middle-Aged Habitual Smokers.

Int. J. Cardiol. : Heart & Vasculature. 2015 **7**:83-87.

Mizutani N, Inoue M, Omori Y, Ito H, Tamiya-Koizumi K, Takagi A, Kojima T, Nakamura M, Iwaki S, Nakatochi M, Suzuki M, Nozawa Y, Murate T.

Increased Acid Ceramidase Expression depends on Upregulation of Androgen-dependent Deubiquitinases, USP2, in a Human Prostate Cancer Cell Line, LNCaP.

J Biochem. 2015;**158**(4):309-19.

(学会発表)

藤井 聡、小笠原 美沙、岩城 壮一郎

低酸素環境が血管内皮細胞由来 miRNA と血管内皮機能に与える影響の解析

第 37 回日本血栓止血学会学術集会 2015 年 5 月 22 日 甲府市

Kawaguchi Y, Waguri-Nagaya Y, Ikuta K, Tatematsu N, Kobayashi M, Goto H, Nozaki M, Aoyama M, Asai K, Otsuka T.

The inhibitory effect of synthetic disease-modifying anti-rheumatic drugs and steroids on gliostatin/platelet-derived endothelial cell growth factor production in human fibroblast-like synoviocytes.

The european league against rheumatism 2015, 2015.6.10, Roma, Italy

Ikuta K, Waguri-Nagaya Y, Tatematsu N, Kawaguchi Y, Terazawa T, Kobayashi M, Aoyama M, Asai K, Otsuka T.

A role of p38 mitogen-activated protein kinase (MAPK) in gliostatin production in rheumatoid fibroblast-like synoviocytes.

The european league against rheumatism 2015, 2015.6.10, Roma, Italy

Satoshi Fujii, Misa Ogasawara, Soichiro Iwaki.

Hypoxia induces dysregulation of mir-126 and affects VEGF and MMP-9 expression in endothelial cells.

2015 Congress of International Society on Thrombosis and Haemostasis.

2015 年 6 月 22 日 Toronto, Canada

Tamura T, Aoyama M, Kakita H, Ukai S, Asai K, Sobue K.

Erythropoietin Attenuated the Microglial Cytotoxicity.

Neuroscience 2015, the Society for Neuroscience Annual Meeting 2015, 2015.10.17,

Chicago, IL, U. S. A.

Aoyama M, Nagaya Y, Asai K.

Neuroprotective erythropoietin (EPO) from astrocyte was suppressed by
inflammatory cytokine tumor necrosis factor α (TNF α)

第 89 回日本薬理学会年会 2016. 横浜

後藤 洋、野村 隆之、青山 峰芳、関谷 健夫、永谷 祐子、宮澤 健、浅井 清文、
後藤 滋巳

低酸素負荷による微小環境の変化は、TNF α 刺激で誘導されるヒト骨髄細胞由来破骨細胞形成を促進する

第 74 回日本矯正歯科学会大会 2015. 福岡

【医薬品代謝解析学分野】

(原報)

Ciharu Miyajima, Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi
Pseudokinase tribbles 1 (TRB1) negatively regulates tumor-suppressor activity of p53 through p53 deacetylation.

Biol. Pharm. Bull., **38(4)**, 618-624 (2015)
DOI: 10.1248/bpb.b15-00003.

Yasumichi Inoue, Kenji Abe, Kikuo Onozaki, Hidetoshi Hayashi
TGF- β decreases the stability of IL-18-induced IFN- γ mRNA through the expression of TGF- β -induced tristetraprolin in KG-1 cells.

Biol. Pharm. Bull., **38(4)**, 536-544 (2015)
DOI: 10.1248/bpb.b14-00673.

Ciharu Miyajima, Yuka Itoh, Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi
Positive regulation of Interleukin-2 expression by a pseudokinase, Tribbles 1, in activated T cells.

Biol. Pharm. Bull., **38(8)**, 1126-1133 (2015)
DOI: 10.1248/bpb.b15-00002.

(学会発表)

宮田 和弥, 森本 真宗, 伊藤 友香, 井上 靖道, 林 秀敏
HepG2細胞におけるCYP3A4タンパク質の発現制御

日本薬学会第135年会. 2015年3月27日(神戸) ; 27U-am12.

今井 和弘, 山田 梨香子, 伊藤 友香, 井上 靖道, 林 秀敏
小胞体ストレス誘導剤およびサイトカインにおけるCYP1A1の発現制御

日本薬学会第135年会. 2015年3月28日(神戸) ; 28PB-pm218.

井上 靖道

細胞がん化におけるTRB1の生理機能とがん分子標的としての可能性

第19回日本がん分子標的治療学会学術集会. 2015年6月12日(愛媛) ; W12-4.

野原 匠, 杉山 和弥, 宮嶋 ちはる, 伊藤 友香, 井上 靖道, 林 秀敏
T細胞におけるTRB3を介したインターロイキン2発現の制御機構

第16回Pharmaco-Hematologyシンポジウム. 2015年6月13日(東京) ; B-2.

川崎 文寛, 川原田 祐貴, 井上 靖道, 伊藤 友香, 林 秀敏
PAI-1遺伝子発現制御におけるSmadとp53とのクロストーク

第61回日本薬学会東海支部大会. 2015年7月4日(名古屋) ; D-14.

佐藤 晃一, 井上 靖道, 伊藤 友香, 林 秀敏
脱ユビキチン化酵素によるEMT関連転写因子Snailタンパクの発現制御

第61回日本薬学会東海支部大会. 2015年7月4日(名古屋) ; D-15.

川崎 文寛, 川原田 祐貴, 井上 靖道, 伊藤 友香, 林 秀敏
PAI-1遺伝子発現制御におけるSmadとp53とのクロストーク

フォーラム2015: 衛生薬学・環境トキシコロジー. 2015年9月18日(神戸) ; 06-3.

佐藤 晃一, 井上 靖道, 伊藤 友香, 林 秀敏
脱ユビキチン化酵素によるEMT関連転写因子Snailタンパクの発現制御
フォーラム 2015 : 衛生薬学・環境トキシコロジー. 2015年9月18日(神戸) ; 06-5.

三田村 佳奈, 井上 靖道, 鈴木 千晶, 伊藤 友香, 林 秀敏
転写共役因子TAZによるp53活性制御機構の解析
フォーラム 2015 : 衛生薬学・環境トキシコロジー. 2015年9月18日(神戸) ; P-065.

Hidetoshi Hayashi, Yasumichi Inoue
Scaffold protein TRB1 negatively regulates tumor-suppressor activity of p53 through p53 deacetylation.
第74回日本癌学会学術総会. 2015年10月10日(名古屋) ; J-1277.

宮嶋 ちはる, 井上 靖道, 伊藤 友香, 北川 雅敏, 林 秀敏
p53活性に対するpseudokinase TRB1の負の制御
BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会、第88回日本生化学会大会 合同大会) .
2015年12月1日(神戸) ; 1P-0201.

鈴木 千晶, 宮嶋 ちはる, 井上 靖道, 岩中 広美, 伊藤 友香, 林 秀敏
細胞がん化におけるTRB1の生理機能とがん分子標的としての可能性
BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会、第88回日本生化学会大会 合同大会) .
2015年12月2日(神戸) ; 2T21-13 (2P-0190) .

田中 孝仁, 西尾 愛梨紗, 井上 靖道, 隅田 ちひろ, 伊藤 友香, 林 秀敏
Lox12によるTGF- β 誘導性上皮間葉転換の制御機構の解析
BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会、第88回日本生化学会大会 合同大会) .
2015年12月2日(神戸) ; 2P-0191.

澤中 美希, 水川 絵理子, 伊藤 友香, 井上 靖道, 林 秀敏
TGF- β によるTRB1の発現制御とTGF- β シグナルにおけるTRB1の機能
BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会、第88回日本生化学会大会 合同大会) .
2015年12月2日(神戸) ; 2P-0192.

【神経薬理学分野】

(原報)

- Tomita J, Ueno T, Mitsuyoshi M, Kume S, Kume K
The NMDA Receptor Promotes Sleep in the Fruit Fly, *Drosophila melanogaster*.
PLoS ONE **10**: e0128101 (2015)
- Toyoda H, Miyagawa T, Koike A, Kanbayashi T, Imanishi A, Sagawa Y, .. Kume K,
et al.
A polymorphism in CCR1/CCR3 is associated with narcolepsy.
Brain Behav Immun **49**, 148-55 (2015)
- Miyagawa T, Toyoda H, Kanbayashi T, Imanishi A, Sagawa Y, Kotorii N, .. Kume K,
et al.
An association analysis of HLA-DQB1 with narcolepsy without cataplexy and
idiopathic hypersomnia with/without long sleep time in a Japanese population
Hum Genome Var **2**, 15031 (2015)
- Miyagawa T, Toyoda H, Hirataka A, Kanbayashi T, Imanishi A, Sagawa Y, .. Kume K,
et al.
New susceptibility variants to narcolepsy identified in HLA class II region.
Hum Mol Genet **24**, 891-8 (2015)
- Hashizaki M, Nakajima H, Kume K
Monitoring of Weekly Sleep Pattern Variations at Home with a Contactless
Biomotion Sensor
Sensors (Basel). **15**, 18950-64 (2015)
- Sano H, Nakamura A, Texada MJ, Truman JW, Ishimoto H, Kamikouchi A, .. Kume K,
et al.
The Nutrient-Responsive Hormone CChamide-2 Controls Growth by Regulating
Insulin-like Peptides in the Brain of *Drosophila melanogaster*
PLoS Genet **11**, e1005209 (2015)
- Nakashima R, Morooka M, Shiraki N, Sakano D, Ogaki S, Kume K, et al.
Neural cells play an inhibitory role in pancreatic differentiation of
pluripotent stem cells.
Genes Cells **20**, 1028-45 (2015)
- Fukushima A, Chazono K, Hashimoto Y, Iwajima Y, Yamamoto S, Maeda Y, Ohsawa M,
Ono H
Oseltamivir produces hypothermic and neuromuscular effects by inhibition of
nicotinic acetylcholine receptor functions: comparison to procaine and
bupropion.
Eur J Pharmacol **762**: 275-82 (2015)
- Suzuki T, Yamamoto A, Ohsawa M, Motoo Y, Mizukami H, Makino T
Ninjin' yoeito and ginseng extract prevent oxaliplatin-induced
neurodegeneration in PC12 cells.
J Nat Med **69**: 531-7 (2015)

Takano S, Tomita J, Sonoike K, Iwasaki H
The initiation of nocturnal dormancy in *Synechococcus* as an active process.
BMC Biol 13: 36 (2015)

(総説・著書・総合論文など)

上野 太郎, 条 和彦
ショウジョウバエを用いた睡眠の基礎研究
日薬理誌 145, 134~139 (2015)

橋崎 将典, 条 和彦
特集:高齢者の睡眠障害「問診・睡眠日誌・アクチグラフィ」
日本臨牀 73 : 965-70 (2015)

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載初回
月刊・健康教室 2015年4月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載2回
月刊・健康教室 2015年5月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載3回
月刊・健康教室 2015年6月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載4回
月刊・健康教室 2015年7月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載5回
月刊・健康教室 2015年8月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載6回
月刊・健康教室 2015年9月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載7回
月刊・健康教室 2015年10月号

条 和彦

睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載 8 回

月刊・健康教室 2015 年 11 月号

条 和彦
睡眠障害相談室から ~現代の子どもたちの「眠りの悩み」~
連載 9 回

月刊・健康教室 2015 年 12 月号

(学会発表)

Kazuhiko Kume
Signaling molecules involved in sleep regulation in *Drosophila melanogaster*
Asian Forum on Chronobiology in 2015 2015.09.18 (札幌)

Tatsuya Hasegawa
Dietary control of sleep and arousal threshold in *Drosophila melanogaster*
CSHL Meeting Neurobiology of *Drosophila* 2015.09.30 (U.S.A.)

Shin Nakane
Regulation of sleep by dietary amino acids in *Drosophila*
CSHL Meeting Neurobiology of *Drosophila* 2015.10.01 (U.S.A.)

Jun Tomita
Neuronal amino acid transporter regulates sleep in *Drosophila*
CSHL Meeting Neurobiology of *Drosophila* 2015.10.01 (U.S.A.)

Ohsawa M, Murakami T, Maruoka J, Makino T, Mori N, Higashiguchi T, Kume
Kazuhiko
Effect of Chrysanthemum Flower on the animal model of cancer cachexia
The 16th Congress of Parenteral and Enteral Nutrition Society of Asia (PENSA)
2015.07.26 (Nagoya)

Toshiaki Suzuki, Masahiro Ohsawa et al.
Protective effect of ninjin'yoeito on oxaliplatin-induced in vitro
neurodegeneration and its active ingredients
第 17 回国際東洋医学会 2015.11.01 (台湾)

条 和彦
生活習慣病と睡眠障害
三河実地臨床セミナー2015.2.14 (愛知)

条 和彦
睡眠医学の基礎研究 ~今後の展開~
第 7 回 霧島睡眠カンファレンス 2015.10.10 (鹿児島)

条 和彦
睡眠制御機構研究と 睡眠障害治療薬開発の現状
日本神経精神薬理学会シンポジウム 2015.9.27 (千葉)

条 和彦
オレキシン発見秘話

第7回 桜山睡眠研究会 教育講演 2015.10.15 (名古屋)

富田 淳

神経系アミノ酸トランスポーターによるショウジョウバエの睡眠-覚醒制御

日本睡眠学会第40回 定期学術集会 2015.07.02-03 (栃木)

富田 淳

ショウジョウバエを用いた睡眠研究

日本睡眠学会第40回 定期学術集会 2015.07.02-03 (栃木)

富田 淳、中根 伸、長谷川 達也、糸 和彦

Neuronal amino acid transporter regulates sleep in *Drosophila*

第38回 日本神経科学大会 2015.07.28-31 (神戸)

宮本 啓輔

神経障害性疼痛における脊髄グリア-ニューロンシャトルの関与

第24回神経行動薬理若手研究者の集い 2015.3.17 (名古屋)

宮本 啓輔

The involvement of spinal astrocyte neuron shuttle in neuropathic pain onset

第88回日本薬理学会年会 2015.3.18 (名古屋)

宮本 啓輔、糸 和彦、大澤 匡弘

The involvement of spinal L-lactate on the neuropathic pain in mice.

第38回 日本神経科学大会 2015.07.28-31 (神戸)

宮本 啓輔、石倉 啓一郎、飯尾 彩花、糸 和彦、大澤 匡弘

乳酸による痛覚過敏に関与する細胞内情報伝達系の解析

生体機能と創薬シンポジウム 2015.08.27-28 (千葉)

北尾 優花、糸 和彦、大澤 匡弘

社会的敗北ストレスモデルマウスにおける痛み閾値の低下

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2015.08.29 (東京)

丸岡 純也、加藤 慎也、糸 和彦、大澤 匡弘

糖尿病マウスの認知機能障害におけるL-乳酸の関与

第44回日本神経精神薬理学会、第37回日本生物学精神医学会合同年会
2015.09.24-26 (東京)

飯尾 彩加、糸 和彦、大澤 匡弘

神経障害性疼痛に対するメサドンの効果

第128回日本薬理学会近畿部会 2015.11.20 (大阪)

北尾 優花、糸 和彦、大澤 匡弘

社会的敗北ストレスによる痛覚閾値低下へのduloxetineの効果

第128回日本薬理学会近畿部会 2015.11.20 (大阪)

石倉 啓一郎、糸 和彦、大澤 匡弘

神経障害性疼痛におけるリン酸化PKC γ の関与

第128回日本薬理学会近畿部会 2015.11.20 (大阪)

宮本 啓補、石倉 啓一郎、飯尾 彩花、桑和彦、大澤 匡弘
脊髄ニューロン-グリア乳酸シャトルの疼痛制御における役割
第128回日本薬理学会近畿部会 2015.11.20 (大阪)

Murayama M, Odagawa M, Kume K, Yamanaka A, Ohsawa M, Homma C
Optical Inhibition of Cortico-cortical Projection Alleviates Neuropathic Pain
日本運動器疼痛学会 2015.12.12-13 (名古屋)

鈴木 俊章、山本 彩乃、大澤 匡弘、元雄 良治、水上 元、牧野 利明
Oxaliplatin による末梢神経障害性疼痛に対する人参養栄湯の作用の検討
日本生薬学会第62回年会 2015.9.11-12 (岐阜)

大澤 匡弘
知っていたら怖くない！～医療用麻薬の効き目～
第3回痛みについての勉強会 2015.1.24 (名古屋)

大澤 匡弘
がん悪液質を改善する生薬と機能性成分の同定
鹿児島黒膳 機能性食と健康シンポジウム 2015.1.29 (鹿児島)

大澤 匡弘
HMG-CoA reductase inhibitors as a new candidate for the treatment of
neuropathic pain.
第88回日本薬理学会年会 2015.3.18 (名古屋)

大澤 匡弘
がん悪液質におけるインスリン抵抗性の関与
日本薬学会 第135年会 2015.3.25 (神戸)

大澤 匡弘
オピオイド鎮痛薬を薬理的に使う！～エビデンスに基づいて薬の選択をする～
第102回飛騨・高山ブロック学術講演会 2015.6.20 (岐阜)

大澤 匡弘
「PIPC」+「ポリファーマシー」研修会
日本プライマリ・ケア連合学会 2015.7.12 (名古屋)

大澤 匡弘
Insulin resistance and cancer cachexia: evidence from basic research
The 16th Congress of Parenteral and Enteral Nutrition Society of Asia (PENSA)
2015.7.26 (名古屋)

大澤 匡弘
慢性疼痛発症に関する研究
名古屋市立大学医学部麻酔科同門会 2015.8.23 (名古屋)

大澤 匡弘
緩和薬物療法の知識
緩和ケアを考える会 in 飛騨高山 2015.8.26 (岐阜)

大澤 匡弘
慢性疼痛発現における脳内痛覚伝達系の亢進の関与

第9回日本緩和医療薬学会年会 2015. 10. 3 (横浜)

大澤 匡弘

悪液質とサルコペニアの進展予防と QOL の改善

第9回日本緩和医療薬学会年会 2015. 10. 3 (横浜)

大澤 匡弘

緩和ケアにおける薬物の最新知識

第48回埼玉がん緩和ケア研究会 2015. 11. 13 (埼玉)

大澤 匡弘

緩和ケアに使う薬のい・ろ・は

第4回痛みに関する勉強会 2015. 12. 17 (名古屋)

【医薬品安全評価学分野】

(原報)

Hanatani T, Sai K, Tohkin M, Segawa K, Saito Y.
Impact of Japanese regulatory action on metformin-associated lactic acidosis in type II diabetes patients.

Int J Clin Pharm. 2015 Jun;**37(3)**:537-45.
doi: 10.1007/s11096-015-0097-0. Epub 2015 Mar 31. PubMed PMID: 25822043.

Hagiwara H, Nakano S, Ogawa Y, Tohkin M.
The effectiveness of risk communication regarding drug safety information: a nationwide survey by the Japanese public health insurance claims data.

J Clin Pharm Ther. 2015 Jun;**40(3)**:273-8.
doi: 10.1111/jcpt.12256

Kagawa T, Hirose S, Arase Y, Oka A, Anzai K, Tsuruya K, Shiraishi K, Orii R, Ieda S, Nakazawa T, Tomita K, Hokari R, Miura S, Ebinuma H, Saito H, Kitamura T, Horie Y, Okuse C, Wasada M, Inoko H, Tohkin M, Saito Y, Maekawa K, Takikawa H, Mine T.
No contribution of the ABCB11 p.444A polymorphism in Japanese patients with drug-induced cholestasis.

Drug Metab Dispos. 2015 May;**43(5)**:691-7.
doi: 10.1124/dmd.114.061325

頭金 正博, 斎藤 嘉朗
バイオマーカーの適格性評価を支えるレギュラトリーサイエンス(オーバービュー)
薬学雑誌 **135 (5)** 649-653, 2015

斎藤 嘉朗, 頭金 正博
医薬品開発・適正使用におけるバイオマーカー利用とレギュラトリーサイエンス
薬学雑誌 **135(5)**, 647-648, 2015

吉田 緑, 梅村 隆志, 小島 弘幸, 井上 薫, 高橋 美和, 浦丸 直人, 北村 繁幸, 安部 賀央里, 頭金 正博, 小澤 正吾, 吉成 浩一
化学物質のリスク評価における肝肥大の取扱いの基本的考え方
食品衛生学雑誌 **56(2)**, 42-48, 2015

熊谷 健, 頭金 正博, 永田 清
培養細胞を用いた健康食品と医薬品との薬物相互作用の網羅的調査
東京都病院薬剤師会雑誌 **64 巻 1 号** Page15-22, 2015

(学会発表)

柴北 健佑、長部 誠、岡田 佑輔、山田 梨紗子、川合 眞一、頭金 正博
ABCB1 遺伝子多型による P-糖タンパク質のシンバスタチン排出機能の低下
第 88 回日本薬理学会 2015/3/18 名古屋

頭金 正博 (招待講演)
医薬品のグローバル開発におけるレギュラトリーサイエンスの役割

第 88 回日本薬理学会 2015/3/18 名古屋

田村 空彌、安部 賀央里、柴田 郁弥、石原 佳奈、頭金 正博
機械学習による毒性試験データを用いた 化学物質誘発性肝肥大の予測

第 135 回日本薬学会年会 2015/3/26 神戸

田村 空彌、安部 賀央里、石原 佳奈、柴田 郁弥、頭金 正博
機械学習による毒性試験データを用いた化学物質誘発性肝肥大の予測

平成 27 年度日本薬学会東海支部総会・大会, 2015/7/4, 名古屋

山下 彩花、山田 健人、脇田 真実子、小川 喜寛、渡邊 崇、木村 通男、堀 雄史、川上 純一、頭金 正博 (優秀演題賞)

医療情報データベースを活用した副作用としての急性腎不全の検出に関する研究

第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム 医療薬学フォーラム 2015, 7 月 4, 5 日, 名古屋

頭金 正博 (招待講演)

電子化された医療情報を用いる副作用の検出

第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム 医療薬学フォーラム 2015, 7 月 4, 5 日, 名古屋

横田 俊、長部 誠、頭金 正博、石塚 賢治、石田 高司、伊藤 旭、李 政樹、飯田 真介、上田 龍三

次世代シーケンサーを用いた HLA タイピング法と従来法 (HLA-SSP 法) との比較・検討

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

井口 祐美子、小川 喜寛、頭金 正博

医薬品副作用データベース (JADER) を用いたモガムリズマブ投与による皮膚障害発症のリスク因子の検討

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

石原 佳奈、安部 賀央里、田村 空彌、柴田 郁弥、頭金 正博

機械学習法を用いた化学物質誘発性肝肥大の予測手法の開発

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

山下 彩花、山田 健人、脇田 真実子、小川 喜寛、渡邊 崇、木村 通男、堀 雄史、川上 純一、頭金 正博

医療情報データベースを活用した副作用としての急性腎障害の検出に関する研究

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

西川 良平、小川 喜寛、河合 加奈、頭金 正博

有害事象自発報告データベースを用いた経口抗凝固薬の出血性副作用発症リスクの地域差の検討

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

田村 花梨、長部 誠、井口 祐美子、岡本 秀人、頭金 正博

HLA-B*57:01 と Abacavir 特異的な in vitro 細胞傷害活性評価系の構築

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

河合 加奈、小川 喜寛、頭金 正博

有害事象自発報告データベースを用いた副作用発症リスクの地域差に関する研究

第 1 回レギュラトリーサイエンス次世代フォーラム, 2015/9/12, 船橋

田村 空彌、安部 賀央里、石原 佳奈、柴田 郁弥、頭金 正博

Deep Learning を用いた化学物質誘発性肝肥大の予測

第 38 回ケモインフォマティクス討論会, 2015 年 10 月 8, 9 日, 東京

安部 賀央里、田村 空彌、頭金 正博

Prediction for chemical-induced hepatomegaly from chemical structure by machine learning methods

CBI 学会 2015 年大会, 2015 年 10 月 27 日～29 日, 東京

柴北 健佑、長部 誠、岡田 佑輔、川合 眞一、頭金 正博

Influence of ABCB1 genotype on the simvastatin acid efflux function by P-glycoprotein.

第 30 回日本薬物動態学会年会, 2015 年 11 月 12 日～14 日, 東京

河合 加奈、小川 喜寛、頭金 正博

有害事象自発報告データベースを用いた抗結核薬多剤併用療法における肝障害発症リスクの検討

第 25 回 日本医療薬学会年会, 2015 年 11 月 21 日～23 日, 横浜

井口 祐美子、長部 誠、田村 花梨、岡本 秀人、頭金 正博

ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV-6) 由来のペプチドプールを用いた HLA-B*58:01 結合ペプチドの探索

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会
2015 年 12 月 1 日～4 日, 神戸

横田 俊、長部 誠、頭金 正博、石塚 賢治、石田 高司、伊藤 旭、李 政樹、飯田 真介、
上田 龍三

HLA-DRB1 遺伝子解析手法における既報の方法との比較・検討

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会
2015 年 12 月 1 日～4 日, 神戸

岡本 秀人、長部 誠、頭金 正博

HLA クラス II が関与するリンパ球活性化 in vitro 評価系の構築

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会
2015 年 12 月 1 日～4 日, 神戸

長部 誠、岡本 秀人、頭金 正博

Lapatinib による HLA クラス II を介するリンパ球活性化作用

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会
2015 年 12 月 1 日～4 日, 神戸

田近 聡幸、長部 誠、頭金 正博

アロプリノールによるリンパ球遊走因子に与える影響

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会
2015 年 12 月 1 日～4 日, 神戸

桶本 和男、頭金 正博、斎藤 嘉朗

Cross-classification of human urinary lipidome by gender, age, and body mass index

第 38 回日本分子生物学会年会、第 88 回日本生化学会大会 合同大会, 2015 年 12 月 1 日
～4 日, 神戸

西川 良平、小川 喜寛、河合 加奈、頭金 正博 (優秀演題賞)

有害事象報告データベース (FAERS) を用いたアジア地域と非アジア地域における経口抗凝固薬の出血性副作用の比較

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会, 2015 年 12 月 9 日～11 日, 東京

鈴木 章裕、頭金 正博

医薬品副作用データベース(JADER)を用いたポリコナゾールによる肝障害リスクの評価

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会, 2015 年 12 月 9 日～11 日, 東京

萩原 宏美、西川 良平、福澤 和輝、頭金 正博

ナショナルレセプトデータを用いた腎障害患者における心疾患併発時の降圧薬の使用実態調査について

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会, 2015 年 12 月 9 日～11 日, 東京

伊藤 友香、安部 賀央里、小林 牧由、頭金 正博

ジペプチジルペプチダーゼ 4(DPP-4)阻害薬の薬剤応答性に関する民族差研究 ～薬力学一有効性関係のシステムティックレビュー～

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会, 2015 年 12 月 9 日～11 日, 東京

前川 京子、頭金 正博、斎藤 嘉朗

日本人における薬物性肝障害の遺伝的素因探索の進捗

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会, 2015 年 12 月 9 日～11 日, 東京

福澤 和輝、河合 加奈、西川 良平、牧野 隼及、頭金 正博

医薬品副作用データベースを利用した糖尿病治療薬 SGLT2 阻害薬のリスク評価

第 36 回日本臨床薬理学会学術総会, 2015 年 12 月 9 日～11 日, 東京

真川 明将、頭金 正博、木村 和哲

がん化学療法に関連した B 型肝炎の解析 :FDA 有害事象自発報告データベースの新規解析法の検討

第 9 回次世代を担う若手医療科学シンポジウム, 2015 年 11 月 7, 8 日, 千葉

成田 真由美、頭金 正博、飯田 真介

Expression of serum microRNAs can predict sensitivity to bortezomib treatment of multiple myeloma

2015 年 10 月 16 日～18 日, 金沢

(総説・著書・総合論文など)

頭金 正博

薬学部におけるレギュラトリーサイエンス研究と人材育成

ファルマシア 51 巻 7 号 Page663-665, 2015

【病院薬学分野】

(原報)

Gotoh K, Nakajima Y, Tajima G, Hotta Y, Kataoka T, Kawade Y, Sugiyama N, Ito T, Kimura K, Maeda Y.

Assay for methylmalonyl coenzyme A mutase activity based on determination of succinyl coenzyme A by ultrahigh-performance liquid chromatography tandem mass spectrometry.

Anal Bioanal Chem. **407(18)**:5281-6. (2015).

Sanagawa A, Kuroda J, Shiota A, Kito N, Takemoto M, Kawade Y, Esaki T, Kimura K
Outcomes of the implementation of the computer-assisted HBView system for the prevention of hepatitis B virus reactivation in chemotherapy patients: a retrospective analysis.

J Pharm Health Care Sci. **1**:29:00 (2015)

Muraki K, Hatano N, Suzuki H, Muraki Y, Iwajima Y, Maeda Y, Ono H.
Oseltamivir blocks human neuronal nicotinic acetylcholine receptor-mediated currents.

Basic Clin Pharmacol Toxicol. **116 (2)**, 87-95. (2015)

Masaki A, Ishida T, Maeda Y, Suzuki S, Ito A, Takino H, Ogura H, Totani H, Yoshida T, Kinoshita H, Narita T, Ri M, Kusumoto S, Inagaki A, Komatsu H, Niimi A, Ueda R, Utsunomiya A, Inagaki H, Iida S
Prognostic significance of tryptophan catabolism in adult T-cell leukemia/lymphoma

Clin. Cancer Res. **21 (12)**, 2830-2839. (2015)

Fukushima K, Chazono K, Hashimoto Y, Iwajima Y, Yamamoto S, Maeda Y, Ohsawa M, Ono H

Oseltamivir produces hypothermic and neuromuscular effects by inhibition of nicotinic acetylcholine receptor functions: Comparison to procaine and bupropion

Eur. J. Pharm. **762**, 275-282. (2015)

正木 彩子, 石田高 司, 前田 康博, 鈴木 進, 伊藤 旭, 滝野 寿, 戸谷 治仁, 吉田 嵩, 木下 史緒理, 小椋 啓加, 成田 朋子, 李 政樹, 楠本 茂, 稲垣 淳, 小松 弘和, 新実 彰男, 上田 龍三, 宇都宮 與, 稲垣 宏, 飯田 真介
成人T細胞白血病/リンパ腫におけるトリプトファン代謝の予後に関する意義

臨床血液. **56 (11)**, 2295-2304. (2015)

(総説・著書・総合論文など)

川出 義浩, 若山 尚士, 大槻 貴子, 田子森 和子, 寺田 愛子
がん診療連携拠点病院などの院内がん患者サロン 名古屋第二赤十字病院「患者サロン」
がんサバイバーを支える緩和ケア・サロン(青海社). 101-106. (2015)

川出 義浩
地域包括ケアシステムにおける在宅栄養管理と薬剤師の役割について

日本静脈経腸栄養学会雑誌. 30(3), 771-774. (2015)

前田 康博, 中島 葉子, 伊藤 哲哉

UPLC-MS/MSによるピリミジン代謝異常症スクリーニング法について

JSBMS Letters. 40 (1), 4-10. (2015)

(学会発表)

Ieda N, Hotta Y, Kimura K, Miyata Y, Nakagawa H

Development of blue-light-controllable nitric oxide releaser and its biological application

22nd Annual Meeting of the Society for Free Radical Biology and Medicine (SFRBM 2015). (Boston, USA) 2015. 11.

片岡 智哉, 堀田 祐志, 前田 康博, 木村 和哲

去勢ラットを用いた膀胱平滑筋収縮力の検討

第8回排尿障害モデル動物研究会(静岡) 2015年12月

真川 明将, 堀田 祐志, 片岡 智哉, 川出 義浩, 西川 良平, 頭金 正博, 木村 和哲

がん化学療法に関連したB型肝炎の解析: FDA有害事象自発報告データベースの新規解析法の検討

第9回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム(千葉) 2015年11月

近藤 祐樹, 松山 奈央, 鬼頭 典子, 黒田 純子, 木村 和哲.

乳癌化学療法の悪心に対するアプレピタント延長投与の効果

第25回日本医療薬学会年会(横浜) 2015年11月

近藤 勝弘, 山本 優子, 田代 雄祐, 杉山 洋介, 内木 拓, 小松 弘和, 木村 和哲

実測AUC値モニタリングによってCarboplatin投与量が決定された維持透析中の尿路上皮がんの1例

第25回日本医療薬学会年会(横浜) 2015年11月

黒田 純子, 木全 司, 楠本 茂, 小松 弘和, 河田 健司, 室 圭, 木村 和哲
愛知県がん診療連携拠点病院におけるPDCAサイクルを用いたがん診療体制の整備~HBV再活性化対策への取り組み~

第25回日本医療薬学会年会(横浜) 2015年11月

前田 康博, 後藤 佳奈, 中島 葉子, 前田 陽子, 堀田 祐志, 片岡 智哉, 木村 和哲, 伊藤 哲哉

UPLC/MS/MSによるプロピオニル-CoAカルボキシラーゼ活性測定法とプロピオン酸血症患者における活性測定

第57回日本先天代謝異常学会(大阪) 2015年11月

但馬 剛, 香川 礼子, 前田 康博, 深尾 敏幸

新生児マススクリーニングで発見されるプロピオン酸血症患者の臨床像と遺伝子型の相関: 全国アンケート調査

第57回日本先天代謝異常学会(大阪) 2015年11月

後藤 佳奈, 前田 康博, 堀田 祐志, 片岡 智哉, 中島 葉子, 伊藤 哲哉, 木村

和哲【ベストプレゼン賞】

UPLC-MS/MSによる有機酸代謝異常症患者の代謝酵素活性測定

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015 (名古屋)
2015年11月

川出 義浩, 江崎 哲夫, 岩尾 岳洋, 鈴木 匡, 木村 和哲

病院実務実習での介護施設実習の取り組み～地域包括ケアシステムを意識した教育プログラムを目指して～

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015 (名古屋)
2015年11月

羽藤 実真, 片岡 智哉, 竹本 将士, 黒田 純子, 木村 和哲

抗がん剤自動調製装置「サイトケア」導入後3年間の使用実績

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015 (名古屋)
2015年11月

正木 彩子, 石田 高司, 前田 康博, 鈴木 進, 伊藤 旭, 小椋 啓加, 成田 朋子,
戸谷 治仁, 木下 史緒理, 吉田 嵩, 李 政樹, 楠本 茂, 小松 弘和, 上田 龍三,
稲垣 宏, 飯田 真介

Indoleamine 2,3-dioxygenase 1 as a novel molecular target in adult T-cell
leukemia/lymphoma

第77回日本血液学会学術集会 (金沢) 2015年10月

川出 義浩【シンポジウム】

病院における無菌調剤の実際と問題点 ～在宅中心静脈栄養法の導入の視点から～

第9回日本緩和医療薬学会 (横浜) 2015年10月

川出 義浩, 黒田 純子, 木村 和哲【シンポジウム】

働く世代のがん治療と日常生活の両立を支援するための薬剤師の取り組み

第9回日本緩和医療薬学会 (横浜) 2015年10月

片岡 智哉, 堀田 祐志, 前田 康博, 木村 和哲

リスペリドンによる薬剤性ED発症メカニズムの解明

日本性機能学会 第26回学術総会 (福岡) 2015年9月

片岡 智哉, 堀田 祐志, 前田 康博, 木村 和哲

去勢ラットを用いた新規低活動膀胱モデルの検討

第22回排尿機能学会 (札幌) 2015年9月

前田 康博, 皆川 真里, 中島 葉子, 後藤 佳奈, 堀田 祐志, 片岡 智哉, 川出
義浩, 伊藤 哲哉, 木村 和哲

UPLC-MS/MSによるピリミジン塩基代謝物の定量によるピリミジン代謝異常症スクリー
ニング

第40回日本医用マススペクトル学会年会 (浜松) 2015年9月

後藤 佳奈, 前田 康博, 中島 葉子, 伊藤 哲哉, 前田 陽子, 堀田 祐志, 片岡
智哉, 川出 義浩, 杉山 成司, 木村 和哲

UPLC/MS/MSによる日本人プロピオン酸血症患者のプロピオニル-CoAカルボキシラーゼ活
性測定

第40回日本医用マススペクトル学会年会 (浜松) 2015年9月

高木 三千代, 中島 健一, 田邊 宏樹, 木村 和哲, 井上 誠

褐色脂肪細胞様 beige 細胞への分化を促進する生薬エキスの探索

日本生薬学会第 62 回年会（岐阜）2015 年 9 月

堀田 祐志, 家田 直弥, 深本 絢子, 片岡 智哉, 前田 康博, 川出 義浩, 中川 秀彦, 木村 和哲

光照射による陰茎海綿体弛緩反応の制御-青色光応答性 NO ドナーNOBL-1 を用いた検討-

第 57 回日本平滑筋学会総会（山口）2015 年 8 月

高木 三千代, 中島 健一, 田邊 宏樹, 木村 和哲, 井上 誠

防風由来 panaxynol の多量体アディポネクチン産生分泌改善作用

第 31 回和漢医薬学会学術大会（富山）2015 年 8 月

真川 明将

地区薬剤師会とともに立ち上げた吸入指導マイスター制度について

日病薬東海ブロック 第 31 回東海医療薬学シンポジウム（名古屋）2015 年 8 月

赤津 裕康, 川出 義浩, 正木 克由規, 大原 弘隆, 兼松 孝好, 岩田 彰, 早野 順一郎, 大原 弘隆

「なごやかモデル」の紹介と在宅医療・高齢者医療での人工栄養の実態調査

第 9 回日本静脈経腸栄養学会東海支部学術集会（名古屋）2015 年 7 月

前田 康博【シンポジウム】

UPLC/MS/MS を利用した先天性代謝異常症における酵素活性測定法について

第 29 回日本医用マススペクトル学会東海支部講演会（名古屋）2015 年 7 月

後藤 佳奈, 前田 康博, 伊藤 哲哉, 中島 葉子, 杉山 成司, 片岡 智哉, 堀田 祐志, 木村和哲

UPLC/MS/MS によるメチルマロン酸血症患者におけるメチルマロニル-CoA ムターゼ活性測定法の確立

第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム 2015（名古屋）

2015 年 7 月

堀田 祐志, 木村 和哲【シンポジウム】

虚血に伴う勃起不全および下部尿路症状に対する PDE-5 阻害剤の「連日」投与による効果

第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム 2015（名古屋）

2015 年 7 月

竹本 将士, 近藤 勝弘, 黒田 純子, 江崎 哲夫, 木村 和哲

パゾパニブ投与によって腫瘍崩壊症候群をきたした悪性軟部腫瘍の一例

第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム 2015（名古屋）

2015 年 7 月

片岡 智哉, 岸本 大輝, 堀田 祐志, 前田 康博, 金山 博臣, 木村 和哲

選択的 MR 阻害薬エプレレノンの食塩感受性高血圧に伴う勃起障害に対する新規治療法としての可能性 - Dahl 食塩感受性ラットを用いた検討 -

第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム医療薬学フォーラム 2015（名古屋）

2015 年 7 月

堀田 祐志【招待講演】

勃起現象は何に制御されるか？～創薬へとつなげる標的分子～

第 25 回日本性機能学会中部総会（大阪）2015 年 6 月

前田 康博, 中島 葉子, 伊藤 哲哉

UPLC/MS/MSによるピリミジン代謝異常症スクリーニング法の開発

第63回日本質量分析総合討論会(つくば) 2015年6月

片岡 智哉, 堀田 祐志, 前田 康博, 木村 和哲

テストステロン低下は内因性 NOS 阻害物質 ADMA を増加させ血管内皮機能障害を引き起こす - 去勢による ED モデルラットを用いた薬理的検討

日本アンドロロジー学会第34回学術大会(福岡) 2015年6月

片岡 智哉, 堀田 祐志, 前田 康博, 木村 和哲

Androgen 補充療法はいつまで続ければよいか? - 去勢ラットの勃起機能を指標とした検討 -

第15回日本抗加齢医学会総会(福岡) 2015年5月

後藤 佳奈, 前田 康博, 伊藤 哲哉, 中島 葉子, 杉山 成司, 片岡 智哉, 堀田 祐志, 木村 和哲

UPLC/MS/MSによるメチルマロニル-CoA ムターゼ活性測定法の確立

日本薬学会第135年会(神戸) 2015年3月

鬼頭 典子, 塩田 有史, 真川 明将, 近藤 祐樹, 江崎 哲夫, 木村 和哲

ポリコナゾールの血中濃度と肝障害発現に関する検討

日本薬学会第135年会(神戸) 2015年3月

松岡 由貴, 真川 明将, 那須 祥子, 山下 迪子, 山本 清司, 加藤 弘子, 江崎 哲夫, 木村 和哲

次世代の持参薬入力システムの有用性と今後の展望

日本薬学会第135年会(神戸) 2015年3月

山本 由香, 黒田 純子, 松山 奈央, 竹本 将士, 鬼頭 典子, 伊豆田 美晴, 江崎 哲夫, 木村 和 哲

がん化学療法における HBV 再活性化アラートシステムの有用性の検討乳がん化学療法における口腔粘膜炎の経時的発生状況

日本薬学会第135年会(神戸) 2015年3月

片岡 智哉, 堀田 祐志, 前田 康博, 木村 和哲

The effect of mineralocorticoid receptor inhibition for high salt intake-induced erectile dysfunction in Dahl salt-sensitive rats

第88回日本薬理学会年会(名古屋) 2015年3月

堀田 祐志, 木村 和哲【シンポジウム】

虚血に伴う勃起障害に対する新規アプローチ

第88回日本薬理学会年会(名古屋) 2015年3月

川出 義浩【シンポジウム】

がん薬物療法からのエイジング・イン・プレイス ~住み慣れた場所でずっとその人らしく暮らせる社会づくり~

日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2015(京都) 2015年3月

堀田 祐志, 家田 直弥, 深本 絢子, 片岡 智哉, 中川 秀彦, 木村 和哲

光応答性 NO ドナー「NOBL-1」を用いた陰茎海綿体平滑筋の弛緩反応の制御

第25回日本性機能学会東部総会(東京) 2015年2月

【臨床薬学教育研究センター】

(原報)

Takahiro Iwao, Nao Kodama, Yuki Kondo, Tomoki Kabeya, Katsunori Nakamura, Takashi Horikawa, Takuro Niwa, Kouichi Kurose, Tamihide Matsunaga
Generation of enterocyte-like cells with pharmacokinetic functions from human induced pluripotent stem cells using small-molecule compounds.
Drug Metab. Dispos., **43**, 603–610 (2015).

熊谷 健, 佐々木 崇光, 佐藤 裕, 高橋 昌悟, 細川 正清, 頭金 正博, 松永 民秀, 大森 栄, 永田 清
培養細胞を用いた健康食品と医薬品との薬物相互作用の網羅的調査
東京都病院薬剤師会雑誌, **64**, 15–22 (2015)

菊池 千草, 松永 民秀, 鈴木 匡
実務実習事前学習における服薬ならびに患者指導の模擬体験教育プログラムの効果
薬学雑誌, **135**, 809–820 (2015)

(総説・著書・総合論文など)

岩尾 岳洋, 松永 民秀
個別化(オーダーメイド)医療を志向した薬物動態研究および毒性試験へのヒト iPS 細胞の利用.
Organ Biology, **22**, 39–48 (2015).

堺 陽子, 岩尾 岳洋, 國正 淳一, 松永 民秀
薬物動態および毒性試験への応用を目指したヒト iPS 細胞由来肝細胞の作製とその培養技術.
愛知学院大学薬学会誌, **8**, 7–14 (2015).

荒木 拓也, 坂下 真大, 山本 康次郎 他.
臨床検査データブック
医学書院, 750–770 (2015).

鈴木 匡
改訂モデル・コアカリキュラムと薬学実務実習ガイドライン
日本薬剤師会雑誌, **67**, 623–629 (2015)

(学会発表)

小玉 菜央, 岩尾 岳洋, 壁谷 知樹, 中村 克徳, 松永 民秀
複数の低分子化合物はヒト iPS 細胞から機能性を持った小腸上皮細胞様細胞への分化効率を改善する.
理系女性研究者の活躍推進シンポジウム, 2015年3月10日(豊橋).

中村 克徳, 川出 義浩, 松永 民秀, 木村 和哲, 早野 順一郎, 明石 恵子, 鈴木 匡
地域と育む未来医療人「なごやかモデル」平成 26 年度活動報告
日本薬学会 第 135 年会. 2015 年 3 月 26 日(神戸)

権田 草達, 近藤 祐樹, 栗木 駿輔, 岩尾 岳洋, 中村 克徳, 松永 民秀
ヒトiPS細胞から成熟した肝細胞への分化誘導法の最適化.
日本薬学会第135年会, 2015年3月26日 (神戸)

藤田 直希, 井上 渉, 菊池 千草, 松永 民秀, 鈴木 匡
薬学生による生活習慣チェックシートを用いた服薬指導の効果検証
日本薬学会 第 135 年会. 2015 年 3 月 26 日 (神戸)

井上 渉, 菊池 千草, 水野 正子, 鈴木 匡
薬局薬剤師による在宅支援の処方提案と提案結果の考察
日本薬学会 第 135 年会. 2015 年 3 月 26 日 (神戸)

菊池 千草, 野田 雅人, 堀 英生, 今枝 憲郎, 岡山 直司, 松永 民秀
糖尿病患者の動脈硬化性疾患発症に対する血糖値変動の影響
第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会. 2015 年 5 月 23 日 (下関)

Tamihide Matsunaga 【招待講演】
Utility of iPS Cells for Study of Drug Metabolism and Pharmacokinetics:
Differentiation of human iPS cells into hepatocytes and enterocytes
19th International Conference on Cytochrome P450, 2015 年 6 月 14 日 (Tokyo,
Japan)

小玉 菜央, 岩尾 岳洋, 壁谷 知樹, 中村 克徳, 松永 民秀
低分子化合物によるヒト iPS 細胞から機能的な腸管上皮細胞への分化促進
第 22 回 HAB 研究機構学術年会, 2015 年 6 月 26 日 (東京)

岩尾 岳洋 【招待講演】
ヒトiPS細胞の腸管上皮細胞への分化と薬物動態機能評価.
第22回HAB研究機構学術大会 シンポジウム, 2015年6月26日 (東京) ; S2-2.

鈴木 匡 【招待講演】
コアカリ改訂と医薬品情報活用
第 18 回日本医薬品情報学会, 2015 年 6 月 28 日 (岡山)

坂本 栄, 栗木 駿輔, 近藤 祐樹, 土井 孝良, 岩尾 岳洋, 鈴木 孝禎, 宮田 直樹, 松永 民秀
ヒト人工多能性幹細胞から肝細胞様細胞への分化促進機構の解明と毒性試験への応用
第 42 回日本毒性学会学術年会, 2015 年 7 月 1 日 (金沢) ; P244.

藤田 直希, 鍋谷 伸子, 梅村 紀匡, 菊池 千草, 鈴木 匡
薬局検体測定室における継続的測定と生活指導の効果検証
日本薬学会 医療薬学フォーラム 2015/第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム.
2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

堀場 亜佐子, 森 道成, 鈴木 匡
薬局薬剤師を活用した健康拠点事業の活動報告
日本薬学会 医療薬学フォーラム 2015/第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム.
2015 年 7 月 4 日 (名古屋)

松永 民秀 【招待講演】
ヒト iPS 細胞の創薬研究への応用: 肝細胞及び腸管上皮細胞への誘導と機能
日本薬学会 医療薬学フォーラム 2015/第 23 回クリニカルファーマシーシンポジウム.

2015年7月5日(名古屋)

松永 民秀【招待講演】

ヒト iPS 細胞由来の分化小腸上皮細胞の薬物代謝機能

細胞アッセイ研究会 第3回討論会, 2015年9月26日(三島)

鈴木 匡【招待講演】

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム 「薬局実習で何をすれば良いか」

日本薬学会中国四国支部学術大会, 2015年10月31日(高知)

岩尾 岳洋, 小玉 菜央, 壁谷 知樹, 松永 民秀

ヒト人工多能性幹細胞由来腸管上皮細胞の薬物動態学的機能評価

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015,
2015年11月1日(名古屋); J-18.

川出 義浩, 江崎 哲夫, 岩尾 岳洋, 鈴木 匡, 木村 和哲

病院実務実習での介護施設実習の取り組み ~地域包括ケアシステムを意識した教育プログラムを目指して~

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015,
2015年11月1日(名古屋); H-4.

井上 渉, 菊池 千草, 水野 正子, 大木 剛, 上地 小与里, 鈴木 匡

薬局薬剤師による在宅支援の処方提案と提案結果の比較検討

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015,
2015年11月1日(名古屋)

川出 義浩, 江崎 哲夫, 岩尾 岳洋, 鈴木 匡, 木村和哲

病院実務実習での介護施設実習の取り組み

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2015,
2015年11月1日(名古屋)

小玉 菜央, 岩尾 岳洋, 壁谷 知樹, 中村 克徳, 松永 民秀

ヒト人工多能性幹細胞から分化誘導した腸管上皮細胞様細胞の薬物動態学的特性解析

日本薬物動態学会第30回年会, 2015年11月12日(東京); 1-G-P-11.

壁谷 知樹, 岩尾 岳洋, 小玉 菜央, 中村 克徳, 松永 民秀

ヒト人工多能性幹細胞の腸管への分化に対する低分子化合物の有用性

日本薬物動態学会第30回年会, 2015年11月12日(東京); 1-G-P-12.

鈴木 匡

あいち健康プラザ 健康公開講座, 2015年11月14日(名古屋)

藤田 直希, 井上 渉, 菊池 千草, 渡邊 幹哉, 高尾 雅春, 鍋谷 伸子, 田中 美葉子, 鈴木 匡

薬局でのチェックシートを用いた生活習慣振り返り指導の開発とその有用性検証

第25回 日本医療薬学会年会, 2015年11月22日(横浜)

川合 結乃, 菊池 千草, 壁谷 知樹, 堀 英生, 松永 民秀

ヒト脂肪細胞のアディポネクチン産生に対する性ホルモンとスタチンの影響

第25回日本医療薬学会年会, 2015年11月23日(横浜)

福山 了介, 小野里 太智, 小枝 暁子, 岩尾 岳洋, 松永 民秀

カニクイザル胚性幹細胞から腸管上皮細胞様細胞の作製

第 38 回日本分子生物学会年会, 2015 年 12 月 2 日 (神戸) ; 2LABA022.

阿武 志保, 岩尾 岳洋, 松永 民秀

新規三次元培養培地を用いた浮遊培養法でのヒト iPS 細胞から肝細胞への分化誘導

第 38 回日本分子生物学会年会, 2015 年 12 月 2 日 (神戸) ; 2LABA023.

5 科学研究費等補助金

研究種目	課題番号	研究代表者	職名	研究期間	27年度配分額	研究課題名
新学術領域研究(研究領域提案型)	26110716	矢木 宏和	講師	2014-04-01 - 2016-03-31(予定)	¥4,160,000	ジストログリカン糖鎖を形成する酵素複合体の同定とその作動メカニズムの解明
基盤研究(A)	15H02491	加藤 晃一	教授	2015-04-01 - 2019-03-31	¥11,830,000	多元的構造生物学アプローチによるプロテアソーム形成機構の解明と創薬への展開
基盤研究(B)	25290007	糸 和彦	教授	2013-04-01 - 2016-03-31(予定)	¥5,590,000	ショウジョウバエを用いた自発的覚醒・睡眠制御機構の解析
基盤研究(B)	25293028	中川 秀彦	教授	2013-04-01 - 2016-03-31(予定)	¥7,410,000	シグナル分子としてのNO・H2Sの光制御投与方法の開発と疾患モデルへの応用
基盤研究(B)	25291007	藤原 俊伸	教授	2013-04-01 - 2016-03-31(予定)	¥6,370,000	RNA結合タンパク質がファインチューニングする翻訳開始制御機構
基盤研究(B)	25291004	星野 真一	教授	2013-04-01 - 2017-03-31	¥4,290,000	新規遺伝子発現・mRNA品質管理システム『mRNAポリA鎖制御系』の全容解明
基盤研究(B)	26293036	松永 民秀	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥5,070,000	ヒトiPS細胞の肝細胞及び腸管上皮細胞への分化と初回通過効果予測モデル系の構築
基盤研究(B)	26293021	今泉 祐治	教授	2014-04-01 - 2018-03-31	¥4,810,000	創薬標的としてのカルシウム依存性イオンチャネル機能複合体群の分子薬理学的研究
基盤研究(C)	26410097	豊玉 彰子	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,040,000	モデル荷電コロイド系を用いた結晶化に伴う不純物排除機構の解明
基盤研究(C)	25430055	築地 仁美	講師	2013-04-01 - 2017-03-31	¥1,560,000	脊髄性筋萎縮症SMAと筋萎縮性側索硬化症ALSに共通するRNA代謝異常
基盤研究(C)	25430040	田中 正彦	准教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,300,000	小脳プルキンエ細胞におけるリアノジン受容体を介した樹状突起形成制御機構の解明
基盤研究(C)	26440059	細田 直	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,690,000	細胞質・核RNA品質管理におけるエキソソーム複合体の共通した作用機序
基盤研究(C)	25460907	牧野 利明	教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,560,000	偽アルドステロン症発症リスクの個体差に関する研究と予知のための検査キットの開発
基盤研究(C)	25460724	大澤 匡弘	准教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,300,000	古典的グリア細胞機能に着目した慢性疼痛発現メカニズムの解明とその治療法への応用
基盤研究(C)	25460194	湯浅 博昭	教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,560,000	アクアポリン10の核酸塩基輸送機能：核酸塩基及び関連薬物の小腸吸収における役割
基盤研究(C)	25460193	中村 克徳	准教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥650,000	分子標的薬投与によるインフュージョンリアクション発症機構の解明と評価系の構築
基盤研究(C)	25460171	伊藤 佐生智	講師	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,690,000	黄色ブドウ球菌毒素SSLの免疫かく乱作用に着目した感染予防・治療法の確立と創薬
基盤研究(C)	25460170	瀧井 猛将	准教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,690,000	結核菌生菌特異的な宿主細胞傷害活性の解析
基盤研究(C)	25460104	山村 寿男	准教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,560,000	カルシウム活性化クロロイドチャネルTMEM16の新規修飾サブユニットの同定
基盤研究(C)	25460019	加藤 信樹	助教	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,170,000	新規[3+3]環化付加型反応を基盤とするインドールアルカロイド類合成法の開発
基盤研究(C)	25461651	青山 峰芳	教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,560,000	新生児期の虚血低酸素時に脳内エリスロポエチンがニューロンとグリアにもたらす効果
基盤研究(C)	26460228	菊池 千草	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,040,000	性差医療を目指した糖尿病血管障害のメカニズム解明
基盤研究(C)	26460227	頭金 正博	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,690,000	診断群分類包括評価(DPC)データを用いた周術期薬物治療の有用性に関する研究
基盤研究(C)	26460203	岩城 壮一郎	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,300,000	分泌型miRNAの測定による新規な動脈硬化発症・進展評価法の開発
基盤研究(C)	26460074	西塚 誠	講師	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,560,000	新規骨分化抑制因子fad104の機能解析と骨関連疾患発症における役割の解明
基盤研究(C)	26460073	服部 光治	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,690,000	巨大分泌タンパク質リーリンの新規情報伝達機構と、その病態との関連
基盤研究(C)	26460072	長田 茂宏	准教授	2014-04-01 - 2018-03-31	¥1,170,000	前がん病変で発現上昇するクロマチン関連因子による細胞死制御
基盤研究(C)	26460041	平嶋 尚英	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,690,000	巨大リポソームを用いた標的的特異的分泌系の開発とDDS及び間接経口投与系への展開
基盤研究(C)	26460040	尾関 哲也	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,820,000	経肺投与型機能性ナノ粒子製剤の開発によるナノ医薬品の適応拡大を目指したDDS研究
基盤研究(C)	26460011	中村 精一	教授	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,820,000	新規架橋多環式骨格構築法を基盤とするパークレージオン類の合成研究
基盤研究(C)	26507008	富田 淳	助教	2014-04-01 - 2017-03-31	¥1,950,000	睡眠量の恒常性維持機構におけるカルシニューリンの機能解析
基盤研究(C)	15K08027	梅澤 直樹	准教授	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,820,000	構造制約をもつポリアミン：固相合成と生理活性評価
基盤研究(C)	15K07937	林 秀敏	教授	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,950,000	新規がん遺伝子TRBファミリー分子による発癌作用の分子基盤の解明
基盤研究(C)	15K07936	井上 靖道	准教授	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,690,000	翻訳後修飾制御によるTGF-βのがん抑制因子から悪性化因子への転換機構
基盤研究(C)	15K07935	矢木 宏和	講師	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,430,000	筋ジストロフィー原因遺伝子産物LARGEによる糖鎖の伸長機構の解明
基盤研究(C)	15K06877	桶本 和男	助教	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,820,000	血中の抗炎症性脂質により腫瘍が分子標的薬に高感受性を示す作用機序
挑戦的萌芽研究	26560451	加藤 晃一	教授	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,820,000	機能性ネオ糖脂質クラスターを利用した神経幹細胞の幹細胞性制御
挑戦的萌芽研究	25670151	藤原 俊伸	教授	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,300,000	RNAアプタマーによる腫瘍マーカー検出法の開発
挑戦的萌芽研究	26670060	中川 秀彦	教授	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,820,000	Pin1酵素阻害剤の迅速スクリーニング用プローブの開発
挑戦的萌芽研究	26670039	今泉 祐治	教授	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,690,000	イオンチャネル標的創薬における細胞死測定による新規高効率探索系の創出
挑戦的萌芽研究	26670038	松永 民秀	教授	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,040,000	患者由来iPS細胞より疾患モデル細胞・動物作製と発症機序及び遺伝子治療評価系構築
挑戦的萌芽研究	15K14495	鈴木 亮	講師	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,170,000	分泌顆粒局在型カルシウムチャネルORAI2による新たな分泌制御機構の解析

若手研究(B)	25860026	田上 辰秋	講師	2013-04-01 - 2016-03-31	¥1,300,000	炎症性肺疾患に対する温度応答 DDS の基盤技術に関する研究
若手研究(B)	26860059	鈴木 良明	助教	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,560,000	カルシウム活性化カリウムチャネル新規バリエーション体のユニークな性質と疾患との関連
若手研究(B)	26860043	河野 孝夫	助教	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,950,000	脳の形成と機能を司る分泌蛋白質リーリンの、機能制御機構の解明とその創薬への応用
若手研究(B)	26860042	伊藤 友香	助教	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,950,000	TRB1 による TGF β シグナル制御を介した発がん機構の解明
若手研究(B)	26860014	山越 博幸	助教	2014-04-01 - 2016-03-31	¥1,820,000	海洋産アルカロイドスピロリド D の全合成研究
若手研究(B)	25870611	堀田 祐志	助教	2013-04-01 - 2016-03-31	¥780,000	思春期の偏った食生活が将来の勃起機能に与える影響
若手研究(B)	15K18492	谷山 怜子	その他	2015-04-01 - 2017-03-31(予定)	¥2,080,000	藍色細菌時計タンパク質 KaiB の構造と機能の解明
若手研究(B)	15K18480	深尾 亜喜良	助教	2015-04-01 - 2018-03-31(予定)	¥1,430,000	神経特異的 RNA 結合蛋白質 HuD が担う部位特異的翻訳制御機構の解析
若手研究(B)	15K18929	岩尾 岳洋	講師	2015-04-01 - 2017-03-31(予定)	¥2,080,000	ヒト iPS 細胞から作製した腸管上皮細胞の純化と消化管における薬物動態評価系の構築
若手研究(B)	15K18899	川口 充康	助教	2015-04-01 - 2017-03-31(予定)	¥2,080,000	ワールブルク効果を標的とした抗がん剤としての SIRT6 活性化剤の開発
若手研究(B)	15K18930	太田 欣哉	助教	2015-04-01 - 2017-03-31(予定)	¥2,080,000	OATP の迅速機能評価系の構築及び飲食物に含まれる OATP 阻害物質の検索

「その他の研究補助金」

公益財団法人 堀科学芸術振興財団 2014 年度 第 24 回 研究助成

研究課題名 SIRT6 活性化剤のケミカルスクリーニング系構築とワールブルク効果抑制剤としての生物応用 (代表)

氏名 川口 充康

金額 (千円) 1,000

平成 27 年度 創薬等支援技術基盤プラットフォーム補助金による制御拠点スクリーニング委託研究

研究課題名 がん幹細胞を標的とした新規抗がん剤を指向した ENPP1 阻害剤の開発研究 (代表)

氏名 川口 充康

金額 (千円) 1,000

公益財団法人 蓬庵社平成 24 年度研究助成

研究課題名 光制御可能な NO・活性酸素ドナー化合物の開発 (代表)

氏名 中川 秀彦

金額 (千円) 500

日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬等支援技術基盤プラットフォーム (平成 27 年度)

研究課題名 C-H 結合活性化を活用する独創的リード化合物最適化 (分担)

氏名 中川 秀彦

金額 (千円) 3,920

第一三共生命科学研究振興財団研究助成 (平成 27 年度)

研究課題名 NO 関連情報伝達分子の次世代型光線力学療法剤の開発研究

氏名 中川 秀彦

金額 (千円) 1,000

名古屋市立大学 特別研究奨励費 (平成 27 年度)

研究課題名 生体で制御可能な可視-近赤外光制御 RNS ドナー類の開発

氏名 家田 直弥

金額 (千円) 1,500

研究課題名 文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業における生物活性化合物の構造最適化

共同研究相手先 東京大学・名古屋大学・名古屋工業大学

氏名 樋口 恒彦 (代表)

金額 (千円) 17,667

研究課題名 化学系薬学分野に関する学術研究動向—化学系薬学分野と他分野との融合的展開

共同研究相手先 独立行政法人 日本学術振興会

氏名 樋口 恒彦 (代表)

金額 (千円) 1,690

平成 27 年度笹川科学研究助成金

研究課題名 新規架橋多環式骨格構築法を機軸とする抗腫瘍性物質パークレーオン類の合成研究
(代表)

氏名 鈴木 恵介 (博士後期課程 2 年)

金額 (千円) 1,000

公益財団法人 内藤記念振興財団 第 47 回内藤記念科学奨励金・研究助成

研究課題名 アレルゲン親和性が制御する IgE 受容体の動的多様性とアレルギー応答

氏名 鈴木 亮

金額 (千円) 3,000

公益財団法人 ライフサイエンス振興財団 平成 27 年度研究助成

研究課題名 免疫老化に伴うマスト細胞のアレルゲン親和性への感受性の変化と高齢者アレルギー

氏名 鈴木 亮

金額 (千円) 1,000

公益財団法人 コスメトロジー研究振興財団 平成 27 年度研究助成

研究課題名 皮膚ホメオスタシス制御に向けたアレルゲンセラピーの基盤研究とその応用

氏名 鈴木 亮

金額 (千円) 1,000

公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金 平成 27 年度学術・研究助成

研究課題名 アレルゲン親和性を基盤とした高齢者アレルギー発症機構と戦略的脱感作療法の確立

氏名 鈴木 亮

金額 (千円) 900

公益財団法人 三井住友海上福祉財団 2015 年度研究助成

研究課題名 アレルゲン親和性に着目した高齢者アレルギー疾患の原因究明と診断法の開発

氏名 鈴木 亮

金額 (千円) 1,200

名古屋市立大学 平成 27 年度特別研究奨励費

研究課題名 戦略的アレルギー治療に向けた抗原親和性が制御する IgE 受容体の動的多様性の解析

氏名 鈴木 亮

金額 (千円) 750

共同研究 トヨタ自動車株式会社

研究課題名 有機樹脂中でのコロイド結晶化制御 (代表)

氏名 山中 淳平

金額 (千円) 2000

受託研究費 旭化成ケミカルズ株式会社

研究課題名 特異な電位を持つラテックスと無機粒子との凝集に関する研究指導 (代表)

氏名 山中 淳平

金額 (千円) 1000

学術奨励寄附金 大塚化学株式会社

研究課題名 コロイド微粒子の自己組織化による配列構造形成とその制御に関する研究 (代表)

氏名 山中 淳平

金額（千円） 600

JAXA オープンラボ

研究課題名 固定化コロイド結晶の作成技術を活用した新規センシング材料の開発（代表）

氏名 山中 淳平

金額（千円） 3060

名古屋市立大学特別研究（理事長経費）

研究課題名 制御された開放系コロイド粒子の創製とその相互作用の研究（代表）

氏名 山中 淳平

金額（千円） 900

東北大学金属材料研究所共同研究

研究課題名 コロイド系の結晶成長および不純物排除過程に対する粒子間相互作用の影響（代表）

氏名 山中 淳平

金額（千円） 300

JAXA 短時間微小重力実験公募

研究課題名 コロイド系の過冷却状態からの結晶化速度（代表）

氏名 山中 淳平

金額（千円） 300

戦略的創造研究推進事業 さきがけ

研究領域 ライフサイエンスの革新を目指した構造生命科学と先端的基盤研究

研究題目 小胞体糖タンパク質フォールディング装置作動メカニズムの解明(代表)

氏名 佐藤 匡史

金額（千円） 9,700

公益財団法人 ソルト・サイエンス研究財団 平成 27 年度研究助成

研究課題名 Ca²⁺活性化カリウムチャンネル KCNMA1 による成熟脂肪細胞のインスリン感受性制御機構の解明とインスリン抵抗性惹起における KCNMA1 の役割の検討

氏名 西塚 誠

金額（千円） 900

ホソカワ粉体工学振興財団（平成 27 年度）

研究課題名 特殊な噴霧ノズルによるナノ多孔性薬物微粒子製造技術

氏名 尾関 哲也

金額（千円） 700

市原国際奨学財団研究助成（平成 27 年度）

研究課題名 インスリン抵抗性脳組織傷害に対する革新的薬物送達技術の開発

氏名 田上 辰秋

金額（千円） 500

AMED 研究費 平成 27 年度 「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業） 研究分
担者

研究課題名 伝統薬物効能の標準化のための研究

氏名 牧野 利明

金額（千円） 1,500

名古屋市立大学平成 27 年度特別研究奨励費

研究課題名 瀋陽薬科大学・黒竜江中医薬大学との学術交流の推進

氏名 牧野 利明

金額（千円） 340

名古屋市立大学平成 27 年度特別研究奨励費

研究課題名 機能的スクリーニングによる機能未知植物二次代謝糖転移酵素の同定と応用

氏名 寺坂 和祥

金額（千円） 600

公益財団法人日中医学協会 2015 年度共同研究等助成金

研究課題名 ウスバサイシンにおけるアリストロキア酸の蓄積機構の解明

氏名 寺坂 和祥

金額（千円） 800

公益財団法人発酵研究所 平成 27 年度 一般研究助成 研究分担者

研究課題名 アルミニウム耐性とアルカロイド産生能から読み解く植物根内共生菌の多様性と共生関係の生態学的意義

氏名 石内 勘一郎

金額（千円） 1,000

公益財団法人東洋医学研究財団 平成 27 年度（第 38 回）研究助成金

研究課題名 日本における生薬の効能・効果に関する標準化プロジェクト

氏名 石内 勘一郎

金額（千円） 700

公益財団法人 喫煙科学研究財団

タバコ抽出液中に存在するアジュバンド活性物質の応用研究

氏名 瀧井 猛将

金額（千円） 2,000

日本 BCG 製造株式会社 寄付金

BCG ワクチン亜株間の獲得免疫誘導能の差異と免疫持続に関する研究

氏名 瀧井 猛将

金額（千円） 2,000

第 40 回（平成 27 年度）がんその他の悪性新生物研究助成

黄色ブドウ球菌毒素の宿主タンパク質阻害作用を応用した新規がん治療薬の創薬

氏名 伊藤 佐生智

金額（千円） 250

株式会社チャネロサーチテクノロジー

研究課題名 イオンチャンネル標的創薬を目指した定常発現細胞株の構築

氏名 今泉 祐治

金額（千円） 1,955

日本医療研究開発機構 産学連携医療イノベーション創出プログラム

研究課題名 アルツハイマー病の改善を目的とした、リーリン分解阻害薬の開発

公益信託医用薬物研究奨励富岳基金研究助成金

研究課題名 リーリンの機能低下による精神神経疾患の発症メカニズムと、その治療法開発

平成 27 年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 ホルモン感受性乳がんにおける新規エストロゲン硫酸トランスポーターの役割

氏名 保嶋 智也

金額（千円） 400

平成 27 年度名古屋市立大学特別研究奨励費

研究課題名 ミシガン大学との国際交流：薬学部間交流の実施と大学間交流への展開準備

氏名 湯浅 博昭

金額（千円） 100

平成 27 年度 稲盛財団 研究助成

研究課題名 メチルトランスフェラーゼ SET8 による TGF- β シグナル制御を介したがん悪性化メカニズムの解明（代表）

氏名 井上 靖道

金額（千円） 1,000

厚生労働省 医薬品等審査迅速化事業費補助金

研究課題名 バイオマーカーを活用した分子標的薬の有効性・安全性の効率的評価法の確立

氏名 頭金正博

金額（千円） 34,000

内閣府食品安全委員会食品健康影響評価技術研究

研究課題名 栄養成分・加工助剤に関するリスク評価方法の確立に関する研究

氏名 頭金正博

金額（千円） 1,500

第一三共（株）TaNeDS

研究課題名 HLA が関与する特異体質性副作用の in vitro 評価系と発症機序に関する研究

氏名 頭金正博

金額（千円） 8,640

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名 東アジア地域での薬剤応答性における民族差と国際共同治験や医薬品使用の実態に関する調査研究

氏名 頭金正博

金額（千円） 27,600

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名 医薬品等の市販後安全対策のための医療情報データベースの利活用方法に関する薬剤疫学研究

氏名 頭金正博

金額（千円） 1,350

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム A-STEP 平成 26 年度第 2 回フィージビリティスタディ【FS】ステージ 探索タイプ

研究課題名：ヒト iPS 細胞から作製した腸管上皮細胞を用いた新規薬物動態評価系の開発

研究期間：平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日

研究代表者：羽田野 泰彦（公財）名古屋産業科学研究所 中部 TLO

研究責任者：岩尾 岳洋，研究参加者：松永 民秀，小玉 菜央，壁谷 知樹

共同研究機関：株式会社プライマリーセル（7/1より コスモ・バイオ株式会社）

研究課題名：幹細胞およびこれから分化した諸細胞の評価法

研究期間：平成24年6月1日～平成27年3月31日

直接経費：315,000円

間接経費：47,250円

契約金額：362,250円

受託研究

依頼先：コスモ・バイオ

研究課題：iPS細胞の分化誘導法に関する技術指導

代表者：松永 民秀

研究期間：2014年2月20日～2015年4月30日

金額：850,000円（直接経費のみ）

公益財団法人武田科学振興財団 2015 年度薬学系研究奨励

研究課題名：薬物動態学的機能の向上を目指したヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の作製

研究期間：平成 27 年 8 月～期限なし

研究代表者：岩尾 岳洋

公益財団法人堀科学芸術振興財団 2014 年度第 24 回研究助成

研究課題名：ヒト iPS 細胞から腸管上皮細胞への効率的な分化誘導法の確立と薬物動態学的機能解析

研究期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

研究代表者：岩尾 岳洋，共同研究者：松永 民秀

公益財団法人中富健康科学振興財団 平成 26 年度研究助成金

研究課題名：ヒト iPS 細胞から分化した腸管上皮細胞における薬物トランスポーターの機能評価と薬物の消化管吸収の予測

研究期間：平成 27 年 3 月～平成 28 年 3 月

研究代表者：岩尾 岳洋

株式会社 スズケン

共同研究費 50 万円

研究代表者：鈴木 匡

東邦薬品株式会社

共同研究費 80 万円

研究代表者：鈴木 匡

6 学外との共同研究等

平成27年度 薬学研究科共同研究契約一覧

	薬学管理番号	分野名	研究担当者		研究題目	共同研究相手先	研究契約期間
			補職	氏名			
1	薬共 22-6	臨床薬学	教授	鈴木 匡	薬剤師教育の教育効果評価法の開発と検討	株式会社スズケン	平成23年3月1日～ 平成28年2月29日
2	薬共 26-9	生体超分子システム 解析学	教授	平嶋 尚英	Teriparatide の脂肪分解効果の基礎的検討	旭化成ファーマ株式会社	平成26年7月1日～ 平成29年6月30日
3	薬共 26-15	臨床薬学	教授	松永 民秀	ヒト iPS 細胞の肝細胞及び腸管上皮細胞への分化 におけるスフェロイド浮遊培養法の評価	日産化学工業株式会社	平成26年8月1日～ 平成27年7月31日
4	薬共 26-19	薬物送達学	教授	尾関 哲也	乙開発化合物（抗真菌薬及び抗炎症薬の2化合物） の吸入剤開発	MeijiSeika ファルマ株式会社	平成27年2月1日～ 平成29年3月31日
5	薬共 27-1	薬物動態制御学	教授	湯浅 博昭	トランスジェニックマウスを用いた新規尿酸トランス ポーターEUT の小腸排泄における機能評価	武田薬品工業株式会社	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
6	薬共 27-2	生薬学	教授	牧野 利明	漢方エキスの薬効評価及び活性成分の探索	ロート製薬株式会社	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
7	薬共 27-3	生薬学	教授	牧野 利明	米タンパク質の高尿酸血症改善作用に関する研究	亀田製菓株式会社	平成27年5月1日～ 平成27年9月30日
8	薬共 27-4	生命分子構造学	教授	加藤 晃一	3D HPLC を用いた各種糖たんぱく質の糖鎖構造解 析	株式会社医学生物学研究所	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
9	薬共 27-5	病態生化学	教授	服部 光治	精神神経疾患関連分子の機能解明	田辺三菱製薬株式会社	平成27年6月1日～ 平成28年5月31日
10	薬共 27-6	薬物送達学	教授	尾関 哲也	口腔内崩壊錠の製剤設計を目的とした微小構造を 持つ新規添加剤の応用に関する研究	大鵬薬品工業株式会社	平成27年6月1日～ 平成28年5月31日
11	薬共 27-7	臨床薬学	教授	鈴木 匡	薬剤師が在宅医療に関わるために必要な能力向上 に関する教育手法の開発	東邦薬品株式会社	平成27年7月1日～ 平成28年3月31日
12	薬共 27-8	生薬学	教授	牧野 利明	辛夷清肺湯の副鼻腔炎に対する有用性に関する基 礎的なエビデンス	小林製薬株式会社	平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
13	薬共 27-9	コロイド・高分子物性 学	教授	山中 淳平	有機樹脂中コロイド結晶の粒子配列制御	トヨタ自動車株式会社	平成27年9月1～ 平成28年3月31日
14	薬共 27-10	細胞分子薬効解析学	教授	今泉 祐治	イオンチャネル標的創薬を目指した定常発言細胞 株の構築	株式会社チャネロサーチテク ノロジー	平成27年9月1～ 平成28年8月31日
15	薬共 27-11	薬物送達学	教授	尾関 哲也	難水溶性医薬品のナノ粒子作製技術の検討	Sosei R&D Ltd.	平成27年8月23～ 平成28年8月22日
16	薬共 27-12	臨床薬剤学	教授	木村 和哲	DPP-4 阻害薬の性機能及び下部尿路機能に関 する研究	株式会社三和化学研究所	平成27年8月1～ 平成28年6月30日

7 新聞報道等

「新聞報道等」

樋口 恒彦

「血色素へムから広がる化学・創薬」

中部経済新聞 2015年3月17日

加藤 晃一

「東京大学、東北大学、サイボーグ超分子がときあかず病原物質の起源」

日経バイオテクオンライン 平成27年5月29日

加藤 晃一

「東大など、サイボーグ超分子によって病原物質の起源を明らかに」

財経新聞 平成27年5月30日

矢木 宏和

「神経系における糖鎖の機能解明のための糖鎖プロファイリング技術の開発とその応用」

第18回日本糖質学会奨励賞 平成27年7月31日

與語 理那

「Fc γ III 受容体との相互作用における抗体のダイナミックな構造変化」

平成27年度日本薬学会東海支部会ベストプレゼン賞 平成27年11月1日

Tong Zhu

「STRUCTURAL INSIGHTS INTO INTRACELLULAR QUALITY CONTROL OF GLYCOPROTEINS
MEDIATED BY THEIR GLUCOSYLATION」

新学術領域研究「動的秩序と機能」第4回国際シンポジウムポスター賞 平成27年11月
22日

Tong Zhu

「Structural basis of the molecular mechanisms underlying intracellular quality
control of glycoproteins mediated by the ER folding sensor enzyme UGGT」

平成27年度糖鎖科学中部拠点奨励賞 平成27年11月28日

今川 正良

「がん転移抑える遺伝子発見」

中日新聞 平成27年2月12日

今川 正良

がん転移抑える機能発見＝脂肪細胞形成の遺伝子―名古屋市立大

時事通信 平成27年2月12日

今川 正良

日本薬学会学術貢献賞「脂肪細胞分化初期の分子機構および新規分化制御因子の有する多
彩な生理機能に関する研究」 平成27年3月25日

牧野 利明

世界の動向も中止した教育を～幅広い角度で官報知識を習得

薬事日報、2015年4月27日

年会優秀発表賞

氏名：栗田 卓

学年：博士前期課程2年

分 野：細胞分子薬効解析学

学会名：第 88 回日本薬理学会年会（2015 年 3 月 18 日～20 日、名古屋）

演題名：「ヒト軟骨細胞において、低浸透圧ストレスは ClC-7 のチャネル活性の低下を引き起こす」

学生優秀発表賞

氏 名：佐伯 尚紀

学 年：博士前期課程 2 年

分 野：細胞分子薬効解析学

学会名：第 127 回日本薬理学会近畿部会（2015 年 6 月 26 日、岐阜）

演題名：「血管平滑筋細胞におけるジャンクトフィリン 2 によるシグナルドメイン形成への寄与」

優秀演題賞

氏 名：野田 さゆり

学 年：博士前期課程 2 年

分 野：細胞分子薬効解析学

学会名：第 57 回日本平滑筋学会総会（2015 年 8 月 26 日～27 日、宇部）

演題名：「気管支平滑筋における Ca^{2+} 活性化 K^+ チャネル新規修飾サブユニットの生理機能解明」

最優秀ポスター賞

氏 名：川崎 桂輔

学 年：博士課程 1 年

分 野：細胞分子薬効解析学

学会名：第 6 回スクリーニング学研究会（2015 年 11 月 27 日、埼玉）

演題名：「イオンチャネル標的創薬のための新規スクリーニング系実用化」

医療薬学会論文賞受賞（平成 27 年度 論文賞）

佐々木 崇光, 熊谷 健, 佐々木 瞳, 稲見 敬太, 佐藤 裕, 高橋 昌悟, 松永 民秀, 頭金 正博, 細川 正清, 大森 栄, 永田 清

調剤薬局来局者を対象とした健康食品の使用実態調査とその情報に基づいた CYP2D6 活性阻害評価.

医療薬学, 40, 488-499 (2014).

8 進路および就職状況

薬学部・薬学研究科卒業生（修了者）進路調（平成27年度卒業）

平成28年4月1日現在

（単位：人）

区分	卒業者	就職希望者	就職決定者	就職先業種別	就職地域別							就職未決定者	進学・その他						
					市内	県内	中部	京浜	京阪神	その他	計								
薬 学 部	102 (49)	54 (34)	54 (34)	農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	大学院進学	46 (13)				
				漁業・水産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)		
				鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)		
				建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)	
				製 造 業	食品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	既に有職者で就職せず	0 (0)
					繊維工業・衣服	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	自営	0 (0)
					出版・印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	その他（進路未定を含む）	2 (2)
					化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (6)	7 (6)		1 (0)	19 (12)	0 (0)	計	48 (15)	
					鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
					汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
					電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
					電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
					輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)			
				電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				情報通信	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				運輸・郵便	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	1 (1)				
				小売業	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	5 (3)								
				金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				不動産取引・賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				その他専門技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)		2 (2)					
				宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				生活関連サービス業、娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				その他の教育・学習支援	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				医療・保健衛生	5 (4)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	3 (1)	20 (12)							
				社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				複合サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
				宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)				
サービス業（その他）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)									
地方公務	3 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	6 (4)												
計	9 (7)	9 (6)	2 (2)	15 (8)	12 (9)	7 (2)	54 (34)												
全体の地域別割合	16.7%	16.7%	3.7%	27.8%	22.2%	13.0%	100.0%												
女子の地域別割合	(20.6%)	(17.6%)	(5.9%)	(23.5%)	(26.5%)	(5.9%)	(100.0%)												

博 士 後 期	(5)	(4)	(3)	繊維工業・衣服	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	(1)			
				出版・印刷・同関連産業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				化学工業・石油・石炭製品	1	(1)	0	(0)	2	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	4	(1)
				鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				汎用・生産用業務器具	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				電子部品・デバイス	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				電気・情報通信機械器具	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				輸送用機械器具	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				その他の製造業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				電気・ガス・熱供給・水道業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				情報通信	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				運輸・郵便	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				卸売業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				小売業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				金融業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				保険業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				不動産取引・賃貸業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				物品賃貸業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				学術・開発研究機関	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				法務	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				その他専門技術サービス	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				宿泊業・飲食サービス業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				生活関連サービス業、娯楽業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				学校教育	1	(1)	0	(0)	0	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	2	(1)
				その他の教育・学習支援	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				医療・保健衛生	0	(0)	0	(0)	1	(1)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	1	(1)
				社会保険・社会福祉・介護事業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				複合サービス業	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				宗教	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
				サービス業（その他）	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
国家公務	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)				
地方公務	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)				
計	2	(2)	0	(0)	3	(1)	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	7	(3)				
全体の地域別割合			3.7%		0.0%		5.6%		1.9%		1.9%		0.0%		100.0%							
女子の地域別割合			(5.9%)		(0.0%)		(2.9%)		(0.0%)		(0.0%)		(0.0%)		(100.0%)							

() は女子で内数

9 薬学部在籍者名簿

大学院薬学研究科（薬学部）所属教員一覧

(平成 27 年 4 月現在)

講座	分野	教授	准教授	講師	助教
医薬化学	薬化学	中川 秀彦			家田 直弥 川口 充康
	精密有機反応学	樋口 恒彦	梅澤 直樹		加藤 信樹
	薬品合成化学	中村 精一	近藤 和弘		山越 博幸
	機能分子構造学		池田 慎一		
生命分子薬学	生体超分子システム解析学	平嶋 尚英	田中 正彦	鈴木 亮	
	コロイド・高分子物性学	山中 淳平	奥菌 透	豊玉 彰子	
	生命分子構造学	加藤 晃一 (兼任)	佐藤 匡史	矢木 宏和	
	分子生物薬学	今川 正良	長田 茂宏	西塚 誠	
	薬物送達学	尾関 哲也		田上 辰秋	
	マイクロ RNA ゲノム創薬学		藤井 陽一		
医療分子機能薬学	生薬学	牧野 利明		寺坂 和祥	石内 勘一郎
	生体防御機能学	肥田 重明	瀧井 猛将	伊藤佐生智	
	遺伝情報学	星野 真一		細田 直	
	細胞分子薬効解析学	今泉 祐治	山村 壽男		鈴木 良明
	病態生化学	服部 光治		築地 仁美	河野 孝夫
医療薬学	薬物動態制御学	湯浅 博昭			太田 欣哉 保嶋 智也
	病態解析学	青山 峰芳		岩城 壮一郎	
	医薬品代謝解析学	林 秀敏	井上 靖道		伊藤 友香
	神経薬理学	糸 和彦	大澤 匡弘		富田 淳
	レギュラトリーサイエンス	頭金 正博			長部 誠 (特任助教) 安部 賀央里 (特任助教) 桶本 和男
	病院薬剤学	木村 和哲 (兼務)	川出 義浩 (特任准教授)	前田 康博	内藤 敏子 堀田 祐志 (特任助教) 林 孝弘 (特任助教) 加藤 順子 (特任助教) 中村 宗一郎 (特任助教) 大橋 一輝
	臨床薬学	松永 民秀 鈴木 匡	中村 克徳	菊池 千草 岩尾 岳洋	
腫瘍制御学 (連携大学院)	青木 正博 (客員教授:愛知県がんセンター研究所)	笠原 広介 (客員准教授:愛知県がんセンター研究所)			
加齢病態制御学 (連携大学院)		杉本 昌隆 (客員准教授:国立長寿医療センター研究所) 飯島 浩一 (客員准教授:国立長寿医療センター研究所)			
医薬品質保証学 (連携大学院)	佐藤 陽治 (客員教授:国立医薬品食品衛生研究所) 合田 幸広 (客員教授:国立医薬品食品衛生研究所)				
生体システム制御学分野 (連携大学院)	西田 基宏 (客員教授:自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター)	椎名 伸之 (客員准教授:自然科学研究機構 岡崎統合バイオサイエンスセンター)			
医薬品医療機器審査科学 (連携大学院)	中村 高敏 (客員教授:医薬品医療機器総合機構)				

専攻	講座	分野	博士前期課程				計	博士後期課程						計	博士課程								計	合計		
			1 年	小計	2 年	小計		1 年	小計	2 年	小計	3 年	小計		1 年	小計	2 年	小計	3 年	小計	4 年	小計				
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	池川 祥平 犬飼 雄哉 太田 悠平 小口 瑠菜 奥野 華 脇田 弘臣	6	河中 宏樹 韓 湘 曾根 佑登 山内 啓雅	4	10					荒井 卓也	1	1										0	11	
		精密有機反応学	中村 美里	1			1	國枝 一輝	1	天野 祐一	1	渡辺 二規	1	3										0	4	
		薬品合成化学	竹田 圭介	1	澤山 侑季	1	2		鈴木 恵介	1	近藤 秀明	1	2	中西 知弘	1									1	5	
		機能分子構造学	原 侑也 古橋 俊佑	2			2							0			森田 友香	1	坂崎 美香	1				2	4	
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	木村 友香 真野 安由美 溝端 沙莉	3	大嶽 修一 奥田 梨花 八木 孝樹 高辻 良文	4	7						0	亀川 沙知	1				横川 慧	1				2	9	
		コロイド・高分子物性学	佐藤 直子 西川 卓 深谷 奈央	3	大橋 良章 岡地 真奈美 神野 隼大	3	6					村門 愛	1	1	関 友崇	1						菅生 行紘 富田 友紀	2	3	10	
		生命分子構造学			年森 隆泰	1	1						0											0	1	
		分子生物薬学	加藤 苑果 後藤 元晴	2	金森 涼太 松尾 裕一 和木 雅宏	3	5					加藤 大輝	1	1									落合 なつき	1	1	7
		薬物送達学	石亀 貴欣 布施 俊樹 森川 善以 青山 智彦 大塚 衆志	5	安藤 裕太 高 琦琦 瀧 萌子 前田 了	4	9	Ibrahim Shaimaa 竹内 堂朗	2	吉村 元靖	1	野田 剛弘 大塚 正史 西山 哲矢	3	6					星川 晃宏	1	照喜名 孝之 福重 香	2	3	18		
		マイクロ RNA ゲノム創薬学	大曾根 達則	1	吉川 優	1	2							0											0	2
	医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	渡邊 智暉 田 川婷	2	足立 拓海 大北 剛司 北林 大侑 葉 珂	4	6	山田 亜紀	1	張 伏子	1	高 勝莉	1	3	篠田 祐布香	1	小西 徹	1						2	11
			衛生化学				0							0											0	0
遺伝情報学			川島 生 田中 杏莉	2	奥村 眞由 西浦 久達	2	4		福島 真	1				1	野木森 拓人	1							1	6		
細胞分子薬効解析学			山越 大槻 山田 啓史 山村 英斗	3	佐伯 尚紀 野田 さゆり 山田 茜	3	6							0	川崎 桂輔	1	松木 克仁	1						2	8	

	病態生化学	荻野 ひまり 近藤 佑多 酒井 かおり	3	奥村 恭子 牧野 誠	2	5					0			水上 智晴 山影 祐子	2				2	7	
医療薬学	薬物動態制御学	河村 繁宏 関口 裕太朗 細馬 あかね	3	庄司 大介 鈴木 祐稀 水野 加奈子	3	6	山城 貴弘	1		古川 純士	1	2		三村 佳久	1				1	9	
	病態解析学		0			0	郭 威	1				1							0	1	
	細胞情報学	川崎 文寛 佐藤 晃一 杉田 直央	3			3			西川 佐紀子	1	1		都築 香里 川原田 祐貴			加藤 直樹	1		3	7	
	神経薬理学	飯尾 彩加 北尾 優花 中根 伸 長谷川 達也	4	山田 彬博	1	5		橋崎 将典	1	矢野 裕恭	1	2							0	7	
	レギュラトリー サイエンス 医薬品安全性評 価学	柴北 健佑 田近 聡幸 西川 良平 鈴木 章裕	4	柴田 郁弥 榎原 俊	2	6	野中 友香 池田 貢	2		萩原 宏美 浅野 邦仁 八木 聡美	3	5							0	11	
	病院薬剤学	矢萩 亮	1			1	山本 優子	1		高木 三千代 山本 清司	2	3		後藤 佳奈 真川 明将 長崎 彩子	3	高橋 瀬奈	1		4	8	
	臨床薬学	阿武 志保 余 悦	2			2	近藤 聡志	1		小枝 暁子 坂本 栄 堀 英生	3	4	奥村 啓樹 小野里 太智 壁谷 知樹	3	堺 陽子 堀場 亜佐子	2		小玉 菜央 榎原 明美	2	7	13
腫瘍制御学			青木 啓将	1	1						0								0	1	
加齢病態制御学						藤崎 尚規	1				1								0	1	
医薬品質保証学					0						0								0	0	
生体システム制御学					0		0				0								0	0	
計			51		39	90		11	6		20	37		11		11		5	7	34	16 1

平成27年度 卒業研究実習研究室配属

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬化学	三宅 洋平	泉屋 有佑 下屋 圭佑 谷 卓磨	井上 理映子	山田 輝	田丸 廉太 若森 久幸
精密有機反応学	井鍋 佳菜子	辻 佳寿美	河内 功三 丹羽 雄紀	寺前 将太 中村 圭佑	天野 太成 新木 悠介 中山 隆盛
薬品合成化学	渡部 智啓	稲富 早紀	高田 真央	長野 秀嗣 山内 裕貴	有馬 竜平 陰 未来
機能分子構造学			大江 泰		
生体超分子システム解析学	荒目 俊明 橋本 侑昇	森 大輔 稲本 奨平 小久江 俊哉 丸山 由貴	尾関 祐哉 寺本 ひかる 矢野 雄暉 山田 由佳	宮瀬 智仁	大倉 宇海 辻 椋矢 服部 幸希
コロイド・高分子物性学	今田 祐介 曲 嘉 服部 肇 高木 美緒	阿部 夏実 今井 麻未 須子 美里	犬飼 麗華 小田井 香奈 平岩 いずみ 松野 宏美	新澤 耕平 青山 柚里奈	林 直輝
生命分子構造学	尾林 卓幸 河村 裕樹 成 徳鏞 松村 由佳	梶野 愛 金 明美	谷口 雄基 柘植 信吾	本田 怜奈	柚木 康弘 與語 理那
分子生物薬学	池田 雪那 駒田 莉奈 澤田 妙子 成田 沙智世	内藤 仁美 橋本 竜弥	中村 真也 田島 聡美 山田 絵理 和田 麻友美 土野 鮎美	平山 輝 中野 友香 川尻 愛子 平野 利忠	市岡 香貴 小島 舞子 小林 祐太 広瀬 健

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬物送達学	安藤 睦美 長田 典子 柳楽 美月 林原 純季	小川 恵美 中谷 貴菜 森 千絵未 若林 里奈	柏木 沙織 種継 友祐 寺田 由佳 宮原 佐知	加藤 恭崇 斎田 雄基	小内 ゆい 後藤 瑛一 太根 将史
マイクロ RNA ゲノム創薬学					
生薬学	中山 和香 水上 貴史 山田 和輝 吉田 理人	飯島 利恵 長地 康孝 樋渡 純一	石田 智滉 棚橋 俊介 平松 みどり 増本 克彦	大野 雄也 近藤 未来 村口 真凜 鈴木 卓馬	久保 優人
衛生化学	柴田 将成		富田 陽香 徳田 美季	香川 匠 小林 正都 北野 拓真 西山 彩史	田中 夕貴
遺伝情報学	伊藤 由菜 蒲池 美友 名和 優紀子 翠 ひとみ		稲垣 佑都 田中 悠紀子 長瀬 加奈 奈良尾 紀美子	坂元 健太郎 小林 純果 志水 良亮 宮原 彰太	永井 貴広 古舘 和也 堀田 昂志 岩井 紀貴 大島 卓弥 武知 美和
細胞分子薬効解析学	岩谷 優希 木全 茂利 花田 菜摘 山方 基寛	堤 香菜子 仲矢 有希	美濃部 雅士	神藤 秀基 稲垣 奏 前田 和輝 栗栖 紘基	萩原 由実子 古川 奈美
病態生化学	末永 舞	山田 梨絵 山下美星	亀井 隆奈 竹内 真理 別府 茉莉 柳生 隼太	梅本 銀河 奥川 英介 周 春雨	加藤 路尚 本郷 彩 目方 沙季
薬物動態制御学	石川 千尋 河野 綾香 古澤 香菜 吉田 朱里	片山 めぐみ 柘植 彩花 中村 恭子 渡邊 理奈	宇佐美 伶奈 佐々木 瞳 森田 佳祐 森久 佳菜	竹中 理沙 篠田 裕太郎 秋野 翔伍 田嶋 柊也	鈴木 香帆 菱川 洋輔

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
病態解析学	伊藤 萌 川畑 結衣 近藤 崇雄 永井 薫			鳥内 皐暉 福屋 和真 大塚 勇斗 大木 あゆみ	
細胞情報学 (医薬品代謝解析学)	大久保 翼 加藤 一雲 田中 仁美 橋本 亮子	伊藤 彰悟 福浦 啓史 水川 絵理子 山田 莉香子	小西 浩明 隅田 ちひろ 舛田 悠介 三田村 佳奈	住田 丈典 徳川 宗成 筒井 聖人	鈴木 千晶 田中 孝仁 田中 輝
神経薬理学	長尾 柚香	荒川 千暁 宮本 啓補 池田 大輔 友廣 拓生 濱野 友香	加藤 慎也 西口 友理 林 里花	大森 翔太 稲波 千尋 石崎 千晶 山口 翔	石倉 啓一郎 中川 寛之 坂 豪祐 丸岡 純也
医薬品安全性評価学	小林 牧由 平石 千紘 牧野 隼及 三沢 あずさ	石原 佳奈 田村 花梨 福澤 和輝 山下 彩花	田村 空彌 井口 祐美子 河合 加奈 山田 梨紗子	槇野 隆太	岡本 秀人 安田 卓
病院薬剤学	浅野 岳人 飯田 悠貴 戸田 裕二 中根 裕人 村瀬 美和	所 美里 深本 絢子 前田 琴美 前田 陽子 松山 奈央	中村 大学 皆川 真里	森 泰毅	北川 絢恵 富田 なつみ
臨床薬学教育研究センター	赤川 巧 関谷 茜 日比野 桃菜 柳生 直紀 末松 菜月 鈴木 理珠	長崎 瑞佳 福山 了介 松村 若菜 山下 綾 山田 果奈 山野上 舞	井上 渉 川合 結乃 栗木 駿輔 権田 革達 中野 靖久 藤田 直希 宮野 百合香	山下 美紗季 中西 杏菜 水野 翔太	大西 琢 杉本 章

研究員

許可 NO.	新規・継続	配属分野	氏名
1	新規	機能分子構造学	長縄 遼太郎
2	新規	生命分子構造学	石井 健太郎
3	新規	生薬学	太田 美里
4	新規	遺伝情報学	山岸 良多
5	新規	医薬品代謝解析学	宮嶋 ちはる
6	新規	臨床薬学	バートル ボリラマー Baatar Bolormaa
7	継続	生体超分子システム解析学	伊納 義和
8	継続	生体超分子システム解析学	井上 悠
9	継続	生体超分子システム解析学	足立 浩章
10	継続	生命分子構造学	平松 佳永
11	継続	生命分子構造学	千田 紀代美
12	継続	生命分子構造学	近藤 幸子
13	継続	生命分子構造学	服部 久美子
14	継続	生命分子構造学	山口 拓実
15	継続	生命分子構造学	蜷川 暁
16	継続	生命分子構造学	栗本 英治
17	継続	生命分子構造学	竹内 英明
18	継続	生命分子構造学	矢木 真穂
19	継続	生命分子構造学	水島 恒裕
20	継続	生命分子構造学	高木 賢治
21	継続	生命分子構造学	張 英
22	継続	生命分子構造学	Zhu Tong (朱 彤)
23	継続	生命分子構造学	Sikdar Arunima
24	継続	生命分子構造学	Yan Gengwei
25	継続	生命分子構造学	谷山 怜子
26	継続	生薬学	安井 敏洋
27	継続	生薬学	大野 高政
28	継続	生薬学	田邊 宏樹
29	継続	生薬学	小島 一夫
30	継続	生薬学	呉 春珍
31	継続	生薬学	中西 宏文
32	継続	生薬学	趙 伯陽
33	継続	生薬学	白 帆
34	継続	生薬学	角谷 盛夫
35	継続	遺伝情報学	山本 肇
36	継続	薬物動態制御学	石黒 雅江
37	継続	薬物動態制御学	井上 勝央
38	継続	薬物動態制御学	井上 健

39	継続	薬物動態制御学	片野 貴大
40	継続	薬物動態制御学	鈴木 成樹
41	継続	薬物動態制御学	山本 俊輔
42	継続	病態解析学	小泉 恵子
43	継続	病態解析学	水谷 直貴
44	継続	医薬品代謝解析学	中田 佳宏
45	継続	病院薬剤学	片岡 智哉
46	継続	臨床薬学	武中 徹
47	継続	臨床薬学	河村 文夫
48	継続	臨床薬学	三木 健義
49	継続	臨床薬学	松本 和也
50	継続	医薬品安全性評価学	伊東 真紀
51	継続	医薬品安全性評価学	斎藤 嘉朗
52	継続	医薬品代謝解析学	吉田 康子
53	新規	病態解析学	垣田 博樹
54	新規	病態解析学	後藤 洋
55	新規	生命分子構造学	烏 云嘎
56	新規	臨床薬学	陈 牧骑
57	新規	生薬学	鈴木 俊章
58	新規	生命分子構造学	谷中 冴子
59	新規	細胞分子薬効解析学	近藤 るびい
60	新規	精密有機反応学	Balia Andrii
61	新規	臨床薬学	大原 倫美
62	新規	臨床薬学	中切 健太
63	新規	臨床薬学	名仁澤 英里
64	新規	臨床薬学	平野 文香
65	新規	神経薬理学	高 天翔
66	新規	臨床薬学	林 寿人
67	新規	生命分子構造学	鈴木 達哉

教員採用・退職・昇任一覧

区分	分野	補職名	氏名	辞令年月日	前職
採用	生薬学	助教	石内 勘一郎	2015. 4. 1	日本大学薬学部助教
採用	レギュラトリーサイエンス	助教	長部 誠	2015. 4. 1	名市大特任助教
採用	レギュラトリーサイエンス	特任助教	安部 賀央里	2015. 4. 1	名市大特任助教
採用	病院薬剂学	特任助教	林 孝弘	2015. 4. 1	
採用	病院薬剂学	特任助教	加藤 順子	2015. 4. 1	名古屋市立大学病院
採用	病院薬剂学	特任助教	中村 宗一郎	2015. 4. 1	株式会社スギ薬局
採用	病院薬剂学	特任助教	大橋 一輝	2015. 4. 1	株式会社ファインメディカル
採用	病院薬剂学	特任助教	外ノ池 文乃	2015. 5. 1	名古屋市立大学病院
採用	衛生化学	教授	肥田 重明	2015. 5. 1	信州大学
採用	臨床薬学	講師	坡下 真大	2015. 10. 1	群馬大学医学教育センター一部内講師
採用	病院薬剂学	特任助教	西出 景子	2016. 12. 1	名古屋大学
昇任	精密有機反応学	講師	加藤 信樹	2015. 6. 1	助教
昇任	臨床薬学	准教授	岩尾 岳洋	2015. 9. 1	講師
退職	臨床薬学	准教授	中村 克徳	2015. 7. 31	沖縄大学 薬剂部長 就任
退職	衛生化学	准教授	瀧井 猛将	2016. 3. 31	公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸化菌部副部長兼結核菌情報科科长
退職	薬物動態制御学	助教	太田 欣哉	2016. 3. 31	金城学院大学薬学部准教授 就任
退職	精密有機反応学	講師	加藤 信樹	2016. 3. 31	東北大学理学研究科
退職	レギュラトリーサイエンス	特任助教	安部 賀央里	2016. 3. 31	任期満了

職 員 [2015年4月1日現在]

総合機器分析施設

衛生技師：加藤 節子，岩澤 加奈

薬学部事務室

事務長：渡邊 一紀

学務係長：滝塚 厚夫

主 事：丹羽 隆，佐々木 綾

業務士：山田 俊也

事務系職員：松永 佳子，水野 栄子，宮田 晴子，塚本 尚美

総合情報センター-田辺通分館-薬学部

分館長：服部 光治（病態生化学分野教授兼務）

司 書：政谷 浩子，榎本 涼子

職員の異動 (2015年3月31日～)

退職：加藤 典子（2015年3月31日退職）

異 動：内木 篤 （2015年3月31日転出 →芸術工学部事務室へ）

佐々木 綾（2015年4月1日転入 ←医学部事務室より）

採用：塚本 尚美（2015年4月1日採用）